

第三十七回衆議院議事速記錄第二十七號

大正五年二月十七日(木曜日)午後一時二十四分開議

議事日程 第二十六號 大正五年二月十七日

午後一時開議

- 第一 議案ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 特許法中改正法律案(織田了君提出) 第二讀會
- 第六 實用新案法中改正法律案(織田了君提出) 第二讀會
- 第七 砂鑛法中改正法律案(戶叶彌雄君提出) 第一讀會
- 第八 農會法中改正法律案(齋藤宇一郎君提出) 第一讀會
- 第九 東北六縣國有林野下戻處分ニ關スル建議案(半谷清壽君提出) 第一讀會
- 第十 金玉均表彰ニ關スル建議案(小林勝民君提出) 第一讀會
- 第十一 安房鐵道速成ニ關スル建議案(小林勝民君提出) 第一讀會
- 第十二 地方產業資金ニ關スル建議案(木村平右衛門君提出) 第一讀會
- 第十三 八代川内閣鐵道速成ニ關スル建議案(山田珠一君提出) 第一讀會
- 第十四 畜產業國庫補助ニ關スル建議案(山田珠一君提出) 第一讀會
- 第十五 上越鐵道建設ニ關スル建議案(須藤嘉吉君提出) 第一讀會
- 第十六 信越河東鐵道建設ニ關スル建議案(高島順作君提出) 第一讀會
- 第十七 外國米輸入官營ニ關スル建議案(井原百介君提出) 第一讀會
- 第十八 神通川改修工事速成ニ關スル建議案(關野善次郎君提出) 第一讀會
- 第十九 鐵道旅館増設ニ關スル建議案(外二名提出) 第一讀會
- 第二十 音樂教育ニ關スル建議案(高野金重君提出) 第一讀會
- 第二十一 上越鐵道建設ニ關スル建議案(川上榮太郎君提出) 第一讀會
- 第二十二 北海道拓殖速進ニ關スル建議案(小池仁郎君提出) 第一讀會

- 第二十三 農事獎勵ニ關スル建議案(多水久米次君提出) (委員長報告)
- 第二十四 (特別報告第五十九號)營業稅法中改正ノ請願 (委員長報告)
- 第二十五 (特別報告第六十二號)庄内川改修ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第二十六 (特別報告第六十三號)加古川河川改修ノ請願 (委員長報告)
- 第二十七 (特別報告第六十四號)岩木川水害除去工事施行ノ請願 (委員長報告)
- 第二十八 (特別報告第六十五號)漁船避難港築造ノ請願 (委員長報告)
- 第二十九 (特別報告第六十六號)網走港修築速成ノ請願 (委員長報告)
- 第三十 (特別報告第六十七號)稚内築港速成ノ請願 (委員長報告)
- 第三十一 (特別報告第六十九號)農業資金融通ノ請願 (委員長報告)
- 第三十二 (特別報告第七十號)農業倉庫法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第三十三 (特別報告第七十一號)米價調節ノ請願外七十五件 (委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第七十三號)癘兵傷病兵及遺族優遇ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第三十五 (特別報告第七十四號)姫路城西ノ丸保存ノ請願 (委員長報告)
- 第三十六 (特別報告第七十六號)乃美尾村ニ郵便電信局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第三十七 (特別報告第七十七號)鏡石村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第三十八 (特別報告第七十八號)木田村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第三十九 (特別報告第七十九號)下之川村ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十 (特別報告第八十號)中名田村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十一 (特別報告第八十一號)谷頭驛ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十二 (特別報告第八十二號)菅生村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十三 (特別報告第八十三號)東仙道村ニ集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十四 (特別報告第八十四號)二川村ニ集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十五 (特別報告第八十五號)三ツ木村ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十六

(特別報告第八十六號)田幸村鹽町ニ郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十七

(特別報告第八十七號)下大野村ニ三等郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十八

(特別報告第八十八號)大濱村宮前ニ郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十九

(特別報告第九十號)耳村佐柿ニ區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十

(特別報告第九十一號)脇町區裁判所白地出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十一

(特別報告第九十二號)下城井村安武ニ登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十二

(特別報告第九十三號)上湧別村ニ登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十三

(特別報告第九十四號)東旭川村ニ區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十四

(特別報告第九十六號)黑澤尻町ニ區裁判所新設ノ請願

(委員長報告)

第五十五

(特別報告第九十七號)小學校教員俸給國庫支辨ニ關スル請願

(委員長報告)

第五十六

(特別報告第九十九號)福山今市間輕便鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第五十七

(特別報告第一百號)所子村ニ停車場設置ノ請願

(委員長報告)

第五十八

(特別報告第一百一號)廣島江津間鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第五十九

(特別報告第一百十二號)野上旭川間輕便鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第六十

(特別報告第一百十三號)厚岸網走間鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第六十一

(特別報告第一百十四號)阿片賠償價格改正ノ請願

(委員長報告)

第六十二

(特別報告第一百十五號)阿武隈川改修速成ノ請願

(委員長報告)

第六十三

(特別報告第一百十六號)阿武隈川ヲ河川法第一期川ニ編入ノ請願

(委員長報告)

第六十四

(特別報告第一百十七號)七尾港修築ノ請願

(委員長報告)

第六十五

(特別報告第一百十八號)留萌港修築速成ノ請願

(委員長報告)

第六十六

(特別報告第一百十九號)北海道札幌區內豐平橋架設ノ請願

(委員長報告)

第六十七

(特別報告第一百二十二號)軍人恩給法中改正ノ請願

(委員長報告)

第六十八

(特別報告第一百二十四號)岡山村岡部ニ三等郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第六十九

(特別報告第一百二十五號)山田郵便局ニ集配事務開始ノ請願

(委員長報告)

第七十

(特別報告第一百二十六號)坂部村ニ郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第七十一

(特別報告第一百二十七號)仁萬村郵便電信局設置ノ請願

(委員長報告)

第七十二

(特別報告第一百二十八號)中村ニ無集配郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第七十三

(特別報告第一百二十九號)五ヶ莊村ニ無集配郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第七十四

(特別報告第一百三十號)木造町ニ區裁判所設置ノ請願

(委員長報告)

第七十五

(特別報告第一百四十三號)入野村ニ登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第七十六

(特別報告第一百四十五號)古墳發掘並埋藏物處分ノ請願

(委員長報告)

第七十七

(特別報告第一百四十七號)專門學校入學者檢定規定ノ實施方法改正ノ請願

(委員長報告)

第七十八

(特別報告第一百四十九號)天鹽沿岸線鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第七十九

(特別報告第一百五十號)壽都黑松內間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第八十

(特別報告第一百五十一號)膽振線紋監黑松內間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第八十一

(特別報告第一百五十二號)千葉縣下勝浦北條間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

○議長(島田三郎君)

諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記朗讀〕

一、政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

一、政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案

(第二號)大正四年度歲入歳出總豫算追加案

(特第二號)大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

一、議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

航空事業國庫補助ニ關スル建議案

提出者 兒玉亮太郎君

一、議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

在外同胞迫害事件續出ニ關スル質問主意書

提出者 佐々木安五郎君

教育ニ關スル質問主意書

提出者 龍口了信君

一、政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正五年二月十六日

衆議院議長島田三郎殿

內閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議員根本正君提出輕便鐵道建設ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員根本正君提出輕便鐵道建設ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、實測精査ノ結果ニ依レハ本鐵道ノ敷設ハ水戸鐵道株式會社ノ既成線ニ對シ多
大ノ影響ヲ及ボスモノアリ且同會社ニ於テ本線敷設ノ希望ヲ有シ既ニ地方廳ヲ
經由シ出願ニ及ビタルヲ以テ政府ハ右出願ノ當否ヲ決定スル迄本線ノ起工ヲ延
期スルヲ相當ト認メテハナリ

一、十線路中大正五年度ニ於テ起工セサルコトニ決定シタルモノハ大曲盛岡間及河
邊木造間ノ二線路ニシテ大宮勝田間ノ前項ノ理由ニ依リ起工未定トス

一、水戸郡山間測量費ハ八千五百圓餘勝田大宮間測量費ハ二千三百圓餘ニシテ勝
田大宮間實測ニ要シタル費用ハ大正三年度ニ於テ千四百四十八圓十六錢同四
年度ニ於テ二千七百七十五圓三十三錢三厘トス

一、一哩平均建設費ハ勝田大宮間ハ二万七千八百七十九圓ニシテ高知須崎間ハ
十三万五千二百〇一圓ナリ建設費ニ對スル收益ノ割合ハ前者ハ二分四厘九毛
ニシテ後者ハ四厘七毛ナリ

一、政府ハ既成鐵道トノ關係ヲ慎重ニ調査シ本線ノ起工ヲ延期スルニ至リタルモノニ
シテ質問書ニ記載スル如ク會社ノ運動ニ依リテ既定ノ計畫ヲ變更シタルモノニ非
ラス

右及答辯候也

大正五年二月十六日

一、常任委員ノ補選選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第四部豫算委員 半谷 清 壽君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一、昨十一月八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

華族世襲財產法改正法律案
尾越 辰雄君 米田 實君
今井 喜八君 飯塚 彌一郎君
三津家傳之君 高木 益太郎君
阿部 德三郎君 政尾 藤吉君
上 塾 安太郎君 岸 本 賀昌君
古屋 慶隆君 森 田 茂君

關稅定率法中改正法律案
守屋 此助君 小池 仁郎君
石本 鎮太郎君 西 英太郎君
鈴木 久次郎君 相島 勘次郎君
清水 市太郎君 小森 雄介君
田邊 熊一君 田村 新吉君
平沼 亮三君 有田 溫三君
元屯田步兵扶助ニ關スル法律案
豐增 龍次郎君 樋口 秀雄君
五十嵐 佐市君 大堀 孝君
武滿 義雄君 加藤 彰廉君

佐藤榮右衛門君 互理 胤正君
秋本 喜七君 奧田 榮之進君
金澤 仁作君 加瀬 禧逸君
岡崎 久次郎君 鹿島 秀賢君
友常 毅三郎君 白石 直治君
河崎 助太郎君 石橋 爲之助君

一、委員異動 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案委員原脩次郎君
辭任ニ付キ其補闕トシテ三浦倫吉君ヲ、酒造稅納期繰下ニ關スル建議案委員野
村嘉六君辭任ニ付キ其補闕トシテ中村尙武君ヲ、簡易生命保險法案委員大橋
松二郎君辭任ニ付キ其補闕トシテ伊藤恭之助君ヲ議長ニ於テ就レモ選定セリ
一、委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
外國債ノ整理償還ノ爲メ國內債ヲ發行スルコトニ關スル法律案委員會
委員長 柵 瀬 軍之佐君 理事 森丘 覺平君
西田 庄助君
石橋 爲之助君

一、理事補闕選舉 理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ
取引所令中改正ニ關スル建議案
理事重盛信近君(松本恆之助君補闕)
豫算委員會
理事川崎安之助君(津原武君補闕)

○議長(島田三郎君) 會議ヲ開キマス——福田又一君
○福田又一君 日程ヲ變更致シマシテ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會
計法案ノ委員長ノ報告ヲ開クコトノ動議ヲ提出致シマス
(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) 日程變更ノ動議ガゴザイマス、之ニ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ
○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ日程ヲ變更致シマス、是ハ同一委員ニ
付託セラレ、且ツ關聯セル議案、デアリマスカラ一括シテ議題ト致シタイト思ヒマス、御異
議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ
○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、依テ簡易生命保險法案、簡易生
命保險特別會計法案、兩案ヲ一括議題ト致シマス、第一議會ノ續開キ委員長ノ
報告ヲ求メマス——委員長山田珠一君

簡易生命保險法案(政府提出) 第一議會ノ續開(委員長報告)
簡易生命保險特別會計法案(政府提出) 第一議會ノ續開(委員長報告)

(山田珠一君登壇)
○山田珠一君 唯今議題ニナリマシタ簡易生命保險法案、竝ニ簡易生命保險特別
會計法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シマス、先ヅ第一ノ問題ノ簡易生命保險
法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヨリ報告致シマス、此保險法案ノ委員會ハ六回ニ互リ
テ開會致シマシタ、第一日ハ委員長及理事ノ選舉、第二日ヨリ第五日マデ質問ヲ繼
續致シマシテ、各委員ト主務大臣及政府委員トノ間ニ質問應答ヲ交換シテ、最モ精細
ヲ極メ緻密ニ入リマシタデアリマス、併シ一切ノ事ハ速記録ニ審カナルヲ以テ此處ニハ
其實問應答ノ趣旨ハ報告ヲ省致シマス、斯クテ最後ノ日即チ昨日ニ於テ討論ニ移
リマスルヤ、各員ヨリ種々ノ意見ガ提出サレマシタノデゴザイマス、第一ニ高野金重君ハ
原案反對ノ意見ヲ述べラレマシタ、第二ニ齋藤隆夫君ハ原案ヲ贊成シ、第三ニ吉植
庄一郎君ハ本案ニ對シテハ議院法第二十五條ニ依リ繼續委員會ヲ設ケテ十分ナル調査
研究ヲ遂ゲベシト云フ動議ヲ提出サレタデアリマス、次ニ飯森辰次郎君ハ原案ヲ贊成

シテ附帶シテ一ノ希望條件ヲ述ベラレタリマス、即チ保險料ニ依テ集メタル所ノ金、即チ積立金ノ行使ノ範圍ヲ凡ノ限定シタリト云フ。希望アルノデアリマス、其希望ノ要點ハ後ニ至リテ之ヲ申述ベヤウト思ヒマス、次ニ前川虎造君ハ吉植君ノ動議ヲ贊成サレタリマス、第六三川崎君ハ原案ヲ贊成セラレテ、而シテ別ニ一ノ修正意見ヲ述ベラレタリマス、其修正意見ハ原案ニ於テハ保險料「三百圓以下」トアルノ「二百五十圓以下」ト改メ、募集手数料「千分ノ六」トアルノ「千分ノ五」ト改メ、集金手数料「百分ノ十二」ト改メ、募集手数料「百分ノ十」ト改メタルヲ意見アリマス、以上ニ就テ之ヲ要シマス、各委員ノ意見ハ大體ニ於テ二種ニ分レタリマス、即チ原案反對、原案贊成、繼續委員設置ト云フ。此三種デアリマス、而シテ此原案反對派ハ一名モ贊成ガ無カッタリマス、即チ自然消滅トナッタリマス、其原案反對意見ノ前提ハ此繼續委員設置說ト略同シクシテ、唯其結論ヲ異ニスルノデアリマス、カシテ、之ヲ繼續委員設置說ト合セテ其意見ノ概要ヲ極メテ簡單ニ報告致サウト思ヒマス、繼續委員設置說ノ要旨ハ斯様デアリマス、社會政策ノ實行ハ固ヨリ異議ヲ挟ム者ハ無イ、併ナガラ此政府ノ提案ニ於テハ簡易保險ノ社會政策トハ殆ド關係ガ無イモノデアリ、簡易保險ヲ政府ノ獨占シテ絕對ニ民營ヲ禁止スルコト云フコトハ大ニ考慮ヲ要スベキ事柄デアリト考ヘル、又政府ノ提案ハ甚シク民業ヲ壓迫スル慮ガアル爲ニ經濟界ニ惡影響ヲ及ボス心配ガアル、又政府ノ此簡易保險法ニ關スル調査ハ頗ル杜撰粗案ノモノデアリ、之ヲ實行シテ果シテ成績ヲ收メルカドウカト云フコトハ、疑ナキコトガ出來ス、又此法案ノ實施ハ必ズシモ一年二年ヲ爭フノ問題デハナイノアル、若シ之ヲ一たび實行シマシタラバ其影響ガ甚大ナルモノガアルカラシメ、餘程慎重ノ調査ヲ要スベキモノデアリ、社會政策ニ適應スル所ノ方法ヲ案出スル爲メハ此繼續調查委員ヲ設ケテ十分ノ調査研究ヲ遂ゲルガ適應ノ措置デアリ、是等ガ大凡繼續委員設置說ノ趣旨ノ概要デアッタヤウニ聽取リマス、又原案贊成說ノ要旨ハ、簡易保險ヲ實行シテ多數ノ下層人民ノ利便ヲ計ルコト云フコトハ何人ノ雖モ異議ノアル事柄デハナイト信ズル、唯問題トスル所ハ其方法ノ如何ニ在スルノミデアリ、而シテ政府ガ今此二行ハムトスル所ノ官營簡易保險ノ方法ハ最も其宜シキヲ得タルモノデアリト信ズル、簡易保險ハ官營獨占ト爲スニ於テ始めメ多數ノ下層人民ノ利便ヲ計ル目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリ、之ヲ民營ノ事業ニ委ネタラバ各會社ノ競争ニ委スカ、然ラザレバ一一ノ會社獨占營業ヲサセケレバナラヌコトナル、然レニ競争ニ委セルコト云フコトニ致シマスレバ其弊害ハ實ニ恐レキモノガアルト云フコトヲ信ズル、又一ノ會社ニ獨占營業ヲサセルコト云フコトニ致セバ、其目的ガ營利ニ在ルガ爲メニ到底官營ノ簡易保險ノ如ク十分ノ利便ヲ多數ノ下層人民ニ與ヘルト云フコトヲ期待スルコトハ出來ヌ、又簡易保險ノ官營ハ常識ヨリ之ヲ見テ、何人ノ雖モ社會政策ノ一端ヲ行フモノデアリト云フコトヲ否認スルコトハ出來ヌモノデアリト考ヘル、多數ノ下層人民ヲシテ一面ニハ此事業ニ依テ保險ノ惠澤ニ浴セシムルト同時ニ、其集メ得タル所ノ金ヲ以テ社會政策ノ事業ニ資放致シマスレバ、所謂一舉兩得ノ事ニナルモノデ、最も宜シキヲ得タル所ノ方法デアリト云フコトヲ信ズル、又簡易保險官營ハ民業ノ壓迫ヲ來スト云フ聲ガアルケレドモ、簡易保險ハ普通ノ保險ト全然其仕組ヲ異ニシガ其對手ヲ同シクシマスモカシテ、其影響スルコトハ必ズシモ今日民間ノ保險業者ナリガ心配スルガ如キ大ナルモノデハナイト云フコトヲ信ズル、斯ウ云フ意見ガ此ノ原案贊成ノ要點デアッタヤウニ聽取リマス、デゴザイマス、依テ此ノ本案ノ大體ニ付テ贊否ノ採決ヲ致シマシタコトガ、其結果繼續委員設置說ニ同意スルモノ十一名、原案贊成ニ起立ヲ致シマシタモノガ十五名デゴザイマス、多數ニ依テ大體原案ニ決シマシタリマス、次ニ飯森君ノ提出サレマシタコトノ希望條件、此ノ希望條件ノ内容ハ積立金運用ノ方法ニ付テ、大凡凡左ノ範圍ニ依リタシ、一府縣郡市町村其他ノ公共團體ニ對スル貸付、一漁業組合森林組合產業組合ニ對スル貸付、一保

險契約者ニ對スル貸付、一其他社會政策ノモノニ放資シ尤モ資金融通上多少國債、勸業債券、農工債券、拓殖債券、興業債券等ノ購入又ハ引受ニ用ユルコト、斯ウ云フ希望條件デアリマス、デゴザイマス、是ニモ贊成ガアリマス、探決ヲ致シマシタ結果、多數ヲ以テ之ヲ可決致シタリト云フコトガ、前申述ベマシ川崎君ハ保險金額及ビ募集手数料集金手数料ニ對スルコトノ修正意見ノ外、別ニ一ノ意見モ現ハレナカッタリマス、而シテ川崎君ノ修正意見モ一名ノ贊成モナカッタリマス、デゴザイマス、依テ原案ハ全部可決致シタモノデアリマス、以上委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、次ニ簡易保險特別會計法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告シマス、此ノ委員會ハ本日午前ニ於テ開會致シマシテ、若干ノ質問アリマシタ後、直ニ討論ニ入ッタリマス、デゴザイマス、一部ノ反對ガアリマシタケレドモ多數ヲ以テ原案ヲ可決致シタリト云フ、併セテ御報告致シマス。

○議長(島田三郎君) 少數者ノ意見ノ提出ガアリマス、此ノ報告ヲ求メマス、堀切善兵衛君

(堀切善兵衛君登壇)

○堀切善兵衛君 諸君、簡易保險法案ニ對シマシテハ、委員會ニ於テ我ガ政友會ノ議院法第二十五條ノ規定ニ依リ繼續委員ヲ設ケテ十分ナル此ノ調査研究ヲ遂ゲムコトヲ要望スルコト云フ動議ヲ提出致シマシタルコト、少數ニテ成立シナカッタリト云フ委員長報告ノ通りデアリマス、吾々ノ此ノ要望ハ此ノ骨子タル點ハ是レノデアラウト云フコトハ、唯今委員會長ガ御說明ニナリマシタカ、大體諸君ニ御分リニナラウト思ヒマスガ、尙私ハ少シ是ニ數語シマシテ說明ヲ致シテ置キタリト思ヒマス、今回提出セラレタルコトノ簡易保險法ハ、社會政策ノ一端ヲ之ニ由テ遂行スルモノデアリト云フコトハ、昨日最後ニ策通遞信大臣ガ委員會ニ於テ御言明ニナッタ通りデアリ、此點ハ吾々ノ餘程疑問ヲ有ツタ點デアリマス、如何トナレバ委員會ニ於マシタモ木下參政官ノ如キハ、社會政策ノ實行ト何等ノ關係ナシト申サレ、又松本政府委員ノ如キハ社會政策ノ實行ニ資スルモノデアリト云フガ如キ答辯ガアリマシタリト云フ、意見ガ區々トシテ一致シナカッタリト云フ、最後ニ吉植君カラ特ニ遞信大臣ノ御說明ヲ求メマシタコトガ、是ハ社會政策ノ一端ヲ實行スル爲メノモノデアリト云フ御言明デアッタリト云フ、社會政策ノ實行ト云フコトニ對シマシテハ吾々ハ無論是ニハ贊成ヲ表スルニ吝ナラヌモノデアリ、否何人ト雖モ之ニ對シテ反對スル者ハ私ハ無カラウト思フ、併ナガラ其社會政策ナルモノハ吾々ノ考ヘルコトコト政府當局者ノ考ヘルコトコト、間ニハ多大ノ相違アルコトヲ認メタルデアリマス、政府ハ今回提出セラレマシタ如キ簡易保險法案ヲ實行スレバ、社會政策ノ一端ニナルト御考デアリマスガ、吾々ハ斯ノ如キ保險法案ヲ此儘實行シタト申シタコトガ決シテ、社會政策ノ中心ニ是ハ觸レテハ居ラナイ、即チ斯ノ如キ所謂羊頭ヲ掛ケテ狗肉ヲ賣ルガ如キモノト云ハザラ得ナリ、社會政策ノ根柢ハ如何ナルコトニアルカト云ヒマス、申スルコトナク是ハ近世文明諸國ニ於キマシタ産業ノ發達シタル結果、貧富ノ懸隔ガ益々大ニシタマシタ、資本家ト勞動者トノ反目嫉妬ガ益々大ニシタマシタ、是ガ爲メ社會ノ健全ナル發達ヲ阻害スル虞ガアルカラ、此間ノ關係ヲ調和シナケレバナラヌト云フガ根本デアリマシテ、ツマリ政府ガ社會政策ヲ實行スル以上ハ貧シキモノニ與ヘ富シキモノカラ之ヲ取ル、弱者ヲ助ケ強イモノヲ抑ヘテ行クコト云フ精神ガ此中ニ含シテ居ナケレバナラヌデアリ、此政策ヲ實行スル上カラ云ヒマシテ形式ハイロ／＼アリマセウ、方法ハイロ／＼アリマセウガ、之ヲ保險ナル形ニ於テ此政策ヲ實行セントスル場合ニハ、必ズ彼ノ獨逸ニ於テ「ヒスマー」ガヤリ、又近ク英吉利ニ於テハ「ロイドジョー」ガヤリ、如ク、勞働保險ト云フガ如キ形ニ於テ其保險料ハ勞動者ガ勿論之ヲ拂込マシマスガ、是ト同時ニ金持アル資本家モ拂込ム、又政府モ拂込メテ而シテ保險金ハ皆勞動

ハ僅ノ者ノ手ニ是亦集中セントスル傾向ヲ有ツテ居ルノデアリマスルガ故ニ、僅カノ者ノ手ニ歸スル忍ガアルカハ是ハ政府ノ官業ニシナケレバナラヌト云ツタナラバ、經濟界ガ進シテ來ルト日本國中ノ産業ハ殆ド總テ之ヲ官營獨占ニシナケレバナラヌト云フ結果ヲ生ズルダラウト思フ、集中セントスル傾キガアルカラ之ヲ獨占シナケレバナラヌト云フ理由ハ私ハ少しモ成立タナイダラウト考ヘル、政府ハ又獨占ニシナイデ民間ニ許スト云フト競争ノ弊ヲ生ズル弊弊測知ルベカラザルモノガアルガ故ニ之ヲ政府ノ官業ニシナケレバナラヌト云フコトヲ申サレマスガ、此點モ亦獨リ保險ニ付テカリデナク、競争ガ惡ルイト云フナラバ世ノ中ノ産業モ皆獨占シナケレバナラヌ、手近イ例ハ此貯蓄銀行ノ如キハ如何デアリマス、保險業ト殆ド性質ガ似テ居ル、斯ノ如キモノハ幾ラデモ競争ヲ其儘サセテ置イテ、保險業ダケ之ヲ官營ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ又少しモ立タヌノデアル、或ハ官業ニヤツタ方が經費ガ掛ラヌト云フ説モゴザイマスルガ、經費ノ掛ル掛ラヌト云フコトハツマリ其事業ガ大ニ發展スルカシナイカニ大關係ヲ有ツコトデアル、又政府ノ事業ガ營利ヲ目的トシナイカラ是ガ結構デアルト云フガ如キ御議論モアツタヤウニ記憶致シマスガ、營利ヲ營スレバ營利ヲ目的トスベカラザルコトハ勿論ノ事デアル、然ラバ民間ノ之ヲ經營トシテ營利ヲ目的ト致シマシタトシテモ、之ニ依テ社會大多數ノ者ニ最大ノ便益ヲ與ヘ利益ヲ與ヘルナラバ、營利ヲ目的トスルガ如キコトハ極メテドウデモ宜イ問題ニナツテ參ルノデアアル、亞米利加ノ有名ナル「メトロポリタン」會社ノ如キハ現ニ昨年政府ノ生命保險監査官ガ參テ調査致シマシタ其結果ニ依ル、是以上ニ被保險人ノ爲ニ利益ヲ計ルコトハ到底不可能デアラウト云フ報告ヲ政府ノ監査官ガ致シテ居ルノデアリマス、即チ保險業ノ上カラ申シマシテモ被保險人ノ有ユル便宜利益ヲ計ル上カラ云ツテ、是以上ニ手ノ盡シヤウガナイト云フコト程マデニ、民營ノ會社ガ殆ド完全ニ簡易保險ノ事業ヲ經營シテ居リマシタナラバ、少しシバカリ是ガ爲ニ會社ノ雇人重役ナドガ給料ヲ餘計取ツタレバトテ、是ガ怪シカラヌカラ政府ノ手ニ之ヲ取上ゲテシマハナケレバナラヌト云フガ如キ理由ハ私ハ立ツマイト思フ、木下參政官ハ一昨日デゴザイマシタカ、同君ハ委員會ニ於カレマシテ終始沈黙ヲ守ラレテ餘リ多ク此案ノ辯明ヲ爲サラナカッタノデゴザイマスガ、唯一回極メテ熱心ニ此案ノ辯明ヲサレタコトヲ私ハ記憶シテ居ル、何故ニ之ヲ獨占官業ニシナケレバナラヌカ、政府ガ之ヲ提出シタ理由ノ説明トシテ獨逸ノ例ヲ御引キニナツタ、獨逸ノ私立保險會社ハ營利ヲ目的トシテ居ル、而シテ其重役ナドハ何十萬圓ト云フ大變ナ報酬ヲ得テ居ル、是ガ爲メニ獨逸ノ社會黨ノ人ミナドハ非常ニ憤慨シテ、是非トモハ民間ノ手ヨリ奪ツテ政府ノ官營ニシテ貰ハナケレバナラヌト云フ議論ヲシテ居ル、獨逸ハ今將ニ彼ノ大戰争ノ最中デアルガ故ニ、社會黨ノ者モ官營保險問題ヲ口ニシナイヤウニナツタデアラウガ、歐洲ノ兵亂一度戰マレバ必ズヤ彼等ハ官營保險論ヲ主張スルニ至ルハ火ヲ賭ルヨリモ明デアル、斯様ナル有様デアアルカラ吾ハ此獨逸ノ社會黨ノ議論ニモ鑑ミテ早ク官營保險ヲ實行スルガ宜イト云フ御議論ヲ爲サレタ、私ハ甚ダ意外ノ感想ヲ起シタノデアリマス、如何トナレバ獨逸ノ社會黨ガ如何ナル議論ヲシヤウガ、之ヲ日本ノ政府ガ採用シテ此保險ヲ官營ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ果シテ何處ニアルカ、否ナ彼ノ獨逸ノ社會黨ノ如キハ極メテ突飛ナル議論ヲアル連中デアリマス、毎年々々獨逸ノ何處ニカ知ラヌガ社會ノ大會ヲ開イテ其大會ニドウ云フ決議ヲ爲シタカ、獨逸ハ常備軍ヲ廢シテ悉ク之ヲ義勇兵ノ組織ニシテシマフト云フヤウナトコロノ決議スル、獨逸ノ帝制ヲ廢シテ佛蘭西ノヤウニ共和國ノ組織ニシテシマフト云フヤウナ彼等ハ決議ヲシテ居ルノデアリマス、吾ミヨリ見レバ非常ニ是ハ突飛ナル思想ヲ持ツテ居ル人ミデアル、斯ノ如キ突飛ナル連中ガ保險ヲ官營ニシロト主張シタカラトテ、何モ木下君ノヤウニ驚クニハ及バヌノデアル、何モ獨逸社會黨ノ主張ヲ取上ゲテ保險ヲ官營ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ少しシモノナイノデアリマス、政府ガ之ヲ實行スルト同時ニ之ヲ民間ニ許シテ置イテ如何ナル

弊害ガアルカ民間デハ到底ヤリ切レマイ、今日マデ無イヤナイカト仰セラレカ知レマセヌ
ガ、日本ニ小口保險ノ無カッタハ政府ガ許サナカッタカラデアル、自分デ斯ノ如キコトヲ實
行セント欲シタルガ爲ニ、民間カラ出願ガアツテモ言ハシテ之ヲ許可シテカッタノデ
アリマス、又最近日本ニ於テ保險業ニ最モ經驗ノアル人々ガ、吾ニ意見ヲ陳述シテ民
間ニ之ヲ許スコトニスルナラバ、吾ハ十分ニ責任ヲ以テ完全ニ近キコトヲ組織シテ、
之ヲ民間デヤッテ見セルト云フ陳情書モ、提出シテ居ルデアリマス、何故ニ之ヲ政
府ノ手デ獨占シテシマフデ民間ニ對シテ禁止シテ居ルナラヌカ、吾ハ其理由ヲ知
ルニ苦シムデアル、吾ハ政府ニ此點ヲ質問致シマシタガ、吾ハニ納得スルダケノ辯明
ハ遂ニ之ヲ聞コトガ出來マセヌハ甚ダ遺憾ニ感ゼラル得ナイデアル、次ニ又今回
ノ法案ノ如キモノヲ拵ヘテ小口保險ヲ官營ニ致シマスルト、是ガ爲ニ甚シク民間ノ保險
業ヲ壓迫シ、遂ニ經濟界ニ非常ナル惡影響ヲ及ボスモデアルト云フコトヲ、吾ハ固ク
信ジテ疑ハヌコトデアル、然ルニ此點ニ對シテ政府當局者ノ考ハドウデアッタカト申シマ
スト、是亦吾ノ驚キ且呆レザラ得ナカッタ答辯デアッタ、先ヅ政府ハ今回ノ計畫ニ係ル
官營保險ト民間デヤッテ居ル保險トハ其性質ガ違フ、又金額モ違フ故ニ競争ノ起リ
ヤウガナイ、隨テ民間ニ對シテ何等ノ打撃ヲ與ヘナイデラウ、打撃ヲ與ヘナイカラ如何ニ
民間ノ經濟界ニ影響ヲ及ボスカト云フコトハ、調査ハ一向ニナカッタデアルト、斯ノ如
キ御辯明デアッタデアリマス、成程今回ノ政府ノ計畫ハ民間デヤッテ居ルトコロノ保險
トハ少シ違ッタル點ハ處々ニアル、併ナガラ大體ニ於テ何等達ハナイト見テモ一向差支ナ
イデアリマス、又民間デヤッテ居ルモノガ二百圓以上——百圓以上モ許サレテ居ルモ
ノモアリマスガ、今後ハ主ニ二百圓以上ヲ民間ノ手ニ渡シ、三百圓以下ノ小口ダケ政
府ノ手ニ收メテシマフコト云フ御計畫ニナツテ居ル、併ナガラ是ハ非常ニ富シキ者食シキ
者、兩極端ヲ比較シタルバサカ千圓以上五圓以下一圓ト云フヤウニ大ナル保險金
額ヲ契約セシムル者ガ種々ナル方法ニ依ツテ、政府ノ官營保險ニ入ラウトモ致シマス
イ、又五十圓百圓ノ少額保險契約ヲシヤウトスル者ガ、態ニ之ヲ民間ノ會社ニ參ツテ契
約ハ致シマス、斯ノ如キ兩極端ヲ取ツテ比較シタルバ其間ニ何等競争ガ起ラヌトハ
信ゼラレマスケレドモ、而モ此富シキ者ト貧シキ者トノ兩極端ノ間ニ於ケル人々ガ是ガ
保障契約者ノ大多數デアリマス、此大多數ノ人々ハドウシテ行カウカト云フコトハ彼等ノ
選ビニ委セテアル、殊ニ政府ノ方ハ何等診察モシナイデ額付ヲ見タケテ直ガ保險ニ入
レテヤル、或ハ月拂モ許ス、或ハ法律ヲ規定ニ依ツテイロ、便宜ヲ計ル、サウシテ民
間ノ會社ノ今日持ッテ居ナイトコロノ有益ナルトコロノ特權武器ヲ備ヘテ、武備ノナイト
コロノ民間ノ社會ト競争シマシタコトナラバ、民間ノ會社ハ到底其競争ニ堪ヘナイコトハ
是ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアラウト思フ、民間ノ會社ニ對シテ非常ニ壓迫ヲ與ヘルダラウ、
之ニ對シテ政府ハ種類ガ違フカラ心配ハナイト云フ點ニ對シマシテ、昨日委員會ニ於ケ
ル吉植君ノ御議論ノ中ニ極メテ適切ナル例ガアリマシタカラ、私ハ今日諸君ニ此御披
露ヲ致シタコト思ヒマス、ソレハ樺太ニ於ケルトコロノ漁業者ノ例デアリマス、即チ樺太デ
ハ堅網ト刺網トヲ許シテ與レ許サシメテ云フコトガ、衆議院ニ何回モ建議案ガ出マ
シタノデゴザイマスガ、此堅網ヲ許シテ貫ヒタイト云フ者ノ主張ハツマリ堅網ニ掛ル鰯ハ
刺網ニ掛ル鰯トハ種類ガ違フカラ、兩方ノ網ハ競争ニナラヌカラ許シテ貫ヒタイト、斯ウ
云フデアル、政府ガ今回提出ニ係ル官營保險ト從來ノ民間ノ保險トノ間ニ競争ガ起
ラナイ、性質ガ違フカラ競争ガ起ラヌト辯解ヲナサルノハ恰モ樺太ノ漁夫ガ堅網ト刺網
トハ種類ガ違フカラ競争ニナラヌト云フコトノ理由ニシテ、自分ノ利益ヲ主張セント欲シ
タト何等達ハナイト吾ハ信ズルデアリマス、又同志會ヲ代表シテ政府案ニ贊成ヲ
表シ、吾ハ提案ニ反對ヲ爲サレタトコロノ齋藤君ノ御議論ニ至ツテハ、吾ハ是亦實
ニ驚キ果テタル次第デアッタ、齋藤君ハ官業ハ斯ウ云フ結構ナコトガ出來テ是ガ宜シイカ
ラ民間ノ會社ガ潰レル、或ハ壓迫サレテ潰レシマフ、倒レシマフ、ソレハ一向差支ナイ

デハナイカ、今日民間ノ會社ナドハ碌デモナイモノガ澤山アル、斯シナモノハ打撃ッテ置ケ
バ其中ニ倒レル、倒レルモノハ倒レルニ委セラルガ宜イ、恰モ鐵道ガ出來タナラバ車屋ハ困
ダラウ、電燈ガ瓦斯ガ出來タナラバ提灯ハ無クナル、是ハ何モ社會ノ進歩ノ階梯ニ屬ス
ハ及バヌ、心配スルニハ及バヌコトデアルト申サレタデアリマス、是ハ抑々政府ノ御考ト
シテ社會政策ト云フモノト衝突シナイ御議論デアラカドウカ、ツマリ新ニ事業ガ出來テ從
來事業ニ從事シタルトコロノ者ハ、是等ノ爲ニ蹂躪セラレシマフデアル、新ニ事業ヲ
見出スマデ非常ニ悲憤ノ狀態ニ陥ラナケレバナラヌ、此一時期ノ間吾ハ此弱者ヲ見殺
シニスルコトガ出來ナイカラ、何トカ政府デ以テ或ハ金ノアル者ハ之ニ方法ヲ講ジテヤラ
ナケレバナラヌ、是ガ即チ社會政策ノ私ハ由テ來ル所ノ所以デアラウト思フ、一方ニ於テハ
自然競争ニ委シテ置キ、強イ者何處デモ其權威ヲ發揮シテ、弱者ハ強イ者ノ足
下ニ蹂躪セラレ、ノハ社會進歩ノ過程デアル、冷然トシテ之ヲ顧ミナサレト云フコトハ
果シテ是ガ社會政策ノ御考デアラカドウカ、昨日吉植君モ亦此點ニ對シ御意見ヲ述ベ
ラレマシテ、最後ニ斯ノ如キ理由ヨリ政府ノ社會政策タル簡易保險ニ贊成セラル、所ノ
與黨議員諸君ヲ有セラレルトコトヲ、逕信大臣ハ御迷惑ニ感ゼラレタラウト申サレタ
モ、私ハ一理アル御議論デアルト考ヘルデアリマス、要スルニ此民間ノ會社ニ對シテ非
常ナル打撃ヲ與ヘルダラウト云フコトハ、苟モ此實際界ニ注意ヲ致シマスル者ノ看過セザ
ル所ノコトデアッタ、今日保險業者ガ全國相聯合シテ非常ナル此苦情ヲ述ベ、彼等
ノ哀情ヲ吾ハニ訴ヘ政府ニモ具申シテ居ル、是モ彼等ガ大シ打撃ガナイモノデアル、非
常ナル痛手ヲ負ハセラレナイモノデアルト考ヘタナラバ、斯ノ如キ運動ヲスル理由モ決シテ無
カルベシト吾ハ考ヘルデアル、是等ノ民間ノ大打撃經濟界ノ惡影響ニ對シテ政府
ハ十分ナル調査ヲ爲サレタカ、ドウニカシテ此民間ノ事業ニ對スル壓迫ヲ緩和セントス
ル如キ手段ヲ執ラレタカドウカト申シマスレバ、政府ハ是等ノ點ニ對シテ何等ノ調査モ爲サ
ラナカッタコトハ前申上ゲタ通りデアリマス、即チ性質ガ違フカラ競争ガ起ラウトハ思ハナ
イ、思ハナイカラ壓迫ガ來リ民業ニ打撃ヲ與ヘルトハ思ハナイカラ、是等ノ方面ニ對シテ
政府ハ何等ノ調査ヲシナイト云フ御辯明デアッタデアリマス、是ハ政府ガ斯ノ如キ事業
ヲ企テ、殊ニ小口保險官營ト云フガ如キ世界ニ河處ノ國ニモ例ノナイ新ラシキ先例ヲ此
ニ開カントスル如キ際ハ當リマシテ、甚ダ其用意粗漏ナルモノト言ハザル得ナイデアリマ
ス、十分ナル注意ヲ以テ本案ノ實行ヲ期シテ居ルモノト考ヘルコトハ出來ナイデアリマ
ス、是ハ政府ノ調査ガ頗ル杜撰デアル粗漏デアルト云フ一ノ證據ニ過ギナイデアリマシ
テ、此外政府ノ調査ガ頗ル杜撰デアル粗漏デアルト云フ所ノ例證ハ澤山ニアル、一、二ノ
例ヲ舉ゲマスナラバ、政府ハ民間ニ此事業ヲヤラシラレバ險香デアル、現ニ民間ノ保險會社
ノ中デ今日マデ倒レルモノガ五十幾ツアルト云フ統計ヲ御出シシタッタデアル、甚ダ
不思議ニ感ゼマシタカラ其倒レル會社ノ實際ノ名前ヲ數ヘテ吳レト申シマシタ所ガ、更メ
テ其次ノ日ニ政府ハ倒レルモノハ其レノデアル、政府ノ再報告ニ依レバ二十五シカナ
カッタデアリマス、初メニ政府ノ統計ニハ五十一ト稱シ、次ニ愈々名前ヲ現ハシテ吳レト
請求シタルバ二十五シカ出シテナイ、數字ノ點ニ對シマシタス、斯ノ如ク半分以上ノ御
問達カ何カハ知リマセヌシテモ、違ヒガアツタコト云フ一例ヲ以テ之ヲ推セバ、此外ノ點
モ政府ノ與ヘル所ノ所謂統計ノ中ニハ少ナカラザル間達ガアルモノト先ヅ推察シテモ差
支ナイト思フ（拍手起ル）或ハ政府ノ調査ニ係ル所ノ解約率ノ如キ、是モ西洋諸國ニ
於キマシテ、殊ニ小口保險ニ於テ非常ナ率ノ高イコトハ申スマデモナイ、況ヤ日本ノ
此細民ノ如キニ於テハ諸外國ノ細民ニ比シ更ニ其生活程度ノ低イ人々デアリマスルガ
故ニ、此解約率モ尙一層餘計ニ見積ラナケレバナラヌノダラウト私ハ之ヲ信ズルモノデ
アル、從テ諸外國ノ解約率ノ例ヲ之ヲ引イテ來テ、直ニ是ガ日本ニ當テルモノト見ル
譯ニモ參ラヌ、又死亡率ノ如キモ其通り、死亡率ノ如キハ政府ハ是ハ統計局ノ調査ニ
依ル結果デアラカラ問達ハナイ如ク御辯明ヲサレタデアリマスルガ、併ナガラ此内閣

統計局ノ統計モツマリ私ハ戸籍簿ヲ本トシテ所ノ統計デアラウト思フ、所ガ此戸籍簿ノ統計ニハ非常ナル違ガアルノアリマス、實際ノ數字ト非常ナル違ガアル、現ニ東京市ノ人口ヲ調査シ統計ヲ取ルト云フ、如キ場合ニ於テモ、二十萬三千萬ノ違ハ各統計一々皆違フ居ルト云フ如キ有様デアル、此間御大典ニ際シテ全國ノ高齡者ニ天不ヲ下サル、之ニ付テ高齡者ハヤハリ戸籍簿ニ依リテ調査シタ、其結果ハドウデアル、是亦戸籍簿ニ依リテ調査ト實際ノ高齡者ト間ニハ非常ナル相違ガアツタ、デアリマス、故ニ今日ノ此死亡表ノ統計ト云フモノモ十分ニ吾々ハ信頼申スコトハ出來ナイデアアル、ツマリ國勢調査デモヤリテ見テ、今一般此統計ヲ十分ニ進メテ行カケレバ、二對シマシテ國民ノ信用ヲ置クニ足ルベク十分ナル統計ヲ得ルコトガ出來ナイト云フコトハ勿論ノトカアル、又政府ハ此簡易保險ヲ實行スルニ當リテ、果シテ如何ナル態度ヲ執ルノデアルカ、英吉利ノ彼ノ簡易保險法ノ如ク唯郵便局ニ看板ヲ掛ケテ勸誘モ何モセズニ打ッテヤラカシテ置イタナラバ、申込者ノ數ハ甚ダ少ナク、從テハ失敗ニ終ルノ外ハナカルベシト考ヘルノデアリマスガ、日本ノ政府デ此簡易保險ヲヤリタナラバ、必ズ非常ナル奮發努力ヲ以テ民間ノ會社ニ負ケナイヨウニ、所謂政府ノ御聲掛リテ此事業ヲ經營シテ行クナラバ、私ハ政府ガ今日計算シテ居ルガ如キ數字ドコロデハナイ、マダノ多數ノ應募者ヲ得ルコトデアラウト考ヘル、即チ全國七千ノ郵便局、一郵便局ニ於テ一箇月三八ト云フヤウナ例ドコロデハナクシテ、或ハ五八ト云フヤウナ御計算ヲ爲サレタノデアルカ、之ニ對シテ思フ、然レニ何故ニ之ヲ一箇月三八ト云フヤウナ御計算ヲ爲サレタノデアルカ、之ニ對シマシテモ政府ニ質問致シタ所ガ、何等確然タル據所ナク、唯少ナクイダラウ多イダラウト云フ間ヲ取ツテ二人ガ、先ツ三八ト云フヤウナ御聲掛リテ、併ナガラ政府ノ是ハ此事業ニ對スル熱心ノ如何、政府當局者ノ御聲掛リテ高イカ低イカニ依リテ非常ナル應募者モ得ルコトデアリ、又一向此事業ガ振ハメデ濟ムデラウト云フコトハ申サマデモナイコトデアル、果シテ然ラバ政府ハ非常ナル熱心ヲ以テ此保險業ニ當リテ居ル所ナラバ、政府ノ雇人殊ニ諸官廳ノ下級人、一箇月十圓十五圓ノ俸給ヲ貰フテ居ル所ノ者、即チ過日ノ日吉政府委員ノ申サレタル如ク、或調査ノ結果日本ニ於テハ是ハ日本人トシテ最小ノ生活限度サヘモ得ル能ハザル所ノ小サイ雇人ナドヲモ強制シテ、此保險ニ無理ニ入レルヤウナ結果ニナリハモ得ルカト思フ、斯様ナルモノニ對シテ政府ハ如何ナル方針ヲ御執リニナル積リデアルカ、是モ御尋致シマシタ所、政府ハマダ右様ナル下ノ方ノ人ミヲ勸誘シテ取ルカ取ラナイカ、或ハ幾ラマデノ所ヲ取リ、幾ラマデノ所ヲ取ラナイ方針デアルカ、大體是等ノ方針ニ付テ政府ハマダ何等ノ考ガナイト云フガ如キ曖昧ナル御答辯デアッタノデアリマス、又政府ハ非常ナル熱心ヲ以テ此事業ニ當リテ、サウシテ今後五年十年ノ後ニハ何千萬圓何億萬圓ノ金ヲ政府ノ手ニ集メルニ違ヒナイノデアルカ、此金ハ如何ナル用途ニ御使ヒニナル積リデアルカ、之ニ對シマシテモ政府ノ御答辯ガ甚ダ曖昧デアッタノデアアル、判然タル政府ノ此用途ニ對スル御見込ガ立ッテ居ラナイモノト認メル外ハナカッタノデアリマス、遞信大臣ハ餘程賃屋ガ御好キ見エテ、先ツ賃屋ヲ建テルト云フノガ具體的ニ吾々ノ聞イタ所デアリマスガ、ソレ以外ニハ昨日ノ最後ノ委員會ノ最後ノ日ニ於ケルマデ、何等具體的ノ案ヲ御示シナサラナカッタノデアアル、斯ノ如クニシテ政府ガ今後集メ得ル所、又當然集メナケレバナラヌ所ノ多ク、此保險金額ヲ、如何ナル用途ニ使フカ、之ニ對シマシテハ世間ニ於テ甚ダ疑ノ眼ヲ以テテ居ルデアルカ、又之ヲ社會政策ノ金ノ如クニ政府ノ財政ノ遺算段ノ種ニ之ヲ供長屋以外ニ如何ナル社會政策ノ爲ニ實行ニ役ニ立ツヤウニ使フコト云フガ、果シテ此賃屋以外ニ如何ナル社會政策ノ爲ニ御使ヒニナル積リデアルカ、之ヲ府縣ニ貸付ケ公債ヲ買入レ、或ハ預金部ヲ通シテ運轉スルト云フヤウナ譯デアッタナラバ、彼ノ郵便貯金ト相距ルコト果シテ幾許ノ如何ナル目的ニ使フ積リデアルカト云フ點ニ對シテハ、政府ハ吾々ノ満足スルガ如キ答辯ヲ與ヘルコトハ出來ナカッタノデアアル、是等ノ點ニ付テノ政府ノ調査ハ今尙甚ダ杜撰デアルト

申シテ一向差支ナイデアラウト思ヒマス、然ラバ斯ノ如キ杜撰ナル調査ニ基キテ本案ヲ通過セシメテ、一日モ早く之ヲ我國ニ實行セシメナケレバナラヌ所ノ必要ハ何處ニアルカ、其必要ヲ吾々ハ又認メルコトガ出來ナカッタノデアアル、一年早クヤレバ僅カニ一年二萬人ツコイラノ被保險者ガ、一年早ク保險ニ應ズルコトガ出來ルト云フベク、次第デアル、何モ之ヲ二三年進ラカシメカラト云フテ、日本國ガ亡ビテシマフヤウナ大問題ニモ何ニモ遭遇シナイデアリマス、而モ之ヲ一度實行スレバ二三年ニシテ止メテシマフ、或ハ十年ニシテ止メテシマフ云フガ如キ、中途ノ之ヲ止スト云フコトハ不可能ナ問題デゴザイマス、一度之ニ著手スルヤ恐ラク日本國ノ是ハオシメヒニナルマデ實行シテ行クベク、決心ヲ以テ此事業ヲ始メナケレバナラヌモノデアラウト思フ、然レニ斯ノ如キ粗漏ナル計畫ニ基キテ一日一年二年ノ早キヲ急グ必要ハ吾々ハ少シモナイト認メルノデアリマス、單ニ何等遠大ナル目的、或ハ高尙ナル目的ヲ伴ハズ、政府ガ提出シタ所ノ小口保險官營ト云フ此一小事ヲ實行スルガ爲メニ於キシテモ、世界ニ例ノナイコトデアルガ故ニ、マダノ慎重ナル調査ノ必要ヲ認メルノデアアル、況ヤ之ヲ社會政策ノ目的ヲ達スルコト云フガ如キ遠大ナル、又高尙ナル目的ヲ達スルガ爲メノ手段トシテハ、吾々ハ其調査ガ甚ダ不十分ナリト云フコトヲ否定スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ社會政策ノ目的ヲ達スルガ爲メニ云フナラバ、此政府ガ提出案以上三吾々ハ今日ノ日本ニ取リテ殊ニ國民ニ取リテ重大ナル問題ガ幾ラモアルデアラウト思フ、即チ彼ノ災害保險ノ如キ、或ハ疾病保險ノ如キ、是等ハ五十年六十年ノ長イ先キノ保險ヲ行フテ、之ニ依リテ勞働者ノ幸福ヲ圖ルコト云フヨリモ吾々ハ重大ナル問題デアラウト考ヘルノデアアル、ツマリ日本ノ歐米諸國ト違ヒマシテ、社會制度ノ基礎ガ今尙儼然トシテ存在シテ居リマスガ故ニ、老年ニテハ必ズ子供ガ親ヲ養フコト云フ習慣ガアルノデアリマス、又一家ノ戶主ガ死ネバ世ノ中デハ之ヲ打テ遣ラカシテ置カナイデアアル、唯併ナガラ青年ヲシテ實業ニ從事シテ居ル所ノ職工其他ノ者ガ、或ハ病氣ニ罹リ或ハ不具癱疾ニナルト云フガ如キ人生ノ悲慘ニ對シマシテハ、吾々ハ十分ニソレニ注意ヲ厚クスル必要ガアルデアラウト思フ、殊ニ此疾病癱疾等ノ保險ヲ實行スル上ニ於テ、等シク此掛金ハ勞働者カラバカリ之ヲ取ルト云フニアラズシテ、即チ金持階級資本主モ其保險料ノ幾部分ヲ拂ヒ、國家モ保險料ノ幾部分ヲ拂フコト云フガ如キ政策ノ方ガ今日ノ急務デハナイカ、此政府ノ政策ヲ實行スルヨリハ、其方ガ先キノ問題デハナイカト吾々ハ考ヘルノデアアル、又斯ノ如キ政府ノ御考ノ如キ所ノ提案ヲ實行スルヨリモ、先キニ先ツ五十年六十年ノ勞働者ノ前途ノコトヲ御考ヘニナルヨリモ、今日ノ下層社會ノ者ノ實際ノ生活ノ有様ハドウデアルカ、是等ノ點モ御注意ナサル必要ハナイカドウカ、今日ノ日本ノ下層社會ノ者彼等ハ決シテ其大部分ガ現在食フニ餘リアツテ、五十年六十年ノ先キノ計畫スル餘裕ガアル者バカリダト申ス譯ニハ參ラヌノデアアル、現在目ノ前ニ於テ甚ダ悲慘ナル狀態ニナル者ガ甚ダ少ナクハナイ、此現在目ノ前ノ苦痛ヲ取除イテヤルヤウナ方法ガ無イカト考ヘマス、是非トモ是ハ租稅制度ノ上ニ於テ彼ノ負擔ヲ減スル、即チ成ルベク貧民ノ主トシテ被ルベキ所ノ消費稅ヲ減シ、サウシテ彼等階級ノ者ノ負擔ヲ重クスルト云フ點モ政府ハ御考ヘニナル必要ガアラウト思フ、又單リ物質的方面ハカリテナル精神方面ニ於テモ、政府ハ多大ニ注意ヲ社會政策ノ爲メニ御拂ヒニナル必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアアル、ツマリ貧民ガ金持階級ノ者ニ對シテ反感ヲ起シ、社會ニ彼等ガ絶望ノ觀念ヲ抱イテ、ソレガ爲メニ不健全ナル思想ヲ胚胎スルニ至ラシメマスガ故ニ、彼等ハ貧ナリト雖モ金持ト同シク日本政府ヨリ國法ノ上ニ於テ平等ナル取扱ヲ受ケツ、アルモノデアルト云フ信念ヲ彼等ニ與ヘルコトガ、私ハ何物ヨリモ必要デアルノデハナイカト考ヘル、ツマリ今回大隈內閣ノヤラレタ所謂刑事政策ナルモノ、此刑事政策ナルモノハ何デアアル、小サイ者デアラナラバ何處何處マデモ追窮スル、高位勳功アリ金持デアラナラバ許スト云フガ如キハ、社會政策ニ反スルノ甚ダシキモノデアルト申サザルヲ得ナイ、現內閣ヲ見ルト一方ニ於テ斯ノ如キ非社會

元來診査モズ簡易ニ此事ヲナサルト云フナラバ、商法ノ所謂四百二十九條ノ如キ、嚴格ナル告知義務ノ規定ヲ置カズシテ、此告知義務ヲ幾分カ輕カラシメテ初メテ私ハ其意義ヲナスデアラウト思フ、之ヲ此儘ニ置イテ普通ノ生命保險ノ如クツレノ如ク置イテ、無診査ト云フコトニ依テ唯御客様ヲ招ク看做ノミヲ掲ゲ、ソレテ來タレバドコイ汝ハ此ノ如キコトデアルト云フテ解約サレハ瀆ラヌ、加之更ニ無診査ノ結果ハ昨日モ高野君ニ依テ委員會デモ御演說ニナリマシタ如ク、商法第四百二十九條ノ但書ノ制限ヲ全ク除外スルコトニナル、保險者ガ契約解除ヲナスベキ權限ノアル事件ヲ付シタル但書ヲ抹消スルノ結果、愈以テ保險者タル政府ノ方ニ御都合ノ好過ギ法律ニナル、普通ノ場合ニ於キマシテハ保險者ハ今言フヤウ告知義務ヲ違背シタト云フ廉ヲ以テ保險契約ノ解除ヲナスベキ場合ニ於キマシテモ、診査ヲシテ掛リマシムルガ故ニ、保險契約者若クハ保險契約ニ依テ利益ヲ受クベキ關係者ハ、ソレハ私ノ過去ニ於テ告知義務ニ多少反シタ點アルデアラウガ、ソレハ以前ノ過失ニ依テ知ラナカッタノデアラウガ相當ノ注意ヲ拂ヒ相當ノ注意ヲ以テスルナラバ、知ルベキコトデアル、故ニ汝ノ解除ハ此方ハ無効デアルト云フノテ其解除ヲ拒絕スルコトガ出來ル、然ルニモ拘ハラズ此案ニ於キマシテハ絕對解除デ、解除者ニ向テ何等ノ異議モ抗訴モ出來ヌト云フコトニ相成リマシタナラバ、此案ハ名ハ簡易保險ナリト言フト雖モ、保險者ニ御都合ガ好ク被保險者ヲ庇護スル上ニ於テハ頗ル薄キ案デアル、何ガ故ニ斯ノ如キ規定ヲ御立デニナッタノデアリマスカ、普通ノ保險ニ於テ保險者ノ有スル利益ヨリモ政府ノ有スル利益ガ多ク、普通ノ保險ニ於テ被保險者ガ保險契約ニ有スル權利ヨリモ此案ニ對スル保險者若クハ被保險者ノ權利ヲ薄カラシムル利益何レニアル、此點ヲ爲ス詳細ニ承リタイノデアル

(拍手起ル)

(逕信大臣箕浦勝人君)

○逕信大臣(箕浦勝人君) 加瀬君ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、第一ノ此簡易生命保險法案ノ施行スル目的ハドウデアラカト云フコトデアリマスガ、是ハ多數ノ下級社會ニ保險ノ恩澤ヲ及ボスト云フコトデアリマシテ、保險思想ノ普及ト云フコトハソレニ伴フテ起ルトコロノ結果デアリマス、目的ハ保險ノ恩澤ニ浴セシムルコトガ目的デアッテ、其目的ヲ以テ其仕事ヲ行テ行ケバ其自然ノ結果トシテ、保險思想ト云フモノノ普及ハ出來マスガ、保險思想ノ普及ト云フコトガ目的デアリマセヌ、併ナガラ自然ニ保險思想ノ普及ト云フコトニ相成ルコト、考ヘマス、ソレカラ二百圓以下ノ者ハ許サヌト云フコト、是ハ他ノ場合ニ於テ農商務省ノ當局者ヨリモ辯明ヲ致シタコト、存ジマスガ、今日マデ既ニ許可ニナツテ居ルトコロノモノハ依然トシテ其通りニナツテ續ケサセルノデアリマスガ、新ニ出願スル者ニ對シテ二百圓以下ノモノハヤハリ從前ノ通り許サナイト云フコトデアリマス、ソレカラ最後ノ告知ニ關スルコトハ、是ハ政府委員ヨリ詳細ニ御答辯ヲサセマス

(政府委員法學博士松本丞治君)

○政府委員(法學博士松本丞治君) 唯今ノ御質問ノ第三ノ御質問、即チ此告知義務關係ノコトニ就キマシテ御答ヲ致シマス、唯今ノ御質問ニ依リマスト本案ニ於テハ商法ノ通常保險ニ於ケルト同ジク、告知義務違反ト云フコトハ認メテ居ル、然ルニ本案ニ於テハ無診査ト云フ主義ヲ採リテ居ルカラ、其結果トシテ商法第四百二十九條第一項ノ但書ノ規定ノ適用ガ出來テ來ナイ、民間ノ會社デアラバ診査ヲスル結果トシマシテ過失ニ依テ知リ得ザリシコトニ就テハ、告知義務違反トシテ解除ヲナスコトヲ得ナイ、然ルニ本案ノ場合ニ於テハ診査ヲセナイ結果、但書ノ適用ガナクナリテ通常ニ告知ヲナシ得ル、然ラバ告知義務違反ト云フコトノ結果ハ本案ノ方ガ却テ大キナルト云フヤウナ御質問デアラバ記憶致シマス、然ルニ吾ノ見ルトコロハサウデナイノデアリマス、通常保險ニ於キマシテハ保險ノ申込ニ當リマシテ種々様々ノコトヲ開クノデアリマス、即チ父ハ何デ死ンダ、母ハ何デ死ンダ、又是等ノ人ハ病氣ガアッタカ無カッタカ或ハ迦デ尙祖父祖母

ニモ至ル、又平生酒ヲ飲ムカトカ其他何ヲスルトカ云フヤウナ種々様々ノコトヲ開クノデアリマス、而シテ是等ノ非常ニ多クノ事項ニ就キマシテ、若モ偽リ即チ不實ノ告知或ハ不告知ト云フコトガアリマスト解除スルコト云フコトニ相成ルノデアリマス、即チ診査ニ依テ此明ニスルコトヲ得ナイトコロノ種々様々ノコトヲ開クノデアリマス、其告知ガ若モ不實デアッテ、或ハ不告知デアッテ、云フ場合ニハ解除ヲスルコトニナツテ居リマス、然ルニ本案ニ於テハ此ノ如キコトハ一切之ヲ開カナイト云フ主義ヲ採ルコトニナツテ居リマス、即チ目下確定シタモノト申サレメセウガ、豫定シテ居リマス規則案ニ依リマスト、被保險者ハ現在及既往ノ疾患ハ主ナル疾患ノ有無病名及ヒ經過ト云フコトニデアリマス、從テ此告知義務違反問題ガ起リマスノハ此一ツニ限ラレル、通常保險ノ場合ノ如ク各種ノコトニ就キマシテ告知義務違反ト云フコトノ理由ヲ以テ解除スルコト云フコトハ斷シテ生ジナイノデアリマス、而シテ尙此既往ノ主ナル疾患ノ有無及病名ト云フコトニ就キマシテハ、取扱上ノ失敗ノ手續ヲ致シマシテ、此疾患ノ種類ハ極メテ少數ノモノニ之ヲ限ラウト云フコトニ決定ヲ致シテ居リマス、其結果トシテ有ラユルコトニ付テ告知ヲサセルト云フコトヲ要望スル趣意デアハ決シテナイノデアリマス、又御承知ノ如ク商法ノ規定ニ依リマスレバ、告知義務違反ト云フコトハ故意又ハ重大ナル過失ニ依ルトコロノ不告知又ハ不實ノ告知ト云フコトニ起ルノデアリマス、勞働者ノ如キモノガ自分ノ病氣ノ何デアッタカ知ラナイト云フコトハ、多クノ場合ニ於テ決シテ故意トカ或ハ重大ナル過失ト云フコトガ多イノデアリマス、其結果トシマシテ告知義務違反ノ理由ニ依リマシテ、解除スルコト云フ場合ハ殆ど生ジ得ナイノデアリマス、如何ナル場合ニ生ズルカト申シマスレバ、明ニ故意デ重大ナル自分ノ疾患ヲ隱シマシテ、而シテ此保險ニ加入ラシタト云フ場合ニ於キマシテ、若モ詐欺ノ意思ガアッタト云フコトガ明ニ證明出來マスレバ、他ノ規定ニ依リマシテ之ヲ無効トスルコトニ主張致シマスガ、詐欺ト云フコトマデノ證明ガ出來ヌ、併ナガラ詐欺ニ近イコト云フコトガ明デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、此告知義務違反ノ規定ニ依テ解除スルコト云フ趣意デゴザイマス、尙附ケテ申シマスガ、此簡易生命保險法案ニ於キマシテハ、審查會ナル制度ヲ設ケマシテ直ニ民事訴訟ニ參リマセズ、此審查會ニ於テ一應審查ヲシテ、成ルベク被保險者ノ利益ニナルヤウニ圖ツヤルト云フコトヲシヤウト云フコトヲ期シテ居ルノデアリマス、此告知義務違反ノ如キニ至リマシテモ、實際ノ實行上ノ手心ニ依リマシテ、決シテ慘酷ナル結果ヲ生ズルコトハ斷シテナイト云フコトヲ期シテ居ルノデアリマス

○加瀬君 確メテ置キタイ、唯今松本政府委員ハ私ノ問ハントスル趣旨ト違ツタコトヲ御答デ、今ノ告知義務云々ニ付テ詳細ニ御説明ガアリマシタガ、ソレハ所謂商法ノ重要ナル事項ニ付テ實際ノ御取扱振リヲ此處デ仰シヤッタノデ、法文ノ上ニ何處ニサウ云フコトガ書イデアリマスカ、何處ニ使テデアリマスカ、私ハアナタノ頭ノ中デ考ヘテ居ルニ止マルトコロノ、己ハ斯ウ云フ取扱ヲスル積デアルト云フ事實取扱上ノ手續ヲ以テ法文ノ上ニ於ケル效力ヲ左右スルモノト云フノデアリ、故ニ法文其ノモノヲ比較シテ果シテアナタノ今言フヤウナ意味ガ何處ニアリマスカ、此法文デ御指示ヲ願ヒマス、私ノ言フノハ商法第四百二十九條ノ其儘準用シテ宜シクナイナラ、法文ノ上ニ於テモ簡易ノ規定ヲ御立デニナツタラ如何デアルト云フコトニ歸著スル

(政府委員法學博士松本丞治君) 唯今申述ベシタ通りノ方法ニ依リマシテ之ヲ施行致シマスレバ、毫モ不都合ナシト信ジテ居リマスカラ、法文ニ於テ何等改正ヲ加ヘル必要ナシト信ジテ居ルノデアリマス

○議長(島田三郎君) 通告ニ從ッテ加瀬小太郎君

(加瀬小太郎君登壇)

○議長(島田三郎君) 通告ニ從ッテ加瀬小太郎君

○加藤小太郎君 諸君、本員ハ本案ニ對シテ委員長ノ報告ニ賛成ヲ表スルコロノ一人デ、從テ本案ニ對スル所見ヲ申上ゲタイト思フデアリマス、簡易生命保險法案ノ主眼ト致シテ居リマスルコロハ、我國臣民ノ最大多數ヲ占メテ居ルコロ、而モ收入ノ少ナク同僚ノ利益、其利用ヲ目的トシテ居ルコロノ一種ノ保險制度デアリマスルコロハ、人口ノ増加益々多ク而モ工業ヲ始メテ種々產業ノ盛ナラントスルコロノ我國ノ地位ニ鑑ミシテ、竝ニ將來ノ趨勢ヲ察シテ此事業ハ必要ナル社會政策上ノ事業ト致シテ、熱心ニ私ハ賛成ヲスルコロノ一人デアリマス、當ニ此問題ニ對シテハ本員等ノ贊同スルノミナラズ、先ニ御話ノアリマシタ政友會ノ諸君モ亦國民黨ノ諸君モ反對ヲセラレナイデアリマシテ、是ハ國家ノタメニ御同慶ニ存スル次第デアリマス、唯不幸ニ致シマシテ政府ノ提案ニ係ルコロ、簡易生命保險法案ナルモノハ、所謂社會政策ヲ殆ド關係スルコロガナイト云フガ政友會諸君ガ斷定ヲ下サレタデアリマシテ、此點ニ付キマシテ聊カ意見ヲ異ニシタコトヲ遺憾ニ思フデアリマス、即チ政友會諸君ノ御話ニナリマシタ社會政策ノ實行ハ、素ヨリ異議ヲ挟ムコトナイケレドモ、政府ノ提案ニ係ル簡易保險ハ社會政策ヲ殆ド關係スルコロガナイト云フ斷定ヲサレタデアリマス、思フニ此先ニ御話ニナリマシタ勞働者階級ニ屬スルコロノ所謂下級ノ人ミノ失業、或ハ疾病或ハ傷害其他老廢等不幸ナル者ノ救助ヲ目的トシテ是ガ保險ヲ強制シテ加スセシメ、而モ其保險料ノ大部分ト云フモノハ、或ハ國庫ニ於テ或ハ雇主ニ於テ負擔スルコト云フ此制度ナケレバ、所謂社會政策ナイト云フ見解ニ付キマシテハ、吾々決シテ反對スルモノデハナイ、是ガ今日マダ多ノ人ガ唱ヘテ居ルコロノ社會政策其モノデアコトハ吾々モ信ズルケレドモ、併ナガラ此以外ニテ、此以外ニ社會上ノ問題ト云フモノガ殆ド無イ言ハレニ至リマシテハ、吾々は是ト意見ヲ異ニシナケレバナラヌデアリマス、乃チ社會政策ノ範圍ヲ必ズシモ勞働者階級ニ限リ必要ハ無クシテ、其他ニ現ニ我國ノ現狀ニ就テ考ヘテ見ルキニ於テハ、極メテ收入ノ少イ者ガ例ヘバ極ク下級ノ官吏ニ致シマシテモ、或ハ會計員ニ致シマシテモ、或ハ銀行員ニ致シマシテモ、其他諸種ノ學校教育ニ關係シテ居ル者ニ至ルマデ、所謂此社會政策の事業ニ依テ之ヲ救済シナケレバナラヌ、救済ヲ要スル所ノ人ミガアルガ故ニ、然モ是等ノ人ミハ相當ノ地位ガアル、又相當ノ學識ガアル、然モ其體面ヲ保全ナケレバナラヌト云フガ故ニ、寧ロ生計ノ上ニ於テ非常ナル苦痛ヲ感ズルコト云フ、斯ウ云フ人ミハヤハリ社會問題ノ一ノ現象トシテ吾々ノ頭腦ノ上ニ攻究シナケレバナラヌデアッテ、是等ヲ含メタル所ノ社會政策の事業ガ必ズ無ケレバナラヌデアッテ、此意味ニ於テ吾々今日簡易保險法案ノ實質ニ於テ内容ニ於テ含ム所ノ意味ハ、是等ノ人ミヲ含ムモノデアルト云フコトニ付テ、社會政策上ノ事業デアルト云フコトヲ吾々ガ申スデアリマス、乃チ特ニ申上ゲマシタヤウニ、多數民衆ノ利益ト致シ其利用ヲ目的トスルニ付テ必ズ收入ノ少ナイ者デナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ、簡易保險ト云フモノハ少額デナケレバナラヌ、又身體ノ無檢査ヲヤルト云フ意味、或ハ非營利デアルト云フコトニ付キマシテハ、總テ此多數ノ人ミハ然モ收入ノ少ナイ者ヲ目的トスル此事業ノ範圍内ニ入ルベキモノトシテ、吾々多數ノ人ミハ社會上ノ一ノ施設トシテ之ニ賛成スル所ノ者デアリマスガ、此點ニ付テハ如何ニモ勞働者階級ニ限リ、勞働者階級ノ強制ノ保險デナケレバナラヌト云フコトノ御見解ニ付キマシテハ、些カ説ヲ異ニスル所デアリマスガ故ニ、此點ニ付テ政友會ノ諸君ハ別ニ御反對ハ無イデアル、唯狹イ意味ニ解スルコト廣イ意味ニ解釋シテ、其實質其内容ニ付テハ反對ナイト云フコトデアリマシタラバ、吾々ガ執ル所ノ社會政策上ノ事業ニ付テモ、御賛成ヲ願ヒマシテ吾々ノ説ニ御同意下サルコトヲ切ニ希望スルデアリマス、此以外ニ於キマシテハ主トシテ政府ノ提案ハ甚ダシク民衆ヲ壓シ、經濟界ニ惡影響ヲ及ボスノ虞ガアル、此點ニ付テ大分主トシテ御述ニナリマシタガ、此點ニ付キマシテハ現ニ此生命保險業者團體總代トシテ阿部泰藏氏ガ陳情ノ追申ト云フモノヲ吾々ニ迴サレテ居リマス、多分諸君モ御案内デラウ

ト思ヒマスガ「我々保險業者ハ簡易保險其モノ、實行ニ對シテ反對致シ候儀ニハ無之ヲ獨占官營トシテ民間普通保險ヲ壓迫セラル、ニ至ルコトヲ憂ヘテ陳狀致候次第二有之候」其終リニ於キマシテ「我々營業者ハ協力シテ特許制若クハ官民合同制ノ一會社ヲ組織シ極メテ健全ナル仕組ヲ以テ簡易保險ヲ非營利の經營セシメトヲ出願スヘク」此點カラ考ヘマシテモ生命保險業者ハ確ニ簡易保險其物ニハ反對ナイト云フコトヲ明白ニ示シテ居ルデアリマス、唯此言葉ガアルト同時ニ、其下段ニ於テ極メテ健全ナル仕組ヲ以テ簡易保險會社ヲ創設シタイト云フ御希望ノアルト云フ民間ノ保險業者ガ之ヲ經營スレバ壓迫ガ無イ、政府ガ之ヲ壓迫スルコト云フ問題ハ此中ニ於テ頗ル疑問トスル所デアルケレドモ、假ニ民間ノ普通保險ヲ壓迫スルコト云フ此言葉ヲ藉リテ申シマスタラバ、事業ノ範圍——豫テ申上ゲマスヤウ事業ノ範圍ハ自ラ別ニナッテ居リマスカラ、其間ニ截然タル區別ガアル、ウレ故ニ壓迫ノコトハ斷シテ吾々ガ無イト云フ、無イトハ信ズルケレドモ若シ有リトスレバウレハ多少ノ影響ガアル、此點ニ付キマシテハ保險業ニ關係アル人ミト意見ノ交換ヲ行ッテ見マシタガ、實際ノ點ニ付テ影響ヲ及ボスカト云フ具體的ノ論斷ニ入リマシタキニ、第一ニ私ニ申シマシタノハ若シ此官營保險ト云フモノガ行ハレタキニハ、實ハ勸誘ヲ拒絶サル、口實トナルコトガ多イ、若シ政府ノ保險ト云フモノガ此ニ出來タキニ勸誘ニ參リマシタキニハ、政府ノ保險ガ出來タカラ殊ニ財界ノ不景氣ノ場合ニ於テ先ヅ見合ハシテ置カウ、官營ノ方ニ入ルカ知ラント位ナ程度ニ於テ事實ニ於テ壓迫ヲ受ケル虞ガアル、是ハアルカモ知レナイ、知レナイガ併シ此口實ハ吾々平生用ユル言葉デアッテ、現ニ保險會社ニ行ハレテ居ル、其保險會社ノ役員ガ參リマシテ吾々勸誘シタガ行ハレタガ爲メニ直ニ其事ガ影響スルコト云フコトハ斷シテ無イデアル、殊ニ保險會社ノ人ミガ非常ニ熱心ニ勸誘致シマスカラ、此言葉ハ所謂心理的壓迫デアリマシタケレドモ、大シタ影響ハ寧ロ無クシテ暫クノ間ニ此事ハ消ユルデアラウト云フコトヲ互ニ話合ッタデアリマス、第二ニ更ニ具體的ノ壓迫トハ何デアルカ、斯ウ云フ間ヲ出シマシタキニ、今日マデニ三百圓以内ノ契約ノ申込ガ多數ヲ占メテ居ル、餘程多キヲ占メテ居ル、此三百圓以内ノ契約者ト云フモノガ、官營ガ出來タキニハ直ニ其方ニ向ッテ移ルト云フノ心配デアル、現ニ我輩ノ如キモ其一人デアッテ、二十年來三百圓以内ノ保險ヲ掛ケテ居ルデアリマス、併ナガラ是ハ若シ一回若クハ二回デアッたらバ之ヲ切捨テルト云フ場合モアリマシタケレドモ、五年若クハ十年ノ間掛金ヲ致シタ者ニ對シテハ、之ヲ捨テ、マ官營ニ行クト云フコトハ無イ筈デアル、殊ニ一面ニ於テハ廉價ノ所ヨリ高イ所ニ去ルト云フコトハアルマ、斷シテアルベキモノデナイ、是ガ第一ノ壓迫ノ具體的ノ說明デアル、第三ニハ何デアルカ第三ニハ三百圓ト云フ此金額ハ政府カラ云フトキニハ最高金額デアル、之ヲ契約ヲ認メル、此又會社ノ方カラ言ヘバ其三百圓ト云フモノハ最低ノ金額デアッテ、是モ亦加入ヲ認メル、此ノ接觸スル三百圓ト云フモノハ非常ナル競争ノ激烈ナル中心トナルト云フヤウナ心配ヲシテ居ル、併ナガラ此三百圓其モノヲ考ヘテ見ル時ニ於テハ、此ノ政府ノ三百圓ト云フモノハ最高ノ三百圓デアル、又民間ノ方カラ申シマスタラバ、最低ノ三百圓デアル、然レニ會社トシテハ最低ノ三百圓ハ要求セナイ三百圓デアル、政府ノ三百圓ハ要求セザル三百圓デアル、平均ノ上カラ申シマスタラバ、政府ノ方カラ言ヘバ七十五圓、此ノ七十五圓ト云フモノガ目的デアル、民間ノ方カラ言ヘバ七百圓ト云フモノガ是ガ豫期ノ金額デアル、此ノ間ノ差ト云フモノハ非常ニ多イデアリマスカラシテ、其間ニ激烈ナル競争ノアルト云フコトヲバドウシテモ想像スルコトガ出來ナイデアリマス、況ヤ最近保險會社ノ實際ノ數字ニ依ッテ之ヲ見ル時ニ於テハ、此ノ五百圓ノ率ト云フモノガ年々減ッテ參リマス、年々此ノ方ガ少クナッテ參リマスカラ、此ノ方ノ心配ト云フモノ、先ヅナイト見テ宜イデアリマス、此ノ歩合ハ別ニ申上グル必要モアリマセヌ、新契約ニ付テモ亦現在ノ契約ニ付テモ數字ガ明カニ之ヲ示シテ居ル、更ニ

進シテ此ノ三百圓ト云フモノガ若シ行ハレタ場合ニ於テ、五百圓ノ保險金ニ及ボス、或ハ七百圓ノ保險金ニ及ボスト云フコトヲ盛ニ唱ヘラレノデアリマスケレドモ、其七百圓若クハ千五百圓ノ例ヲ御引キニナル時ニ、例ハ千五百圓ノ金ヲ申込ムトスル一人ガ其千五百圓ノ金ヲ一會社ニ入レルモノヲ、今度ハ官營ノ方ニ五人ガ分配シテ入ルヤウニ申サレノデアリマス、トコロガ千五百圓ト云フモノハ是ハ養老ノ場合ニ於テ致シマスルト云フ、養老ノ場合ニ見ル時ニ於テハ平均シテ二百圓ト云フモノヲ簡易ノ保險會社ニ入ルト云フコトハ、是ハ出來得ベカラザルコトデアル、平均シテ年モ違ハナケレバナラヌ、受取ル期間モ違ハナケレバナラヌカラ平均二百圓ノ申込ト云フコトハ是ハ到底出來得ナイ、出來タニシテモ心配ハナイ、多少申込方出來ルカ知レモセズ、併シ生命保險ニナリマスルト其千五百圓ト云フモノ、必要ハ誰デアルカト云フ、主人即チ申込人デアル、此ノ申込人ガ初メ死シタ場合ニ千五百圓ガ實ヘルデアデ、是ガ五分ニ分レタ時ニ例ハ五人トスレバ其五人ガ同時死ヌラ同時ニ合シテ千五百圓受取ルコトガ出來ルケレドモ、主人一人死シタコトデ千五百圓ハ取レナイデアアル、故ニ此ノ事實ハアルベキ事デナイ、假リニテス、主人ナルモノガ一人千五百圓ノモノヲ二百圓申込シテ、他ノ四人ニ對シテ千二百圓ノ申込ヲ引受ケテ自ラ拂込シタトスレバ、假ニ其主人ガ死シタ場合ニ於テハ、其他ノ千二百圓ニ至ルマデ拂込ミヲ爲スコトガ出來ナイト云フ場合ニ至リマスカラ、此ノ事實モ亦想像スルコトガ出來ヌデアデ、今日マデ民間ニ行ハレテ居ルコトノ千圓若クハ千五百圓ノ御客ガ總テ官營ニ移ルト云フコトハ、事實ニ於テアリ得ベカラザルコトデアルト云フコトヲ私ハ信ズルデアリマス、斯ノ如キ影響ハ總テ營業者ガ實際ニ付テ影響ヲ及ボスベキモノト云フ判定デアリマスガ、政府ニ於テハ成ルベク此競爭ニナルベキ方針ヲ避ケテ、積極的ニ競爭ヲシナイノミナラズ、假リニモ壓迫ノ事實アルト云フコトヲ避ケルガ爲メニ從來此保險會社ト云フモノガ随分多ク、民間ニ設立サレタコトガアル、此點ニ付テハ寧ロ此壓迫ト云フ事實ヲ申上ゲルナラバ、保險會社ガ何ガ一番怖イカト云フナラバ會社自身ノ——大會社ノ壓迫ニ依テ受ケルコトノ損害ガ何ガ一番怖イモノデアル、若クハ會社ト會社トノ競爭ト云フモノガ非常ニ惡影響ヲ及ボスモノデアデ、是ハ多數ノ會社ガ恨ムトコロノ言葉デアリマス、ソレ故ニ會社自身ハ非常ナル營業費ヲ使ツテ非常ナル募集費ヲ使ツテ、殆ド其基礎ヲ危ウスルマデニ至ルト云フモノハ、保險會社相互ノ壓迫、保險會社相互ノ競爭デアデ、禍ハ寧ロ内ニアルモノデ外部ニアルモノデナイト云フコトヲ證明スルニ足ルデアリマス、併ナガラ政府ハ明カニ此點ニ注目致シマシテ、嚴重ニ現會社ヲ督勵スルト同時ニ、將來ノ濫設ヲ防止スルコトハ政府自ラ吾々委員會ニ於テ言明シタコトデアリマス、若シ此言明十分信ジ得ルナラバ、將來ニ於ケル保險會社ノ基礎ト云フモノハ益々基礎ヲ鞏固ヲ來シ營業ノ確實ヲ來スコトハ疑ナイデアリマス、更ニ普通保險會社ノ利益ト認ムベキモノハ、此簡易保險ノ證券ニ對シテ差押ヲ禁ズルト云ウコトハ現ニ規則ノ中ニアル、此規則ヲ保險金額ニモ應用シマシテ、保險金額ヲ差押ヲ禁ズル條項ヲ入レルト云フコトハ、同ジク政府自ラ言明シタ所デアル、斯ノ如ク種々政府ガ保險會社ノ利便ヲ圖ルト同時ニ、更ニ普通保險會社ニ對シテハ從來保險思想ノ獎勵ヲシナカッタデアリマスケレドモ、將來ニ於テハ何等獎勵ト共ニ保險思想ノ普及モ圖ル、此獎勵ヲスルト云フコトデアリマスガ故ニ、決シテ以上ノ事實ニ依テ壓迫ヲ加ヘルコトナキノミナラズ、將來益々保險會社ノ利便、保險會社ノ基礎ト云フモノハ鞏固ニナルト云フコトハ吾々ガ信ジテ疑ハナイデアリマス、又此點ニ對シテ政府ノ調査願ハ杜撰デアルト云フコトハ申サレタデアリマスガ、是ハ見ル人ノ目ニ依テ異ナルトコロガアル、併ナガラ吾々ノ調査スルトコロニ依ルナラバ、諸君モ御案内ノ通り四五年来政府ハ少額保險ノ官營並ニ普通保險會社ノ關係ニ付テハ特ニ調査シテ居ル、又各省ノ内務ニ致シマシテモ大藏ニ致シテモ司法ニ致シテモ、通信ニ致シマシテモ、農商務ニ致シマシテモ、ソレ／＼委員ヲ選定シテ之ニ關スル調査ト云フモノヲ進メテ居ル、又

大正三年ニ於テハ保險官營ニ對スルコロノ建議案ガ議會ニ現ハレテ居ル、又同二年ニ於キマシテハ貴族院ニ於テ時ノ農商務大臣ガ明カニ小口保險ノ官營ヲ必要トスルト云フコトマデ言明致シテ居ル、種々調査ヲ致シマシタ末ニ、惡案デアラコトコロノ本問題ヲ提出シタト云フコトニ付テハ、決シテ調査不十分デアルト云フコトハ申スコトハ出來ナイト云フモノハ信ズルデアリマス、故ニ保險會社ノ壓迫ヲ受ケル程度ガ、吾々ガ想像スル如ク極メテ少ナク、是モ斷シテ保險會社ニ影響アルト云フ人ハナイ、唯廣ガアル、其廣ノ具體的ニシタモノガ前申上ゲマシタ二箇條デアリマスガ、此處ガ無クシテ又保險會社ノ目的ト云フモノガ總テ此民衆ノ利益並ニ其利用ヲ目的トスル趣意デアル以上、ソレニ斯ノ如ク政府ガ多年ノ間調査サレタモノデアル以上、今日ニ於テ之ヲ實行スルコトハ決シテ無用ノコトデナイ、前モ申シマシタヤウニ今日ノ社會狀態ニ於テ又將來ノ趨勢ニ鑑ミテ益々吾々ガ必要ヲ感ズルデアリマスカラ、願クハ更ニ繼續委員ヲ設ケテ調査スルト云フコトハナクシテ、此際直ニ此案ニ同意セラレムコトヲ諸君ニ希望スル次第デアリマス

○議長(島田二郎君) 前川虎造君

〔前川虎造君登壇〕

○前川虎造君 我ハ少數意見ノ贊成者ノ一デアリマス、私共ノ同志ガ一二除外スル外ハ全部少數意見ニ同意ヲ致スコトニナッテ居リマス、聊カ私ハ其意見ヲ代表シ、此少數意見ニ同意スル理由ヲ述ベヤウト思フデアリマス、唯今加藤君カライロク、末葉ニ互ッテ少數意見見反對ノ御議論ガアリマシタガ、丁度委員會ニ於テ政府委員ガ述べラレタ通りデアリマス、斯ノ如キコトデ吾々ガ承服スルデアラナラバ、快ク委員會デ本案ニ賛成致シテ居ルデアリマス、今更贊成ハ出來ナイデアリマス、ソレデ私共ガナゼ此案ニ反對スルカト申シマスルニ、案其物ニハ反對ヲ致スコトハ當然デアルガ、簡易保險ト云フコトニハ反對ヲスルノデアリマセズ、餘リ此内容ガ貧弱ニシテ社會政策ノ一端ニナルデアルト聲明スルニ拘ラズ、餘リ社會政策ト云フコトノ感シガ少ナ過ギルデアル、故ニ之ヲ少シク吾々ガ研究ヲシタナラバ、何等社會ニ害毒ヲ流サズシテ、モウ少シ完全ナル意味ニ於テ社會政策ヲ遂行スル一端ガ現ハレハシナイカト云フ考ヲ有シテ居ルデアリマス、ソレデナゼト云フコトヲ言フカト云フニ、政府ガ此事業ヲ獨占ナリト稱シ置キナガラ、事實ハ獨占デハナイデアリマス、七ツノ會社ガ百圓以上ノ保險ヲ今尙此保險ヲ施行スル後ト雖モ、之ヲ募集スル權利ヲ政府ハ奪フコトガ出來テ居ラヌデアリマス、又二百圓以上ヲ募集スル會社一社ノ存在ヲ許シテ、今尙此二百圓以上ノモノヲ此保險ノ施行後ト雖モ、尙募集スル權利ヲ與ヘテ居ルデアリマス、然ラバ獨占ト云フコトハハナイ、八ツノ會社ヲ前ニ控エテ其上ニ政府ガ之ヲアルデアアル、ソレデ簡易保險ノ獨占ト云フコトハ根本ニ於テ其ハツノ會社ノ爲メニ侵サレテ居ルデアリマス、故ニ若シ獨占スル必要ガアルナラバ、何ガ故ニ此ハツノ會社ニ對スル相當ノ處置ヲ御執リニナラナイカ、獨占ト云フ以上ハ方法モ考ヘレバアルデアリマス、即チ在來三百圓以下ヲ許シテ居ル保險會社ノ事業ニ、相當ノ補償ヲ與ヘテ政府事業ニナスト云フコトハ、其金額ニ於テ取調ベタ以上必ズシモ絕對ニ出來ナイコトデナイト、私ハ信ジテ居ル、斯ノ如ク一切ノ掃除ヲシテ三百圓以下ヲ募集スルモノガ民間ニ一モナイト云フコトニシテ、初メ此獨占ノ目的ヲ達スルデアリマス、是ハヤル方法ニ依レバ幾ラモアルデアリマス、取調ベレバ出來ルデアリマス、之ヲ出來ナイモノシテ直ニ政府ガ簡易保險ヲ獨占シナケレバナラナイ、獨占シナケレバナラナイト云フモノハ根ノ乾カナイ中ニ、既ニ七ツノ會社ガアルト云フハレテモ、全ク答辯ノ出來ナイコトデハ是ハ獨占事業デアリナイデアリマス、故ニ私ハ此點ニ於テ能ク取調ベレ、モウ一ツ研究ヲ重ネタナラバ、此七ツハツノ會社ヲ相當處理シテ後ニ政府ガ全ク之ヲ獨占事業ニナスコトガ出來ナイト云フコトハナイト信ジテ居リマスカラ、此點ニ於テモウ少シ私ハ審議ヲ盡シタイト思フデアリマス、是ハ第一獨占事業ト云フ性質ニ向ッテノ上ノ分ラヌ疑問デアリマス、此疑問ヲ研究シタイト云フデアリマス、ソレカラ其次ニハ一體官營

官報號外 大正五年二月十八日 衆議院議事速記第二十七號 簡易生命保險法案、簡易生命保險特別會計法案 第一讀會ノ續 六〇三

ト民營トノ關係アリマス、政府ハ保險思想ノ普及ト云フコトヲ先ヅ主眼トシテ此案ヲ提出シタルアル、之ニ伴フ社會政策ノ幾分ヲ果シ得タラバ、ヤハリ社會政策ノ一端ト見テ宜イ、斯ウ云フ御説明デアルノデアリマス、保險思想ノ普及ト云フコトハ必ズ官營保險ヲ普及セシメテモ幾ラモ他ニヤリ方ガアラウト私ハ信ス、ソレデ細民ニ保險思想ヲ普及スルノハ民間ノ保險會社ハ出來ナイコトデアル、是ハ政府ニ依テ初メテ出來ルモノデアルト云フ確乎タル一ノ基礎ノ下ニ立テラレタル議論ニアラザル以上ハ唯口先キテ細民ニ保險思想ヲ普及スルノハ政府ヨリ外ニ出來ナイノデアルト云フコトハケデハ、吾々ハ承服ガ出來ナイノデアアル、此點モ能ク調査シテ見タイノデアアル、ナセ調査シテ見タイノデアアル、現ニ盜人ヲ捕ヘテ繩ヲ締フヤウナ話デアリマスガ、私ハ昨日接手シタル保險業者ノ嘆息書ト言ハウカ、請求ト言ハウカ、何ト名ヲ付ケテ宜イカ受取ツタ書面ニ依リマス、保險會社ノ總代タル阿部泰藏君ガ民間ニ政府ガ最も信頼シ得ラレルケル條件ヲ具備シテ、丁度政府ト同一ノ勳ヲシテ保險思想ヲ發達セシメ保險ト云フコトニ危險ヲ感シメザル程度ニ於テ、吾々ガ此簡易保險ヲヤテ見タイカラドウカ許シテ貰ヒタイト云フ保險業者ノ一ツノ請求ヲ吾々ハ接手シタルデアリマス、故ニ必ズシモ政府ノ力ヲ以テシナクテモ民間デモヤルト云フ者ガアル以上ハ、尙此問題ヲ研究スル餘地カ十分アルト吾々ハ信ズルノデアリマス、一體政府ト云フ者ハ何ヲ苦シテ左様ナ事業ヲナサレカ、政府ノ力ニアラザレバ民間デ出來ナイト云フモノデアッテ、其事ヲヤラナケレバ社會ノ或ル一部ニ缺陷ヲ生ズル、其缺陷ヲ補フ爲メニ政府ガ止ムヲ得ズ此事業ヲヤルト云フ前提ノ下ニアラザル以上ハ、總テ政府事業ト云フモノハ皆無意味デアル(ヒヤク)ト呼フ者アリ)現在ニ於テモ隨分吾々ガ民間デヤリ得ベキコトヲ政府ガ危介千萬ニモオヤリニナツテ居ルコトガ澤山アル、是ガ追々吾々ハ民業ニ移ス考ヲ有ツテ居ルノデアル、此場合ニ於テ此不完全極マル簡易保險業ヲ是非政府ガオヤリニナルト云フコトハ、甚ダ吾々ハ其意ヲ得ヌノデアリマス、ソレカラ又政府ハ斯ウ云フコトヲ言ハレル、此保險法案ヲ提出サレニ當ッテ、政府委員ハ曰ク一體民間デヤルト云フコトニナルト小額保險ヲ募集スルニ澤山ナ募集費ガ掛ル、ソレハ被保險人ガ非常ニ迷惑スルカラ、吾々ノヤルノハ役人ガヤルノデアアル、即チ七千二百有餘ノ郵便局ガ此事務ヲ從事スルモノデアルガ故ニ、募集ニ手數ガ掛ラナイ、即チ經費ヲ要セヌ、所謂役人ガ之ヲヤルノデアルト云フコトヲ一面ニ御聲明ニナツテ居ル、如何ニモサウ云フコトニナツテ居リマスナッテ居リマスガ翻ツテ此應募手數料、ソレカラ集金手數料ノ一事ニ想到シタ時ニハ、反對ノ意見ヲ吾々ハ抱カケレバナラヌヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、保險細則ニ依ッテ見マス、應募手數料ガ千分ノ六デアリマス、ソレカラ集金手數料ガ百分ノ十二、一圓集金シタルモノニハ十二錢ノ手數料ヲ與ヘルコトニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ莫大ナル途途途モナイ手數料ヲ給シテ、尙役人ガヤルノデアアルカラ募集經費ガ掛ラナイト云フコトハ何事デアルカ、郵便局ノ局長手當少シト雖モ官吏トシテ相當ノ手當ヲ受ケテ居ル、配達人是モ十分デナイトシテモ、其者ガ配達シ得ルタメニ俸給ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ人達ガ此事務ニ從事シ集金スルノニ、百分ノ十二ノ集金手數料ヲ與ヘナケレバ動かヌトハ何事デアルカ、吾々ガ其意ヲ得ナイトコロノ最も甚シイ箇處デアリマス、政府ガ役人ニヤラセルノカラ經費ガ掛ラナク、ソレカラ集金手數料ノ一事ニ想到シタ時ニハ、此保險ニ付テ必要イハナイトコロノ雜費ハ御給シナッテ、サウシテ郵便配達ヲタ、使フ、郵便局長ヲタ使フト云フコトニナレバマダ分ツテ居ルガ、之ニ斯ノ如ク民間ノ保險ノ募集手數料集金手數料以上ノ手數料ヲヤッテ、サウシテ役人ヲ御使ヒニナルト云フコトハ、私ハ一向保險ノ金ガ掛ラヌト云フコトハ分ラヌノデアリマス、元來此保險ハ民間經營保險トハ特種ノモノデアルト云フ、何處ガ特種デアルカ、一向特種ノモノデアハナイ、唯強イテ何處ニ特種ノ所ガアルカト云フ、身體検査ハシナイト云フ外ニハナイ、身體検査ヲシナイト云フコトハ取直サズ保險ニ入ルノガ極メテ便利デアルト云フコトデアアル、ソレデカラ入ル者ガ

極メテ入り易イ、此一事ハ看板、唯保險ニ客ヲ呼ブ看板トナルノデ、之ヲ保險ノ特種ノ性質ト見ルコトハ出來ナイノデアリマス、甚シキニ至ッテハ此保險ノ被保險者ガ保險金ヲ掛ケテ居ルモノデ、五圓以上ニ溜ツタ時分ニハ五圓ヲ最低限度トシテ政府ハ貸付ケルト云フノデアアル、此貸付ケルコトニ付テハ又社會政策上非常ナル議論ノアルコト、思フ、今日ノ移民ノ狀態ハ如何ナル狀態デアリマス、彼等ハ二三錢ノ金ヲ貯蓄スルト云フ考ハ場合ニ依リ起ルノデアリマス、若シ此貯蓄シタ金ガ一圓三圓ト溜レ直ニ之ヲ取出シテ浪費スルト云フノガ今日一般ノ形勢デアリマス、若シ政府ガ強制保險ノ如ク労働者ノ強制保險ト云フ譯ニハ行カヌモノデアレバ、一旦持込シ金ケテモセテ保留シテヤルト云フ政策ヲ何故御執リニナラヌノデアアル、之ヲ直ニ民間保險會社ノ如ク保險掛金ガ溜タラバ、其中デ貸シタルモノヲ其貸付ニ付テノ利子ガ甚ダ不當極マルノデアアル、民間ノ銀行ハドウ云フ有様デアルカ、銀行ハツマリ預金利子ヲ四朱若クハ五朱デ之ヲ貸付ケル時分ニハ、六七朱ノ金利デ貸付ケテ其差金ヲ以テ銀行ハ營業ヲシテ居ル、今度ノ政府ノ簡易保險ハドウデアルカ、保險ノ利子ヲ三朱五厘ト見積ツテ之ヲ貸與ヘタル、受取ルベキ利子ハ二百分ノ一ト規定シテ居ルカラ即チ五朱デアアル、其差ガ一朱五厘ト云フモノデ此貸付ノ金利ハドウ云フ性質ノモノデアルカ、之ヲ深ク研究スレバ一種ノ營利事業ニナル、何故ニ官廳ガ經營スル事業デスノ如キ莫大ナル手數料ヲ取り、斯ノ如キ莫大ナル募集費ヲ取ルトコロノ此保險ニ對シテ、之ヲ貸渡ス時ノ利子ト預ケル時ノ利子トシテ差ヲ付ケルト云フコトハ何事デアルカ、斯様ナコトヲ以テ社會政策デアルト世間ニ聲明シ得ルコトガ出來ルカ、私共ハ斯様ナ些末ナ點ヲ舉ゲマスレバ幾ラモアリマス、加藤君ノ述べラレタルヤウニ極メテ微々タル民間ノ保險會社ガ打撃ヲ受ケルカ受ケヌトカ云フコトハ、私共ハ之ヲ極言スレバ民間ノ保險會社ガ政府ノ簡易保險法ノ實施ニ依ッテ受ケルコトコロノ打撃アリトスレバ、即チ保險會社ハ自其身ガ政府ノ信用ニ及バヌト云フコトヲ自白スルト同シコトデアルト思フカラ、是ハ私ハ保險業者ノ爲ニ探ラヌガ、併ナガラ保險ガ現在ニ於テ七十萬以上ノ被保者ヲ持ツテ居ルシタナラバ、此會社ノ倒レルト云フコトハ單リ保險會社ノ迷惑ナルノミナラス、七十萬人ノ被保者ニ大迷惑ヲ掛ケルノデアリマス、故ニ私ハ政府ガ之ヲ實行スル以前ニ於テ、先ヅ此七十萬人ノ被保者ヲ如何ニスルカト云フコトヲ此ニ御研究ニナツテ、之ヲ救済スル案モ併セテ伴ハナケレバ社會政策ト云フコトニハナラヌ、七十萬人ノ人間ハドウナツデモ宜イ、政府ハ其他ノ細民ニ保險思想ヲ普及スレバ宜イト云フ理窟ハドウシテモ出テ來ナイト思ヒマス、之ヲ強イテ言ヒマスレバ丁度齋藤隆夫君ガ委員會ニ於テ、大ノ蟲ヲ生カシテ小ノ蟲ヲ殺スノコト云フ議論ヨリ外ニシヤウハアルマイト思フ、社會政策ハ決シテ大小ニ依ッテ區別ヲ立テルモノデアリマセヌ、或ル意味カラ言ヘバ此強弱ノ優劣ガ社會一般ニ激シクナツテ來テ、ソレガ爲ニ社會組織ニ國家組織ニ缺陷ヲ生ジテ來ル虞ガアルカラ、此優劣兩者ノ間ヲ調和スルコトノ政策ヲ爲スノガ社會政策デアリマス、多カラウカ少カラウカサウ云フ問題デアリマセヌ、故ニ此案ノ性質ハ社會政策ノ一端デアルト政府ガ聲明スル以上ハ、少シニテモ社會政策ヲ能ク加味シナケレバ問題ニナラヌノデアリマス、故ニ政府ガ出シタ案ヲ別ニシテ、政府ノ案以上ニ尙此簡易保險ヲ官營ニスルト云フ上ニ於テ、ヤリ方ニ依レバ社會政策ヲ能ク加味スルコトガ出來ル餘地ガアルトス、此ガ故ニ、吾々ハ政府當局トモウ少シ審議ヲシテ見タイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此簡易保險ニ頭カラ反對スルノデアアリマセヌ、又委員會ノ諸同志會ノ諸君ノ言ハレルニハ、今日ノ大隈內閣ハ幾多ノ發案ガアツケレドモ、其中デ何ガ一番宜イモノデアルカト言ヘバ、此案ガ一番宜イノデアルト斯ウ云フコトヲ非常ニ誇ラレタルデアアル、如何ニモ吾々モサウ思フ、此點ハ異論ハアリマセヌケレドモ、之ヲ直セバ尙好ナラント云フコトガアレバ直ニ御同意ニナツデ宜カラウト思フノデアアル、諸君ハ如何ニ聲明ナリト雖モ唯今加藤君ハ此案ハ五十年前カラ政府當局ニ於テ取調ベタ結果デアルカラ、完全無缺デアルト云フコトヲ言ハレタガ、政府ガ調ベタモノニ是マデ

完全ニ行ツタモノアリマス、私ハ近イ例ヲ舉ゲマス、何デアルカ、蠶絲救済米價調節
デアル、政府ハ苦心シテ御調ベニナツタ結果、其結果ヲ應用シテ見テドウナツタ、何等ノ
效用ヲ爲サス、爲サズシテ更ニ米價調節調査會ヲ御開キニナツテ特別委員ヲ設ケテ現
在ヤッテ居ルデハナイカ、此點カラ言ヘバ政府ガ唯御調ベニナツタ云フコトガ直ニ完全ナ
ルモノトハ言ハレナイノデアリマス、殊ニ此保險ノ如キハ實際ト學理トハ非常ニ懸離レテ
居リマス、其證據ヲ二三申上ゲマス、政府ガ元來此保險ナルモノ、基礎ヲ何處ニ置カ
レ居ルカ、此保險法ガ實施セラレド、全國七千二百一郵便局ガ一郵便局ニ付テ一箇
月三二平均ノ加入者ガアルデアラウ、サウスル初年度ニ於テ六八人ト云フヤウナ計算
ヲ舉ゲテ、五箇年間ノ計數ヲ示シテ、サウスル此間ニハ營業費ノ收支ガ價ハナイカラ、國
庫カラ二十萬圓ノ補助ヲ與ヘテ其補助此間ノ營業缺陷ヲ補テ行クノデアルト云フ
計算ニナツテ居ルノデアリマス、是ガ大キ間違デアル、是ハ將來ノコトデアリマス、或
ハ私ガ言フノガ當ルカ政府ノ言フノガ當ルカ分リマセウガ、今日地方ニ行ツテ御覽ナサイ、
ドウ云フ有様デアリマス、民間ハ保險ニ入りタイガウカ、入ッテ、或ル約束ノ時期
ニ錢ヲ與レナケレバツマラヌト云フ考ヲ持ツテ居ル、利子ガ高イトカ安イトカソナコトハ
ナイ、保險業者ノ大ニ考フベキコトモ此處ニアラウト思フ、ソレデモラモウ一度申シマス
レバ、民間ノ保險會社ハ政府ノ信用ニ及バヌト云フコトニナツテ居ル、ソコニ三朱五厘デ
モ二朱五厘デモソナコトハ宜イノデアリマス、唯細民ノミデハアリマセウ、是ハ中等以上
ノ人間デモ民間ノ保險會社ヲ餘リ信用シテ居ラヌノデアリマス、ケレドモ外ニ無イカラ之
ニ入ッテ居ルノデアル、此處デ官營ヲヤレバ大旱ノ雲霞ヲ望ムガ如キ有様此保險ニ入
リ込ンデ來ルコトハ明カデアル、ソレデ十年二十年ノ後ニナツテ一應保險ガ普通シテシマ
タ後ハ、或政府ノ御見込ノ如ク一箇月一郵便局三二人位ヲ被保人ヨリナイカ知レナイ
ガ、ソレ施行スルト同時ニ少クモ一郵便局區域ニ付テ二百ノ被保人ヲ得ルコトハ、
立ドコニ得ラレルモノト私ハ信ジテ居ル、是ナドモモウ少シ研究シテ見タイト思フ、果シテ
私ノ言フガ如クナルカ、政府ハ三人ト見積ツコトガアルガモウ少シ研究シテ見タイト思フ、
ハ何故サウ云フコトヲ言フカト云フ、彼ノ新聞ノ配達ト云フコトヲ云フ境遇デアル
カ大阪ノ朝日或ハ毎日、大阪市新聞デアリマス、是ハ關西各府縣ニ互ニ賣捌所
ヲ有ツテ居リマス、此賣捌所ハ二位ノ利益デ賣捌イテ居ルコト云フ、一枚賣捌イテ月
ニ二十錢カ十五錢位ナ利益デアリマス、ソレ配達人ヲ使ツテ毎朝配達シテ居ル、サウシ
テ集金ハ月ニシテ居ル、サウシテ彼等ハ僅カナ此利益デ集金ハ人ヲ使ヒ配達人ヲ使ツテ、
此賣捌所ハ生存シテ居ルノデアリマス、ソレデ一方ハ丁度郵便配達ノ序ニ行クノデアリ
マス、其三十日間ニ唯一回向フノ都合ノ好イ日ニ金ヲ貰ヘバソレデ済ムノデアリマス、斯
ウ云フ事業デアッテ百分ノ十二貰フ、一圓集メバ十二錢ニナルノデアル、ソレ元來信
用堅キ所ノ政府ノ事業デアル上ニ、集金人ガ非常ナル利益ヲ受ケルト云フ、此募集ノ上
ニ於テ極メテ便利ナルコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ又五圓拂込ンデナラバ
五圓以上拂込ンデナラバ五圓タケノ金ハ五朱ノ利子サハ拂ヘバ貸シテ呉レル、是モ極メ
テ便利デアル、何ヲ苦シテ民間ノ保護ニ入ルモノガアリマセウ、ソレカラ保險中ニハ一萬
圓掛ケル人モアリマセウ、五圓ニ入ル人モアリマセウ、ケレドモ五圓ニ入リ一萬圓ニ
入ルト云フハ、其保險會社ト特殊ノ事情ノアル人ニ限ルノデアリマス、多クハ皆一千
圓内外デアル、一人シテ一千圓内外ノ保險ヲ三ツモ四ツモ會社ニ付ケテ居ル人ガアリマ
スガ、是ハ皆個人的關係デ已マラ得ヌ、是ハ入ッテ居ル、左様ナ有様デアリマス、政府
ガ之ヲヤツタナラバ、三百圓ト云フ限度ハ恐ラクハ非常ナ高ニナツテ、サウシテ政府ノ目
的トスル二十圓タノ二十圓タノ五十圓タノ二十圓ト云フ小額保險ト云フモノハ失敗ニ終リハシマ
イカト思フ、是モモウ少シ研究スル餘地ガアル、政府ガ望ム所ハ何處カト云ヘバ三百圓
ノ保險ニ非ラズシテ二十圓三十圓ノ保險ヲ御集メニナルノガ、或ハ御趣意カ知リマセ

ス、併ナガラ此案ヲ直ニ實施スレバ左様ナ二十圓三十圓ノ端々保險ハ却テ少クシテ、
三百圓ト云フ限度ニ達シテ保險ガ澤山私ハ應募サレルデアラウト信ズルノデアリマス、是
亦モウ少シ調査スル必要ガアル、果シテ政府ノ言フ通りナルモノデアルカ、吾々ノ觀察ノ如
クナルモノデアルカ調査スル必要ガアル、之ヲ調査シ終ッテ愈ニ三百圓ノモノガ多クナツテ、
サウシテ一時ニ非常ナル應募者ガアルコトニナルト、委員會ニ於ケル主ナル疑問ガ直ニ
解決サレルノデアル、ドウ云フ疑問ガアツタカト云フ、即チ委員ト遞信大臣ト應答
質問シタ、即チ重大問題デアル、何デアルカト言フ、集金ノ如何ニスルカト云フ問題
デアリマス、此集金ノ金ヲドウスルカト云フ問ニ對シテ、遞信大臣答ヘテ曰ク、ソレハ御心
配アリマセウ、一年二年デヤトモドモシヤウ斯ウシヤウト云フ金ハ集リマセウ、十年後
ハ或ハ何十萬ト云フ金ハ集ルカ知ラヌガ、始メテ直クニハ金ハ寄ル見込ハアリマセウ、其
アリマセウト云フ基礎ハ何處カラ來ルカト云フ、唯今一郵便區域ニ付テ一箇月三二
ト云フ此少額カラ割出シタカラ、ツマリタツタ一年ニ六萬人ノ應募者——六萬人ノ應
募者デハ金ガ集ツタ所ガ驚クニ及バヌト云フ御答辯デアル、若シ是ガ反對ニ直ニ保險
布クト同時ニ、二千萬三千万ノ金ガ集ツタ時ニハドウスルカ、遞信大臣ノ不用意ナル此
金ノ使途ガマダ十年後ニ考ヘレバ宜イト思フ、其金ノ使途モ今日カラ極メテ置カナケレバ
トニナルノデアル、故ニ是モ能ク調ベテ見テ、其金ノ使途モ今日カラ極メテ置カナケレバ
ラヌモノデアルカラ、又先キヘ延ベマシテモ宜イカト云フコトハ、此一郵便局ガ三人ヨリモ得
シタト云フ此基礎ノ問題ニ依ッテ定マルノデアリマス、斯ノ如キハ一一ノ例ヲ引タイニ過ギ
マセウガ、マダ研究ノ餘地ハ澤山アリマス、此研究ノ餘地ハアルモノヲ政府ガ是非共本
年ノフヤラナケレバナラヌト云フコトガ分ラヌ、此研究ノ餘地ハ澤山アリマス、法
律トナツテ之ヲ實施爲サルノハ何時カト云ヘバ、遞信大臣曰ク先ッ六箇月以後ニ於テ之
ヲ實施スルト云フ、サウスルト本年末ニ三千万四千万ノ集金——此多額ノ金ハ空シク
國庫ニ集メテ借家ヲ建テヤウガ公債ヲ買ハウガ、勸業債券ニ應ジヤウガ、殆ド此使途ニ
迷フト云フ時節ガ來ルデアリマス、故ニ私ハ是等ノコトヲモウ少シ研究シテ見タイト思フ
ノデアリマス、ソレデ之ヲ研究スルコトニ付テ、頻リハ最前カラ加藤君ガ反對サレマシタガ
成程同志會ニ居ラレル立場ノ結局ハ、此案ヲ如何ニモ此儘デ通過シタイト云フ御希
望ヲ御持チニナルハ當リ前デアリマス、吾々ハ同志會トハ絶對ニ總テノ政策ニ反對デア
リマス、反對デアリマスガ此簡易保險ヲヤルコトニハ贊成デアリマス、故ニ私ノ同志ノ中
ニモ、除外シテ此處デ贊成演說ヲサレル人モアル、私ヲ始メ贊成デアリマス、モウ少シ内容
ガ具足シテ是ガ遺憾ナイト云フノナラバ、同志會ノ御出シニナツタ案デモ私共ハ喜ンデ贊
成スルノデアリマス、ケレドモ是位餘地ノアル案ヲ、而モ之ヲ今日行ハナケレバ社會ニ缺
陷ガアル、其缺陷ヲ補フ爲ニハ今日唯今之ヲ急施シナケレバナラヌト云フ必要ノモノナラ
バ、吾々ハ暫ク此案ヲ假定的ノモノトシテ他日改良スルモ遅クハナイモノトシテ、此
實施ニ贊成スルコトヲ惜マヌノデアリマス、實際ハ左様ナルモノデナイ、其證據ハ
五年前カラ御調ベニナツテ五年後ノ今日ニ御出シニナツタト云フノ明カデアル、五年前
ニ既ニ此案ノ必要ヲ感ジテ政府ガ取調ニ著手シテ居ル、サウスレバ是ガ五年ノ後ニ
行ハレ六年ノ後ニ行ハレテモ、寧ロ完全ナモノヲ行フ方ガ當然デアルト云フ爲ニ、政府ハ
五箇年ノ間取調ベタデアル、政府ガ五箇年間御取調ニナツタカ知ラヌガ、民間デハ漸ク
昨年地方ノ商業會議所トカト云フモノニ御諮問ニナツテ、答案ヲ取ラレタト云フ位ナ
有様デアル、其商業會議所ト問ハレテ答申ヲ出シタ、其時ノ政府ノ案ト此案トハ根本
ニ——又大體ニ於テ違ッテ居ル、昨年から又政府ガ此案ニ動搖ヲ來シテ居ル、昨年政
府ガ確信シタ所ノ案ト本年之ニ御出シニナツタ案ト違ッテ居ル以上ハ、政府ノ意思ガ動
搖シタト見テ差支ナイ、斯ノ如ク一年間ニ動搖スルヤウナ不完全ナ案ヲ以テ、直ニ之ヲ
布カナケレバナラヌ、今之ヲ即決シロト云フコトハ餘リニ無理ナ御注文デアラウト思フ、五
箇年御取調ニナツタモノデアルナラバ、今度ハ之ヲ開放シテ、廣ク天下ノ人達ト此問題

ヲモウ一遍御審議ニナラドウアルカ、私ハ遞信大臣ニ此質問スル機會ヲ失シタノデア
リマスガ、之ヲ贊成スルト同時ニ私ハ遞信大臣ノ意見ヲ聞イテ見タイと思フ、ヨモヤ遞信
大臣ハ之ヲイヤモウ一年ハ延バセヌコトハナ、而モ昨年ト本年ハ政府自身ノ意思ガ動搖シ
テ居ルト云フコトハ、昨年諮問サレタ案ノ形ガ變テ居ルコトハ明カアル、斯様ナ薄弱ナ
モノニ對シテ多ク辯論必要ナ、是デケデモ此案ノ内容ノ不十分ナルト云フコトヲ
聲言シテモ差支ナイと思フ、アル、終リニ臨ンデ私ハ諸君ニ御相談シテ見タイ、此案ヲ
縱シ此處ニ急遽ニ決議ニナラズシテ貴族院ニ廻付サレタ所デ、最早餘ス所ハ僅カニ十日
間アル、此十日間ニ貴族院デ議丁シ得ンダ時ハドウスルカ、ヤハリ吾等ト同一ノ此希
望ニ戻ラヌケレバナラヌアル、サウスレバ大藏大臣ハ貴族院ニ案ヲ提出スル議院ヲ努
メテ通過サセマスルコト云フ條件ヲ付ケテ、アノ妥協案ニ依テ無事ニ貴族院ヲ豫算案ヲ
通過シタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、遞信大臣ハサカ此處デオ前達ガ決議シタナ
ハ、必ズ貴族院ヲ通過スト云フコトヲ御請合ニナルト云フコトハ出來マス、ツレバ私ハ此
會期ノ切迫シタ今日、之ヲ急遽ニ決議シテサウシテ是非貴族院ハ廻付シテ、貴族院デ
見込通り行キマスレバ宜シケレドモ、行カナンダ時ニハヤハリ吾等ト同一ノ立場ニ戻ル
デアリマス、左様ナコトヲセズシテ繼續委員ニ付託シテ、政府モ吾等モモウ少シ胸襟
ヲ披イテ此案ノ施行ニ依テ生ズル所ノ結果如何、此案ヨリ社會ニ及ボス影響如何
ト云フコトヲモウ少シ研究シテ、サウシテ此社會政策ニ一段錦上ノ花ヲ翳シ、尙益、完
全ナモノニスル、即チ政府ノ意思ヲ益、發揚スル上ニ於テヨリ多ク得ルコトヲ完全ナモノ
ニスル、云フ料簡ニハナラヌセヌカ、是非ト此處デヤレシマフコトヲ云フコトハ甚ダ面
白クナル、私ハ簡易生命保險ト云フコトニ付テハ贊成デアリマス、ケレドモ内容斯ノ如キ
ドサクサシタ案ニハ贊成ガ出來ナイノデアリマス、故ニ私ハ聊カ同志ヲ代表シテ此案ヲ繼
續委員ニ付託スルコト云フ堀切君ノ少數意見ニ贊成ヲ表シテ此壇ヲ降りマス（拍手起ル）
○議長（島田三郎君） 川崎克君

（川崎克君登壇）

（拍手起ル）

○川崎克君 昨ハ本案ニ對シテ贊成ノ意見ヲ述ベマシテ、最後ニ政府ニ對シテ多少ノ
希望ヲ述ベタイと思フデアリマス、本案ノ委員會ニ於テハ之ヲ延期セシメト云フ御議
論、即チ繼續委員ヲ置イテ更ニ調査セシメト云フ御議論ガアリマシテ、唯今前川君ハ之
ニ對シテ其理由ヲ縷々御述ベニナッタデアリマスガ、其御述ベニナリマシテ理由ノ中デ最
モ力ヲ入レテ御述ベニナリマシタ要點ハ、簡易保險ヲ獨占スルニ爲ス必要アリト云フコト
ノ理由ヲ發見スルコトニ苦シムト云フ議論ガアッタデアリマス、私ハソレト全ク反對ニ簡
易保險ヲ獨占スルニヤル必要アリト云フ主張ノ上ニ立ツモノデアリマス、其理由ハ簡易
保險ノ普通保險ニ比シマシテ解約率ノ多イト云フコトハ、反對論者ト雖モ御認
ニナルト思フデアリマス、是ハイロ／＼統計ニ依テ明カニ解約率ノ普通保險ニ比シ
テ多イト云フコトヲ證明サレテ居ルモノアル、又死亡率ノ多イト云フコトハ、普通保險
リハ以上デアルト云フコトヲ證明サレテ居ルモノアル、認メナケレバナラヌアル、普通保險ハ健康
者ヲ入レル健康者ニ一定ノ診斷ヲナシテ入レルト云フノニアル、簡易保險ハ無
診査ヲ入レマスガ爲ニ死亡率ノ殖エルト云フコトモ明カアル、解約率ガ殖エ死亡率ガ
殖エルト云フコトハ、保險經營ノ上ニ於テ甚ダ利益ナシ營業デアルト云フコトヲ言ヒ得ル
ノデアル、殊ニ此經營費ニ至ッテハ簡易保險ハ普通保險ヨリモ餘程多クノ經營費ヲ要ス
ルノデアリマス、保險ノ性質ガ少額デアルガ故ニ、普通保險ニ比シテ經營費ノ多クナルト
云フコトハ已ムヲ得ヌデアル、米國ニ於テ獨逸ニ於テ簡易保險ト普通保險トノ經營
費ノ統計ヲ見マスル、一倍ニ達シテ居ルデアル、普通保險ニ對シテ簡易保險ハ二倍
ニ達シテ居ルデアル、英吉利ノ如キハ普通保險ニ對シテ簡易保險ハ五倍ニ達シテ居

ルデアル、斯ノ如ク經營費ガ多ク要リ死亡率ガ多ク有リ解約率ガ多クアルト云フコト
ニナリマスレバ、經營費ガ多ク要ルト云フコトニナル、經營費ガ多ク要ルト云フコトハ保險料ヲ
高メナケレバナラヌト云フコトニナル、保險料ヲ高メナケレバナラヌト云フコトハ保險料ヲ
險ノ勸誘スル趣旨ニ反スルモノナラズ、少額ナル簡易保險ヲ獎勵シテ行ク所ノ意義ニ副
ハナイノデアル、此點ニ於テ私ハ獨占スルニ爲ス云フコトヲ必要ヲ認メ、且ツ先程義友
會ノ堀切君ガ御述ベニナリマシタ御説ニアリマシタ思ヒマスガ、其説ニ對シテ私ハ獨
占スルデナケレバナラヌト云フ理由ヲ加ヘタイデアル、是ハ最近ニ於ケル獨逸ノ統計ニ依
レバ、是ハ戰爭ノ起リデカデハアリマセヌ、戰爭ノ起ル前ノ最近五箇年間ノ統計ニ依
スレバ、簡易保險ノ消滅ヲ致シマシタモノガ二ツ、ツレカラ合同經營ヲシナケレバナラヌ
ムヲ得ザル狀態ニ陷タモノガ二ツ、最近ノ最モ最近ノ統計ニ依テ、五箇年間ニ斯ノ如ク
合併シ若クハ消滅シナケレバナラヌ狀態ニ陷タ會社ガ五ツモアルト云フコトハ、簡易保
險ノ經營ガ甚ダ困難ナリト云フコトヲ證據立テテ居ルデアル、是ニモ拘ラズ官營ノ上ニ
更ニ民營ヲ起サシテサウシテ競争ヲ激甚ナラシメテ、其結果民營ニ對シテ非常ナ打撃ヲ
與ヘルト云フコトハ忍ビナイノデアル、斯ノ如キ歴史ヲ繰返スト云フコトハ忍ビナイ、デア
ル、私ハ此點ニ於テ最初カラ官營ヲ爲シタル政府ノ案ニ贊成スルモノデアル、唯政府ガ
簡易保險官營ノ理由ニ數ヘテ居リマス意見ニ對シテ一二贊成ヲ表シタイと思フ、
支拂ガ安全デアルト云フコト、料金ノ比較的低廉ニ上ガルト云フコトノ二點アル、是
ハ一點ハ基礎ノ比較的低廉ナルアルガ故ニ、支拂ノ上ニ安全ト云フコトノ保證ガ出來ル、
又料金ノ低廉ハ幾許カ補助ヲ與ヘ、即チ二十萬圓ト云フ補助金ヲ與ヘテ非營
利ノニ之ヲ行フト云フコトハ、料金ヲ低廉ナラシムルコト云フ所以デアテ、之ニ對シテ私ハ
贊成ヲ表スルデアル、又其裏ニ於テ其結論ニ於テ、此資金ノ運用ニ付テ社會政策
ニ運用シテ、成ベク之ヲ低利ニ用井ルト云フコトニ付テモ私ハ贊成ヲ表スルデアル、之ニ
對シマシテハ大分反對ノ御議論ガアッタデアル、第一保險協會ノ如キ又保險業ニ精
通セラレルトコロノ吉植君ノ如キモ之ニ反對ヲセラレタノデアル、其反對ノ理由ハ委員會
ニ於テ吉植君カラ御述ベニナリマシタカラ、私ハ之ニ對シテ反對ノ意思ヲ表明シタノデ
アリマスガ、吉植君ノ御述ベニナリマシタ理由ハ、此資金運用ノ方法ヲ低利ニ運用ラシ
ナイデ成ベク有利ニ運用シテ、其利益ヲ被保險者ニ均霑セシメル、即チ保險料ヲ低廉
ナラシムルト云フコトヲ御議論ガアッタデアリマス、一應ハ御尤ニ聞エルノデアリマスガ、
私ハ是ハ反對デアル、其反對ノ理由ハ社會政策ニ用井ルト云フコトニアルコトガ、此
事柄ヲ起シタコロノ目的デアルト、又之ヲ有利ニ用井テ保險料ヲ低廉ナラシムルト
云フコトハ、延ヒテ民營ヲ壓迫スルト云フコトニナルカラ私ハ反對スルデアル、即チ保
險料ノ低廉ニナルト云フコトハ民設會社ニ對シテ大ナル打撃ヲ與ヘル議論デアッテ、是
ハ社會政策ノ或意味ヲ實行セムシテ一面ニ於テ非社會政策即チ民營ニ對シテ露
骨ニ壓迫ヲ加ヘルト云フ矛盾セル論理ニ陷ッテ居ルモノト言ハナケレバナラヌデア
ル、私ハサウ云フ意味ニ於テ反對ヲ致スノデアリマス、又第二ニ反對ノ理由トセラ
ル、點ヲ讀ミマス、政府ハ簡易保險ヲ實行ラ致シテ其得タルコロノ金ヲ外ニ利用スル
ノデアルマシカ、言換レバ財政政策ノ運用ニ用井ルデアルマイカト云フ御疑念ガ
アル、之ニ對シテ杞憂ヲ懷カレル議論モ一二アッタヤウニ見受ケマス、吉植君ノ如キモ其
後議論ヲ御唱ヘニナッタデアリマス、併シ私ノ見ル所ニ依レバ、政府既ニ之ヲ社會政策
的ニ用井ルモノデアルト云フコトヲ言明シテ居ルコト、又ツレヲ社會政策的以外ニ用井ル
假ニ致シマシテモ、現ニ政府ガ非募債主義ト云フ看板ヲ掛ケテ居ッテ、他ニ資金ヲ得ル
途ガナイカラ此案ヲ實行スルモノデアルト云フガ如キ御議論ヲ御唱ヘニナルハ、一體之
ニ依テ得タルコロノ利益ハ幾許デアルカ、ドレダケノ金ガ寄ッテ來ルカト云フコトヲ御調
ベニナラヌトコロノ御議論デアッテ、大體政府ノ案ニ基キマシテモ五年ノ後ニ集ルトコロノ金

が僅二百万圓カニ一百万圓ニ過ギメノアル、政府ノ豫想ヨリモ或ハ數倍寄ルト致シマシ
テモ、五年ノ後ニ於テ假ニ一千万圓ヲ得ルト致シマシテモ、ソレハ五年ノ後ノ問題アリ
マス、此案が通過致シマシテ六箇月ノ後初メ實行シテ五年ノ後ニ得ルトコロノ金ガ
僅カ一千万圓足ラズト云フヤウナコトデアッテハ、何ヲ苦シテカ政府ハ此案ヲシテ事ニ
用非タクアリマセウ、大隈内閣ハ五年五箇月後マデ私ハ繼續スベキモノトハ信シナイノ
アル(笑聲起ル)斯ノ如キ議論ハ御紀要ニ過ギメノデアッテ、敢テ反駁ノ必要ナシト私ハ
思フ、唯、唯、一點政府ニ對シテ遺憾ト致シマス點ハ、民營ニ對スルトコロノ一官營
ト民營トノ接觸點アル、即チ現在ノ會社ト保險ノ契約數カラ見マシテ、現在三百圓
以下ノ保險契約ヲ締結シ得ベキ會社ハ全國四十五ノ一、四十一ノ會社數ノ上ニ於
テ、二十五ノ多キニアルノデアリマス、又保險契約數カラ見マシテ、百ニ對スルトコロノ
舊契約ニ於テハ三十四、新契約ニ於テハ百ニ對スルトコロノ點ニアル、斯ノ如ク金
額ノ點ニ於テ接觸ヲ致シテ居リマスカラ、此程度ニ於テハ民業ト官業トハ接觸レテ居
ル、接觸レテ居ルト云フコトハ私ノ先ニ述ベマシタコロノ獨占ノ理由ノ意見ヲ貫徹スル
上ニ於テモ私ハ遺憾多クデアリマス、是故ニ私ハ委員會ニ於テハ此三百圓ヲ二百五
十圓ニ引下ケ、其足ラナイトコロノ一經營ノ上ニ於テ足ラナイトコロノ費用ハ收入保
險料ノ百分ノ十二ト云フヤウナ減シ、更ニ勸誘費ノ千分ノ六ヲ千分ノ五ニ減シテ
償ヒテ付クレバ、十分ニ此間ノ權衡ガ保テラレト云フ議論ヲ唱ヘタノデアリマスガ、不
幸ニシテ一人ノ贊成者ナクシテ案ガ潰レタ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズル、遺憾ニ存ズルガ此
案ヲ實行スル上ニ於テ尙私ガ政府ニ向テ此點ニ付テ考慮ヲ用非デ戴キタイト思フノ
是ハ此案ヲ實行スルニ當テ、此手數料ト云フガ如キモノハ何レ施行細則ニ於テ決メラ
ル、トコロノモノデアアルガ、先程前川君ノ述べラレタ如ク、勸誘手數料ノ千分ノ六ト云フ
ノハ非常ニ多クデアリマス、是ハ民營ノ會社ニ比シテモ、民營會社ノ今日ハ最も
少ナイモノハ千分ノ十位ノコロニアル、是非非常ニ手數料ヲ要シテ尙斯ノ如キ狀態デア
ル、政府ガ簡易保險ヲ實行スルニ付テハ政府ト云フ立派ナ看板ヲ掲ゲテ別ノ診査ヲ
行ハナイデアアルノデアリマスカラ、容易ニ勸誘シ得ルノデアアル、是故ニ之ヲ千分ノ五ニ引
下ケ、又集金ノ手數料ヲ百分ノ十二ト云フハ是ハ多キニ過ギルノデアアル、普通ノ民設
會社ニ於テハ百分ノ五以上集金手數料ヲ出シテ居ナイノデアアルカラ、之ヲ引下ケテ而シ
テ私ノ希望シテ置キタイ點ハ、二百圓位以上ノ勸誘ト二百圓程度ノ勸誘トハ勸誘費
ニ於テ等差ヲ設ケナイヤウニシテ、民營トノ競争ノ範圍ヲ此點ニ於テ調節シテ行ケルトコ
ロノ工夫ヲ凝シテ戴キタイト思フノデアアル、私ハ斯ノ如キ理由ニ依リマシテ、本案ハ大體
ニ於テ最早議論スベキ必要ナシト信ズル、最早研究シ盡サレタル問題デアリマスカラ、是
以上ニ研究スルノ餘地ナシト信ジテ、此案ヲ通過スルコトニ贊成ヲ表シ、更ニ政府ニ豫
算編製ニ當テハ私ノ希望ヲ容レラレムコトヲ希望シテ此壇ヲ降ルノデアリマス

(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 田邊熊一君

○鈴木萬次郎君 私デハナイノデスカ

○議長(島田三郎君) 田邊熊一君

(田邊熊一君登壇)

(拍手起ル)

○田邊熊一君 私ハ唯今御報告ニナリマシタ少數意見ニ贊成スル一人デアリマス、即
チ堀切君ノ我黨ヲ代表シテ御報告ニナリマシタ少數意見ノ贊成者デアリマス、元來本案
ノ如キ民業發達ニ幾分カ妨ケノ憂ガアルト云フ案ガ、民業ノ發達ヲ助長スベキ現内閣
ノ政綱ヲ表白セラレタル下ニ、本案ガ提出セラレタト云フコトヲ甚ダ私ハ怪ムノデアリマ
ス、大隈内閣ノ日々天下人心ノ去ル所以ハ蓋シ此ニアルト信ズルノデアリマス、先ツ本
案ノ第一ニ疑問ヲ以テ見ナケレバナラヌコトハ、官業ノ獨占ガ果シテ民業ニ如何ナル程

度マデ打撃ヲ與ヘルヤ否ヤト云フ問題デアアル、或人ハ政府ハ全ク方面ノ違ッテ方面ヨリ、
方法ノ違ッテ手段ヲ以テ即チ被保險者ノ加入ヲ勸ムルノデアアルカラ、斷ジテ民業ニ壓迫
ヲ加ヘナイト云フコトヲ明言セラレテ居ル、又或人ハ本案ハ多大ノ影響ヲ民業ニ及ボ
スガ故ニ容易ナラザル國民經濟ノ上ニ惡影響ヲ來スト論斷シテ居ルノデアリマス、委員
會ハ此點ガ最も重要ナ問題デアリマスガ故ニ、政府當局大臣ニ對シマシテハ、十分ニ
質問應答ヲ重ネマシタケレドモ、遺憾ナガラ吾々ノ満足スル答辯ヲ得ズシテ終ラノデア
マス、政府委員ガ示サレマシタル世界ニ於ケル簡易保險ノ狀態ヲ見マシテ、或國ニ於
テハ民設ガ成功シ、或國ニ於テハ民業ガ頗ル成功シテ居リマスケレドモ、遺憾ナガラ
官營ノ簡易保險ハ未ダ十分ニ發達シタル事實ハ認メナイノデアリマス、現ニ英吉利ノ如
キハ數十年前ヨリ此法ヲ實施致シマシテ、郵便局ニ此事務ヲ取扱ハシメテ居ルト云フ
コトデアリマスガ、僅カ一万二千ノ加入サヘ無イト云フコトハ政府委員ガ示サレタル參
書ニ明ラカデアリマス、政府ハ本案ガ果シテ民業ニ打撃ヲ與フルヤ否カト云フコトニ對シ
マシテハ、與ヘルトハ思ハナイケレドモ、或ハアルカモ知レナイ、頗ル怪シキ答辯ヲセラレテ居
ル、昨日ノ委員會ニ於テ吉植庄一郎君ハ政府ハ斷言スルノ勇氣ガアルカト云フ問ニ對
シテ、斷言ハ出來ナイト思フケレドモ、或ハアツタ所ガ壓迫若クハ打撃ト云フ程度ニ至ラ
スト思フト云フノデアリマス、然レバ吾々ハ民業ノ發達ニ或ハ打撃ヲ及ボスカモ知レナイ
ト云フ疑ノアル案ニ對シマシテハ、十分ニ考慮シナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、
次ニ政府ハ簡易保險ヲ以テ社會政策ノ目的ノ一部ハ達セラレ、ト云フコトヲ明言サレテ
居ル、甚ダ吾々ハ此點ニ於テモ亦疑ヲ持テ居ルノデアリマス、工場法ノ制定セラレマシ
タル今日ニ於テハ、労働保險ハ必ズシモ相伴ハナケレバナラヌト云フコトハ、實ニ工場法
制定當時ニ於テ時ノ主務大臣ハ數々、明言シテ居ル所デアリマス、簡易保險ハ即チ終身
養老ノ一ツノ方法ガアリマスケレドモ、要スル人ノ死ハ後ニ其遺族ノ爲メニスルカ、或
ハ老衰ニツツナカテ期限ガ來テ金ヲ取ルト云フ方法デアリマスガ、労働保險ハ現在働イテ
居ル人ノ或ハ疾病ニ或ハ負傷ニ或ハ失業等ノ必要ナル場合ニ於テ相當金額ヲ支出
シテ其災害ヲ救済スルノデアリマスカラ、活キテ居ル人ヲ助ケルノ宜シカ、死タ後ニ金
ヲ受取ルベキガ宜シカ、孰レヲ前後ニスベキカト云フコトハ頗ル研究スベキ問題デア
ル、既ニ工場法ヲ制定シテ労働者ヲ保護スルコト云フコトガ極リマシタ以上ハ、是非トモ相
俟ッテ労働保險ト云フモノヲ制定シナケレバナラヌモノデアアル、然レニ政府ハ社會政策ヲ
實行スル一助ニナルト云フコトヲ明言シナガラ、此最も危險思想ヲ防止スベキ所ニ必要
ナル所ノ労働保險ノ未ダ政府ニ制定セラレタル事モ聞カズ、委員會ニ於テ質問スル答
辯ニ對シテ見マシテ、餘リ前途遠遠ノ感ナキヲ得ヌノデアリマス、又此保險法ニ依ッ
テ集マリマシタル金ノ運用ニ付テハ、數々委員會ニ於テ質問應答ヲ重ネマシタケレド
モ、是モ吾々ガ満足スル要領ヲ得ズシテ終ラノデアリマス、即チ政府ハ初メ此金ガ集マ
場合ニ於テハ貸長屋ヲ建テント云ヒ、其次ノ質問ニ對スル御答ニハ或ハ地方團體ニ貸
スト云ヒ、第三同ニハ公債ノ募集ニデモ應ズルト云フ如キ意見デアリマシテ、苟モ此重要
問題ヲ政府ガ提案スルニ當リマシテ、未ダ其資金ノ運用ガニ考ヘナイト云フコトハ如何
ニモ粗雑ナ事デアルト考ヘマス、或ハ反對黨ノ諸君ハ是ハ、五年十年ノ後ニ於テ初メ其
資金ノ運用方法ヲ考ヘルノガカラ、未ダ其案ガ出來ナクテモ差支ナイト云フ御答辯
デアリマスケレドモ、斯ノ如キ重要問題ヲ提出スルニ當テ、委員會ノ質問ニ對シテ十分ノ御答
ヲナシ得ルケレドモ、斯ノ如キ重要問題ヲ提出スルニ當テ、委員會ノ質問ニ對シテ十分ノ御答
感ゼザルケレドモ、又細民ノ零碎ナル資金ヲ持來ッテ、サウシテ之ヲ或ル公共
團體ニ貸付ケルカ、或產業方面ニ投資スルカ云フコトガ、果シテ社會政策ノ實行ノ
一部ニ達シタト云フコトニ付テハ私ハ頗ル疑ナキヲ得ヌノデアリマス、故ニ或人ハ政府
ガ名前ヲ社會政策ノ一助ナリト云フコトヲ以テ此政策ヲ立デ、サウシテ澤山ノ地
方ノ金ヲ集メ來ッテ、或ハ財政ノ一助ニスルモノデアラウト批評スル者ガアリマス

レドモ、私ハ政府ガヨモヤ此ノ如キ陋策ヲ以テ此案ヲ提出シタモノデ無イト云フコトハ確信致シマス、名ヲ社會政策ニ藉リテサウシテ簡易保險ノ目ヲ達セントスルニ至リマシテハ、頗ル私ハ疑フ持テ居ルノデアリマス、若シ果シテサウ云フコトデナラバ、是ハ根柢全ク有難イ譯デモ無イト思フノデアリマス、若シ社會政策ナルモノニ靈アッタラバ此政府ニ濫用サル、コトニ涙ヲ流シテ泣クデアリマセウ、民業ノ壓迫ガ有ルカ無イカト云フコトニ付キシテモ頗ル疑問ガアルヤウデアリマス、先刻加藤君ノ如キ川崎君ノ如キ、此點ニ於テハ民業ノ壓迫ナシト云フヤウナ御論鋒デアリマシタガ、私ハ頗ル疑フ持テ居ルノデアリマス、先づ第一本案ガ體格ノ検査ヲシナイ、次ニ保險料ヲ居宅拂ニスル、尙掛金ヲ月掛ニスル、ワレカラ保險拂込證書ヲ擔保ニ貸付ケルト云フヤウナ被保險者ガ最モ望ムベキ所ノ條件ガ具ハデ居ルノデアリマスカ、普通ノ保險會社ガ勸誘スヨリモ頗ル勸誘シ易イト思フノデアリマス、特ニ御承知ノ通り日本ノ溫良貞淑ノ婦人ガ體格検査ヲ嫌フ上ニ於テ、又政府ガ勸誘セントスル場合ニ於テ必ズ多クノ加入者ガアルト私ハ信ジマス、此ノ如ク被保險者ニ向テハ即チ加入上最モ便利ノ地位ニ立ッテ居リマスガ故ニ、必ズ相當ノ政府ガ或ハ豫期以上ノ效果ヲ收ムルコトガ出來ルト私ハ信ジテ居ル、民間ノ保險會社ノ狀態ヲ見マシレバ、或ハ二十五ナリ或ハ二十位會社ガ破産シタモノガアルト云フ報告デアリマスガ、政府ハ或ハ四十ト云ヒ或ハ二十五ト云フテ居ルノデアリマスカ、其實幾箇デアルカハキリ分リマセガ、凡ソ二十位ノ會社ハ破産シタデアリマセウ、現在殘ッテ居ル會社ハ如何ナル難ヲ經來ッテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マシレバ、一朝一夕ニ今日ノ會社ノ狀態ニナッタノデナイト思ヒマス、民間ノ保險會社ハ實ニ心血ヲ瀝イデ數十年間今日ノ保險業ノ發達スルマデ努力シタト云フコトハ、國家ハ幾分カ認メナケレバナラヌ、而シテ其保險契約約高ハ十一億ニ上リ件數ハ二百二十万デアル、之ヲ人員ニ見レバ百七十万ノ多キニ達シテ居ルト云フコトデアリマス、此ノ如ク保險會社ガ集メ來ッテ所ノ金ハ如何ニ使用セラレテ居ルカト云ヘバ、現ニ貸付ニ於テハ五千六百万圓是ガ地方其他ニ於テ使用セラレテ、間接ニ直接ニ國家ノ產業ヲ發達セシムルニ充テラレテ居ルノデアリマス、又預金ノ三千一百万圓、有價證券ノ四千五百万圓、何レモ此ノ如クシテ居ル、此資金ハ相當ノ方面ニ利用サレテ居ルノデアリマス、此保險會社ニ向テ政府ガ競争ナシト云ッテ居リマスカレドモ、事實ニ於テ必ズ競争ハナケレバ私ハ止ムイト思フノデアリマス、恰モ之ヲ例ヘマシレバ、政府ハ消極的ニ此經營ヲヤレバ割合ニ競争ガナクテ打撃ヲ與ヘナイト云フコトヲ言ヒマシケレドモ、全國ノ七千二百、郵便局、十万人ノ局員ニ向ッテ此勸誘ヲ爲スベキコトヲ命令致シマシタナラバ、必ズ其事務ヲ取扱フベキ人ガドウシテモ、競争ヲスルヤウナ氣運ニ至ルト云フコトハ、蓋シ私共ガ言フマデモナク、此點ニ於テ多クノ人ガ認メテ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、サテ郵便局ニ此事務ヲ取扱ハセマシタナラバ、果シテ如何ナル結果ガ來ルデアリマセウカ、私ハ此點ニ於テハ頗ル憂フ有テ居ルノデアリマス、郵便局ナルモノガ平素人ノ競争ニ對シマシテモ、通信機關ガ公平嚴正ニナケレバ其職務ヲ全ウスルコトガ出來ナイ、最モ危險ノモノデアルトハ御承知ノ通りデアリマス、選舉アルトキニ時ノ選任大臣ハ此通信機關ノ任務ニ當ル人ハ、最モ嚴正ニ最モ公平ニ職務ヲ執ラナケレバ通信ノ敏活ヲ缺ク、即チ通信ノ敏活ヲ缺クヤウナコトガアッテハ我通信機關ノ運用ヲ全ウシタルモノデナイト、又或ハ信書ノ秘密ヲ保護スルコトガ出來ナイト云フコトニ付テ、頗ル當局ノ大臣ハ苦心サレテ居ルノデアリマス、既ニ人ノ競争ニマデモ通信機關ニ從事スルモノガ、果シテ公平ニ職務ヲ取扱フヤウナコトサヘ疑ハレルニ、郵便局自身ガ他ノ保險ノ勸誘者ト相結加入者ニ勸告スル場合ニナリマシタナラバ、果シテ信書ノ秘密ヲ公平ニ保護スルヤウナコトハ、幾多ノ實例ガ之ヲ證シテ居ルニ、於テ頗ル疑ハルノ念ヲ起サシメルノデアリマス、ワレ故ニ私ハ此點ニ於テ頗ル通信機關ノ上ニ於テモ危險ヲ感ジテ居ルノデアリマス、現ニ此事實ガ既往ニ幾ラカ吾々ノ目ニ示サレタ

ノデアリマスカ、更ニ此ノ如キ重要ナ事務ヲ取扱ハシムルコトニ付テハ、頗ル私ハ懸念ニ堪ヘナイデアリマス、故ニ民業ノ打撃ヲ考慮スル上カラ結局此案ノ如キハ、最モ十分慎重ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、嘗テ工場法ノ制定サル、時ニ於テ、大浦子當ハ一度議會ニ提出シテ、而シテ議會ノ反對ヲ受ケテ撤回セラル、ヤ、其後生産調査會アルモノヲ設ケテ營業者ノ意見ヲ聽イテ、二年ノ歲月ヲ經テ始メテ制定サレタ事實ガアリマス、諸君ガ最モ重要問題ト欲シテモ忘ル、コトノ出來ヌ思ハ大浦子當ガ此ノ如クデアアル、故ニ諸君ガ此ノ如キ重要問題ニナッタナラバ大浦子當ガ模範ヲ遺サレタ如此、本案ノ如キ最モ重要問題トシテ慎重ニ考慮ラ費スタメニ、次ノ議會マデ繼續委員ヲ置イテ、十分ニ審査スルコトニ御贊成アラント希望スル譯デアリマス

(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 飯森辰次郎君

(飯森辰次郎君登壇)

(拍手起ル)

○飯森辰次郎君 唯今田邊君カラ簡易保險ノコトニ反對シヤト云フコトハ、斯ウ云フ譯反對デアルト云フコトヲ御述ベニナリマシタ事柄ハ、第一社會政策ト云フモノニ對シテ是ガ事實當該ッテ居ルデアラウカ否ヤト云フ御疑念ノ如ク聽キマシタ、又第二ニハ民業ノ是マデ保險會社ト云フモノモ澤山アルガ、其澤山アルトコロモノヲ壓迫スルト云フコトハナキヤ、之ヲ私ガ言ハレトコロ付度シテ見レバ、今日マデ十四年ニ明治保險會社ガ出來テ以來、非常ニ國家ニ貢獻シテ居ルモノガアルガ、ワレラ認メナイカ、認メタナラバ國家ト云フモノハ壓迫ヲ加ヘルヤウナコトハ宜シアルマ、斯ウ云フ御議論カノ如ク拜聽致シマシタ、又ワレニ付テハ今労働保險ノ如キモノモアルニ拘ハラズ、是迄ノ工場法ニ於テモ實施サレテ居ラヌヤウナコトデアルト云フ如キ御批評モアツタ如ク承ハリマシタ、私ハ此事ニ付テ政府ノ出シタルコトコノ此簡易保險法ト云フモノハ決シテサウ云フコトハ、而シテ是ハ直ニ實施スベキモノデアルト云フコトヲ深信スル、元來此社會政策ト云フモノハ、毎度皆サンノ述ベラレタ如クニイロ、學者ノ說モアルヤウデアアルガ、免ニ角下級社會ノモノト云フモノヲ十分改良スルト云フコトハ、國家ガヤラナクテハナラヌト云フコトニ歸著スルカノ如クニ本員ハ存ジマス、而シテ此簡易保險ト云フモノガ其點ニ合シテ居ルカ、合シテ居ナイカト云フコトヲ考ヘテ見マシマス、大ニ下級社會ト云フモノヲ改良スルト云フコトニ於テハ、非常ナル益ヲ與ヘルモノデアルト此法案ヲ信ジマス、ドウ云フ譯然カ云フコト申シマス、元來此保險ノ如キモノト云フモノハ只ノ預金ナドトハ違ヒマシテ、或期間ト云フモノハ契約ニ依ッテ、ドンナ事情ガアルトモ先ヅ入レテ置カナケレバ其效力ヲ生ジナイト云フコトハ皆サン御承知ノ通りデアアル、サレバ非常ナル此信用ノアルトコロモノデアレバナラヌ、今民業ノ如キモノモ成程アリハシマスレドモ、下級民ト云フ者ノ殊ニ日本人ノ短所タルトコロノ野暮心ノ薄イ者ニ向ッテ、僅カ零碎ナ金ヲ以テ六十ニナラナケレバ取ルコトヲ約束シナイ、若クハ五十マデ取ラナケレバ若イケレドモ取ルコトハナラヌト云フ、其長イ年月ノ約束ヲ強ヒ、若クハ死ナ、ケレバ遺族ノ手ナケレバ渡ラナイトコロモノヲ約束スルコト云フコトニ付テハ、此貯蓄心ノ薄イコロノ者ヲ餘程強固ナルコロノ基礎アルモノ、即チ信用ノ大ナルモノヲ持ッテ行カナケレバナカ、下級民ハ動キ難イデアリマス、其動キ難イコロノ者ヲシテ、初メテ其利害ヲ説イテ先ヅ是ナラバ理窟ハ分ッテ、先キノ利害モ分ル、併シ金ガ失セムカト云フコトニ付テハ此強固ナルコロノ政府ト云フモノガ、即チ官營デヤッテ居ルコロノモノナラバ金ヲ出シテ置イテモ決シテ間違ハヌ、斯ウ云フ信念ガ一ツ十分起ラナクテハ私ハ此下級社會ト云フモノニ向ッテ保險業ヲ實施スルニハ餘程ムツカシカラウ、是ガ今日即チ此簡易保險ヲ官營ニスルト云フコトハ、他ノ事情ヲ顧ミマシテ第一ノ理由デアラウト思フ、即チ是ハ下級

社會ヲ改良スルコトニ付テ官營ナルコトノ必要ナルコトノ第一項デアリマス(笑聲起ル)又官營デゴザイマス民營トハ違フデ目的ガ違フ居ル、チヤニ依テ役員ノ給料トカ或ハ會社ノ株主ニ配當ラセネバナラヌ金トカ云フヤウナモノ云フモノハ決シテ要ラナイ、之ニ依テハ社會政策ノ仕事トシテハ最も非營利ニヤルト云フコトニ付テハ、官營ニ限ラデアリマセウ、是ガ官業トストコロノ即チ第一ノ理由、又經費ト云フモノモ是モ僅ナ零碎ナ金ヲ、大變ナ八ニ互テ集メテ歩クナド云フヤウナモノハ、到底其費用ト云フモノガ非常ナモノデ、ナカク、民營ナドニ委シテ居テ容易ニ之ヲ實行スルコトガムツカシ、併ナガラ田邊君ガ今述ベラレタ如ク七千二百二十云フコトコロノ全國ニ互テ居ルコロノ郵便局ヲ以テ、斯ウ云フコトヲ行ハシメバ二萬二千ノ集配人ヲ以テ此金ヲ集ムルコト云フコトノ便利モアデ、非常ニ經費ノ節約ガ出來ルノミナラズ、例ヘバ民營ノ會社デ見レバ支店ヲ置クモ亦代理店ヲ設クルモ、皆是特別ナルコトコロノ費用ガ要ルケレドモ、郵便局デゴザイマスレバ斯ル費用ト云フモノモ省カル、ノデアル、大變ナ節約ガ出來ル、斯ウ云フコトハ到底政府ノ業ニアラズンバ出來ヌ、是ガ第三ノ理由デアリマス、又第四ノ理由トシテハ此事業ノ普及デス、民營ト云フコトハ今ナカク、是程ノ人數ガアリ是程ノ金高ガ約束アルケレドモ、地方ニシテ程アルコト云フコトハ會社々々ニハ十分分テ居マセウケレドモ、之ヲ蓋シ一般ノ者ニ知ラシメバ私ハ存外ナ結果ガ現ハレデアラウト思フ、何ヲカ存外ナル結果ト云フ、都會ノ地ニハ互テ居ルケレドモ邊鄙ノ地ニハマルデ此保險業者ナドト云フ者ガ侵入シテ居ルコト云フコトハ、非常ニ少ナイト云フコトヲ見出スノデアラウ、之ヲ言フノデアリマス、斯ルモノデアラカシテ、斯ウ云フ隔ニ互テ之ヲ普及セシメルコト云フコトニ於テハ、特別ナル便利ト特別ナル方法ニ依ラナケレバ到底普及セシメルコト云フ途ハアルマイカト思フ、幸ニ唯今申ス通り七千二百二十ノ郵便局ト云フモノガ隔カラ隅マデニ在リマスルカシテ、一般ニ此思想ヲ分ラシメテ、サウシテ取次スルコト云フコトハ、最も妙ナルコトコロニシテ、最も官營ヲ必要トスルコトデゴザイマス、斯ル風ニ我下級民ノ有様ヲ改良スルコト云フコト、此貯蓄心ヲ喚ブ保險業ト云フモノニ於テ、是ガ社會政策デアリマイト云フコトコロガ立派ニ社會政策ヲ即チ言現ハシテ居ルデハナカ(ヒヤノ)「拍手起ル」又反對論者ノ言ハレニハ、度々吾々ガ耳ニスルガ實ニ奇怪ナ言ガアル、何ヲカ奇怪ノ言ト云フ、労働保險ト云フヤウナモノガ是ガ眞ノ社會政策デアラナドトスウ云フコトヲ皆サン言ハレヤウニ私ハ聽キマスルガ、愈々工場法デモ實施シテ労働保險ト云フモノヲ實施スルノ曉ニ於テハ、此簡易保險ト云フヤウナモノガ民營デアッタナラバ諸君果シテ如何、其時ノ衝突ト云フモノ、非常ニ困難ト云フコトニ付テハ、是ハ一ツ何誰モ御考慮ラ要シ下サラナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス(笑聲起ル)幸ニ簡易保險ト云フモノガ官營デアレバサウ云フコトニ付テモ圓滿ニ差支モナク、洵ニ滑カニ掛ルノデアアル、デカシテ諸君ガ主ニ唱ヘラレタ——社會政策ト云フモノハ即チ労働保險ノヤウナモノデアルト主唱セラル、其労働保險ト云フモノヲ圓滿ニ實施スルコト云フコトハ、此簡易保險ト云フモノヲ無視シテ置イテ、民營デモ抛リヤシテ置イテ諸君出來得ラル、ト思召スカ、如何、此ニ一點考至タナラバ、固ヨリ社會政策ノ一端クルヲ失ハヌ證據デアルト思フ、又此外ニ官營ニスレバ、社會政策ノ宜シモノハ、今日委員長ヨリモ御報告ニナリマシタ如クニ、條件ヲ附シテ其零碎ノ金ヲ積シモノハ如何ナル方面ニ之ヲ用井ルカト云フコトニナリマスレバ、條件ヲ附シテ居ル如クニ、必ズ社會政策ノ方面ニ之ヲ用井テハ用井ラ、ヤウナ方法ヲ希望シテ居ルデアリマス、之ニ反シテ民營ト云フモノニナレバ、算盤ト云フモノヲ離レテハドウシテモ出來ナイ、依テ其算盤ヲ以テヤレバ五朱デ借リヤウト云フ八ガアレバ六朱デ借リヤウト云フハ此ニ現レタ場合ニ於テ、ウチラニ於テドウシテモ耳ヲ傾ケル、ウチラノ方ノ話ヲ聽クト云フハ、是ハ營利會社ノ當然ノ事デアル、官營デアデ見ルトサウ云フ煩ハ一ツモ無い、況ヤ此簡易保險法ニ於テ條件ノ附セラレタルモノアルニ於テオヤ、デカシテ是ガ社會政策デアイト云フコトハ御疑ニナルコトモ何モ

要ルマイト思フ、乃チ將來諸君ノ希望スル所ノモノヲ實施スルニ於テハ、即チ是ガ端緒トナリ踏段トナツテ、圓滿ニ將來行ハレル所ノモノハ今日之ヲヤラズンバ行ハレヌデアル、又第二ニ此民營ノ壓迫スルコト云フコトヲ仰セラレマスガ、民營壓迫ト云フコトハ唯申述ベタ條項ノ中ニモアリマス通り、到底民營ト云フモノ、今日手ノ届カズ、又何時マデ待テ下級民ガ信用シテ保險契約デモ爲サウニナルカト云フコトハ到底は何ノ人ト雖モ此問題ニ於テ答ヘルコトハ出來マスマ、唯官營デアルト云フガ爲メニ信用シテ入ル所ノモノニ行用スルコトハ出來ナイケレドモ、私モソシナラ御契約シマセウト云フ人間ヲ、行ツテコテカラ勸誘スルノデアリマス、一ツモ衝突スルコト云フコトハ無いデアル、譬ヘテ言ヘバ此處ニ荒地ガアル、其荒地ニ自分ノ方ニ於テハ人手モ多シ或ハ牛馬モ澤山居ルカラ開墾シテ行カウト云フコトニナレバ、隣人ガマア待ツテ下サシヤレ、ワシガ何時カラウレ開墾スル時ガアル、困マリマスカラ待ツテ下サシヤレ、斯ウ云フヤウナ話ガ聞エマス、ウレハ國家ニ改良シテ行カウト云フ者ノ心得トシテハ怪シカラヌ申シヤウデアル、社會政策ヲ唱ヘラル所ノ諸君ニシテ怪シカラヌ御考デアルト私ハ思ヒマス、從テ其競争ト云フコトモ亦起ルデアラウト云フコトデアルガ、競争ト云フコトハ斯ル人ノ向キノ違フ所デアリマスカラシテ自然起ラヌト云フコトガ當然デゴザイマス、併ナガラ是レ十ノ一起ツタコトガアルシタナラハ、是ハ郵便局ノ局長ヤ何ヤラノ仕事デ以テ起ルノデアリマスカラシテ、是ニ制裁ヲ加ヘサレバ何ノ事ハ無いデアラウ、斯ル事ヲ以テ法案ニ難癖ヲ付ケテ行ク坏ト云フコトハ、私ハ甚ダ大人氣ナイト存ジマス、何故ナレバ惡事千里ト申シマスガ、諸君是ハ御同様に存ジテ居ル通り、先刻モ田邊君ガ述ベラレタル如ク、日本ニハ段々此解散シタコトコロノモノガアル云々ト云フコトデゴザイマシタガ、二十二年カラ二十七年間ニ於テ八十六ノ中デ五十モ解散シテ居ルヤウナモノデゴザイマスカラ、人民ニ於テドウシテモ信用セヌト云フモノガ田舎ヘ行ク程多クナツテ居ル、此人ミラシテ始メテ官營ト云フコトニ付テ基礎ガ鞏固ニアルト云フコトヲ信用シテ契約ヲセシムルコトデアリマスカラ、何處ニ競争ガ起ルカ一向起ル理由ガ無いヤウニ本員存ジマス、唯今工場法ノコトニ付キマシテモ其通り、近々實施ガ近イ中ニナルサウデアリマスカラ、是ガ實施ニナリマス續キテ出ルモノハ皆ナ口ニセラル、如クニ労働保險ト云フモノモ起ルデアリマス、其時ニ唯今申ス如ク圓滿ナル實施ガ得ラレト云フコト、即チ前提トナル所ノモノハ、此簡易保險ト云フモノガアルデアリマスカラシテ、決シテ私ハ今日マデノ事ヲ以テ云々スルコト云フコトハ、是ハ最も宜シキ法ニシテ、一日モ速ニ實施セラル、コトヲ私共ハ希望スル案デアリマス、デカシテ此案ニ付テ茲ニ贊成ノ意ヲ述ベマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 高野金重君

○高野金重君(登壇)

不幸ニシテ私ハ未ダ本案ニ贊成スルノ光榮ヲ有スルコトガ出來ナイデアリマス、乃チ私ハ委員長ノ報告ニ反對シテ堀切君ノ少數意見ニ贊成スルモノデアリマス、イロ／＼大臣ノ演說ヲ伺ヒマシテモ贊成ノ諸君ノ御說モ伺ヒマシタガ、私ハ相變ラズ此ノ案ハ無主義無方針ナル天下ノ愚案デアルト明言スルデアリマス、同志會ノ諸君ハ私ノ此ノ言ニ對シテ反對ニ天下ノ名案デアル、現内閣ノ爲シタル最も功績ノ大ナルモノデアルト言ハレタ人ガアル、斯ノ如キ現内閣ハ貧弱ナルモノデアルカ、私ハ同志會デアナイケレドモモウ一層現内閣ヲ信シテ居ルノデアル、是ヨリハ一層好イ仕事ノ出來サウナデアルト信シテ居ルノデアル、第一其ガ此ノ保險法案ニ反對致シマス理由ハ、此ノ提案ニ付キマシテ主義ガナイデアル、目的ガナイデアル、即チ無主義デアル、無方針デアルト云フデアリマス、苟モ國家ガ此ノ財政窮乏ノ場合ニ於テ補助金ヲ出シテ斯ノ如キ事業ヲスルコト云フコトデアッタナラバ、一層國家的ノ即チ社會政策的ノ強制ノ労働保險ヲヤラナケレバナラヌデアル、然ルニ今日政府ノ爲サントスルコトコロノ簡易保險ハ、

ガ、昨日齋藤君ハツレハ一年モ前ノコトデアラカラシテ、片岡直温君ノ智識ガ進歩シテ、今日ハ之ニ反對スルノデアルト言ハレマセタケレドモ、此問題ノ現ハレントスル大正四年十二月即チ一箇月バカリ前ニ於キマシテ、再ビ片岡直温君ノ意見ヲ發表セラレタガ、其意見ノ第一ノ反對ノ理由ハ保險官營ハ甚シク民衆ヲ壓迫スル、第二簡易保險ハ社會政策ノ保險ニアラズ、第三簡易官營保險ハ官業整理ノ政綱ト矛盾スルデアルト云フ理由ヲ付シテ、官營保險ニ反對スルノ意見ヲ發表シ居ラレルノデアリマス(「ヒヤヒヤ」ト呼ブ者アリ)聞ク所ニ依レバ片岡直温君ノ昨夜七時ノ汽車ニ乗テ京都ニ御歸リニナッタト云フコトデゴザイマス(拍手起ル)現ニ同志會ノ總務ノ席ニ片岡直温君ノ影ヲ見ザルニ依テモ、此案ト云フモノハ決シテ政府ノ誠意ニ出テ来タモノデハナイ、即チ虛偽ナル政策ヲ行ハントスルトコロノ何等主義方針ナキ提案デアルトコトヲ、最も明瞭ニ證據立テ居ルデアリマセヌカ

(拍手起ル)
○議長(島田三郎君) 高柳覺太郎君——高柳覺太郎君

(高柳覺太郎君登壇)

(拍手起ル)

○高柳覺太郎君 私ハ此保險官營ニ賛成スル一人デアリマスガ故ニ、繼續委員說ニ反對ヲ表スル者デアリマス、反對論者ノ御說ヲ伺ヒマスニ、大體要領ノ二點デアルト云フ主ナルトコロノ理由ハ此點ニ止マテ居ルと思フデアリマス、既ニ先刻飯森君ノ如キハ、最も此社會政策ヲ詳細ニ御說明ニテ強テ蛇足ヲ添ヘルノ必要ハナイと思ヒマスガ、私ノ知り得ル範圍内ニ於ケルトコロノ社會政策ニ於テ、此簡易保險ヲ贊成シマス理由ヲ簡單ニ述ベ見タリト思フデアリマス(拍手起ル)「ト呼ブ者アリ」但シ保險ハ總テ官營ナラザルベカラズト云フ意見デアリマス(「ヒヤ」ト呼ブ者アリ)但シ火災保險トカ海上保險ノ如キモノハ所謂損害填補ノ目的デ、純粹ナル射幸契約デアリマスガ故ニ、之ヲ民間ノ經營ニ委スルノモ可ク、併ナガラ人間ノ生命ヲ目的トスルトコロノ生命保險ノ如キハ、無論ハ國ノ事業トシテ經營シナケレバナラズト云フ私ハ考テ持テ居ルデアリマス、人間ノ生命ヲ目的トスルトコロノ生命保險、決シテハ營利ノ事業ニ委スベキモノデハナイ、古イ落語家ノ話ニモアレ川柳ヲ申シマスレバ、若シ保險ニ付テ批評致シマスレバ「保險屋ハ人ノ命デ飯ヲ食ヒ」斯ウ云フ駄口モ出ル譯デアルト思ヒマス、人ノ生命ヲ以テ目的トシテ營利事業トスルト云フコトハ國家ノ力ノ微弱ナル場合ニ於テハ、民間ノ事業ニ委セルノモ已ムヲ得ナイ、併シ國家ノ力ガ十分ニ發達スルシテ國家ノ信用ガアル以上ハ、是非トモ是ハ國家ノ事業トシテ官營ニシナケレバナラズト云フアルト私ハ深く思フデアリマス(拍手起ル)少シ飯森君ヨリ以上ノ突飛デアアルカモ知レマセヌ、ツレ故ニ私ノ信シマスル社會政策ノヤカマシキ理窟ヲ言フデアリマセヌガ、社會政策ノ先ツ普通學者トカ識者トカ認ムルトコロノ社會政策ノ目的ハ何デアアルカト申シマスレバ、社會多數ノ民衆ノ幸福ヲ成ベク均一ニ増進スル、是ガ私ハ社會政策ノ最も明カナル目的デアルト信スル、必ズシモ勞働保險ニ限ラド、云フ欲イ意味ハ何人モ認メナイノデアリマセヌガ、勞働保險ハ無論社會政策ニ密接ナル關係デアツテ、社會政策ノ第一ノ事業ト云フモ宜シイガ、進シテハ私ハ保險全體ヲ以テ社會政策ノ事業ト信スルデアリマス、社會多數民衆ノ利益ヲ成ベク均一ニ増進スルト云フガ社會政策ノ目的デアリマス以上ハ、此保險ノ如キハ社會多數ノ民衆ノ爲ニ其利益幸福ヲ増進スルモノデアリマスガ故ニ、之ヲ以テ私ハ社會政策ノ確ニ一端デアルト信スルデアリマス、若シ之ヲ單ニ民營ニ委シテ置イタナラバ、社會多數ノ有ニルトコロノ利益ト云フモノ、一端ヲ一部ノ少數ナル資本家ノ壟斷ニ委スルノ嫌ガアル(「ヒヤ」ト呼ブ者アリ)生命ヲ目的トシテノ事業ヲ民營デ宜シイトカ云ヒマスレドモ、民營デ宜シイト云フ裏ニハ即

チ營利事業ガアル、營利事業デ此保險事業ヲ認ムルト云フコトハ、人ノ生命ヲ土臺トスルトコロノ其利益ヲ、社會民衆ノ多數ノ受クベキトコロノ利益ヲ、少數ナル資本家ノ壟斷ニ委セルト云フ譯ニナルデアリマス、殊ニ今日ノ會社ノ現狀ハドウデアリマセウカ、少數大會社ハ先ツ別トシテ、ドウモ多數ノ小會社ノ現狀ハ如何フニ忍ビザルコトガアルト思フデアリマス(拍手起ル)徒ニ贅澤ナル勸誘費ヲ出ス、ツレカラ被保險人ガ死シタル場合ニ於テ契約ノ穴探シシテ(「其通り」ト呼ブ者アリ)拍手起ル)ヤレ既往症ヲ隱蔽シタカ、或ハ告知事項ニ間違ガアルトカ、種々様々ノ難癖ヲ付ケテ其責任ヲ免レントスル現狀デアリマス、社會多數ノ下級民ハ勸誘セラル、當時ニ於テハ勸誘員ノ言フガ儘ニ、殆ド保險申込書デモ契約書デモ盲判ヲ捺シテ、其保險ノ募集ニ應ズルノデ、然ルニ何ゾ圖ラン死亡シテ見レバ會社ハ其契約ニ難癖ヲ付ケテ、サウシテ責任ヲ過レントスルノガ是ガ小會社ノ現狀デアル(拍手起ル)是ハ此簡易保險ノ問題ニ非ザルトモ、此現會社ノ取締ハシナケレバナラズト云フコトハ、何人モ感シテ居ルモノデアルト私ハ思フ、ツレ故ニ之ヲ官營ニスルト云フコトハ、會社ノ資本ニ屬スル所ノ利益、無駄ナ勸誘費、或ハ會社ガ責任ヲ過レントスル所ノ訴訟ノ費用、是等ハ總テ現在ニ於テ被保險人ノ負擔スル所デアル、之ヲ官營ニ移セバ全然其弊害ヲ除去スルコトガ出來マスデアツテ、會社ノ占ムル所ノ利益ハ是ガ官營ノ政府ニ屬スル譯デハナクシテ、即チ一般ノ被保險人ニ其恩澤ハ潤フ譯デアリマス、現在ノ營利事業トシテノ其利益ト云フモノヲ、一部少數ノ資本家ノ手カラ放シテ、之ヲ被保險人自ラ、即チ國民ノ多數ノ爲ニ其利益ヲ享受スルコトガ出來ルト云フコトニシマスルノガ、私ハ是レ即チ社會政策ノ確ニ一端デアルト信スルデアリマス(拍手起ル)第二ニハ民衆壓迫ト云フコトデアリマス、私ハ此反對論者ノ云フガ此壓迫ノ結果ハ無カラウト信スルノデ、委員會デモ大分其論戰ガアツタヤウデアリマスガ、反對論者ハ民衆ヲ壓迫スルト云フデ、政府者ノ答辯ハ壓迫スル氣遣ハナイト云フヤウナ答辯デアリマス、多少ノ影響ハアラウガ、壓迫スル事實等ハ認メナイ、斯ウ云フ答辯デアリマスガ、此論戰ハ水掛論デアリマス、實際保險ヲ官營ニシテ實況ヲ見ナケレバ、今日ニ於テハ唯推斷ニ過ギナイ所ノ水掛論デアリマス、併シ私ハ強チ政府ノ認ムルガ如キ簡單ナルモノデアリマセヌガ、併ナガラ反對論者ノ言フガ如ク悲觀スベキ此壓迫ハ決シテナイト信スルデアリマス、第一ニ三百圓ト云フ制限ガアルチヤナイカ、無診査ト云フ區別モアル、民間ノ會社ハ三百圓以上ノ範圍内ニ於テ十分ノ活動ガ出來ルデアル、下級貧民ノ要求スルトコロノモノハ三百圓以下ノ保險ダケヲ官營ニシテ互ニ其範圍ガ確定サレテ居リマス以上ハ、少シモ壓迫ト云フモノヲ感ズル譯ハナイト思フ、唯從來三百圓以下ヲ許サレテ居ル所ノ八ツノ會社デアリマスガ、是ハ三百圓以下ニ於テ競争ノ形ヲ生ズルデアリマスカラ、多少ノ壓迫ハアリマセウ、併ナガラ是等ハ私ハ忍ブベキモノト思フデアス、既ニ三百圓ト云フ制限ヲ付シテ、三百圓以内ノ小範圍ニシテ官營ニスルト云フ以上ハ、ツレ以上ノ廣キ範圍ニ於テ十分ノ活動ヲ許サレマス以上ハ、此以上ノ満足ヲ買フトセントスルノハ、少シク民營ノ方ノ我儘デアリハセヌカト思フ、現在ノ會社ガ十分ノ努力ヲ盡シテ、經營ノ上ニ節約ヲシテ、贅澤ヲ勸誘ヲセズシテ事業ヲ振張致シマスレバ、官營ト立ビ立ツ十分ノ活動ガ出來ルト私ハ思フ、併シ是ハ見込デアリマス、御互ニ見込デス、若シ此見込ニ反シテ即チ官營ノ壓迫ニ堪ヘズシテ、民營ノ會社ガ行立タナイトカ云フ場合ガ當リマスレバ、是ハ一ツ考物デアル、併シ私ノ今信スル事實ニ於テ推斷致シマスレバ、相當ノ努力ヲシ相當ノ經營ヲ致シマスレバ少シモ官營恐ルニ足ラヌ、若シ尙且之ニシテ民營堪ヘズト云フ譯デアリマスナラバ、ツレハ保險ト云フモノガ民營トシテ、デンデ適合シナイト云フ結論ヲ私ハ生ズルデアリマス、強チ官營ノ壓迫ニ堪ヘズト云フ理窟ニ非ラズシテ、保險ト云フモノハ民營デアハトモ成立ツモノデハナイ、民營トシテハ保險ノ適合シナイ、斯ウ見ル外ナイト思フデアリマス、即チ左様致シマスレバ實ハ私共ノ理想ノ發現スル時代ガ來ルデアリマス、如何ナル努力ヲシテモ、如何ナル經營ニ節約ヲシテモ

トモ此民營ノ會社ガ行立タ、スト云フ譯デアリマスナラバ、宜シク是等ノ諸會社ヲ買收シテ、保險ノ官營ヲ統一スル時期ガ必ズ來ナレバナラスト私ハ思フ(ヒヤ)ト呼フ者アリ今日クヨク爲サル、所ノ民間ノ會社ハ、何モ此場合ニ餘リ杞憂ヲ懷カズシテ眞ニ努力ヲ盡シテ、尙且官營ノ壓迫ニ堪ヘズシテ、以テ行立タズト云フ譯デアリマスナラバ、其時ハ立派ニ財産ノ外ニ相當ノ補償ヲモ得テ、資産以上ノ配當ヲ受ケテ解散スル結果ヲ得ルナラウ、私ハ其時ノコトヲ夢ミテ喜ンデ今日ノ會社ハ反對スルドコロモ宜カラウトハ立派ニ官營ガ出來テ、行末ハ官營統一ニナルト云フ御期待ニナッテモ宜カラウト、私ハ思フデアリマス(拍手起ル)殊ニ此現在ノ會社ノ最モ苦痛トスル所ハ勸誘デアアル、即チ保險ノ募集デアリマス是ガ爲ニ贅澤ヲ費用ヲ使フテ居ル、所ガ此官營ガ出來マスルト云フ、保險思想ノ普及ハ十分デアアル、郵便局デ以テ保險思想ノ普及ヲシテ貫シテ、サウシテ保險ノ契約ハ會社ガスト云フ、誠ニ人ノ腰デ以テ(笑聲起ル)人ノ揮デ以テ相撲ヲ取ルト云フノガ即チ是等デアルト私ハ思フデアリマス、若シ二百圓デハ無診査デアリマス、無診査ニシテ二百圓、三百圓以上ハ民營ノ會社ガ檢査ノ上デ契約スル、無診査ト有診査ノ差別ノ間ニハ私ハ民間ノ會社ハ今後努メテ保險料ノ率ヲ下ゲテ宜シイと思フ、今ノ利廻リノ宜イ配當ヲ得ルト云フコトハ今暫ク忍ンデ、無診査ヲ以テヤル所ノ保險料ノ率ヨリハ、檢査ヲシテ十分ナル健康者ヲ保險スルト云フ場合ニ於テハ、保險料ハ相當ノ低下アッテ然ルベシと思フ、サウスレバ三百圓デ以テ無診査デアリマス、保險ノ契約ヲスルト云フ人間モ、今一步進ンダ保險料ノ安イ民間ノ會社ニ契約ヲシテ三百圓ハモツト進メテ、四百圓モ五百圓モ、官營ヲヤメテ民營ノ契約ヲスルト云フ人ガ出來ルカモ分ラヌ、ソレ故ニ官營ノ結果ハ決シテ民營會社ノ憂フルヤウナコトハナクシテ、寧ロ民營會社ノ活動スル所ノ範圍、活動スル所ノ結果ハ大キイモノガアルト私ハ信ズルデアリマス、殊ニ前段申述ベシ如ク、保險活動スル所ノガ眞ニ社會政策上ノ事業デアリマス、全部ノ保險ヲ統一スルト云フコトヲシナレバナラヌト私ハ深く思フデアリマス、此問題ハ現政府ガ餘程御奮發ニナッテ御提出ニナッタコト私ハ承知スル、多年ノ宿題ニ此議會ニ於テ解決セントスル所ノ御奮發ノアツタコトヲ多トスル、又與黨ノ諸君ハ其中ニハ多少ノ反對者ノ無キニシモアラズニモ拘ラズ、絕對ニ除外例マデモ排斥ヲシテ一絲一毫ノ態度ヲ御決シニナッタト云フコトハ反對ナガラ敬意ヲ拂ッテ置キマス、ソレ故ニ過失多キ現内閣ト雖モ最早餘命ハナイト私ハ思フ(笑聲起ル)此餘命短キ現内閣ヲシテ少ナクモ最後ヲ飾ラシムルガ爲ニハ、縱令切罪相償ハザルマデモ、切テモ唯一ノ功績トシテ後世ニ傳ヘル爲ニモ、現内閣ノ成功トシテ此問題ヲ通過サセタイト私ハ希望スルデアリマス、ソレ故ニ此趣意ノ下ニ先決問題タル委員付託ニハ遺憾ナガラ反對スル所以デアリマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 鈴木萬次郎君

(鈴木萬次郎君登壇)

(拍手起ル)

○鈴木萬次郎君 諸君、愚痴ナコトヲ申サウデアリマスガ、私ハ御承知ノ通り此問題ハ同志會ノ黨議トシテ、又現政府ノ提案セラレタ問題デアリマス、此問題ニ對シテ贊成ヲ致シマスルト云フコトハ致サレバナラヌコトハ申サマデモナイデアリマス、最初ヨリ簡易保險ト云フコトニ對シテハ絕對ノ反對デアアルカト申シマス、決シテ絕對ニ反對スルト云フ意思ハナイノデ、滿場恐ラクハ黨派ノ如何ヲ問ハズ、此問題ニ絕對ニ反對デアルト云フ御方ハ無カラウト存シマス、然ルニ種々ノ徑路ヲ辿ッテ參リシタ今日トナリマス、殆ド一分ノ違ヒ千里ノ差ヲ生シマス、私ト致シマスシテハ政府ノ原案此儘ニ贊成スルト云フコトガ出來ズ致シマス、已ムラ得ズ一身ハ退キマス、黨ヲ離レマスシテ此案ニ付テ今日マデ反對黨デアアル政友會ノ諸君ト感フ同ジウスル其修正案ニ贊成ヲセネ

バナラスト云フ境遇ニナリマシタ、昨日マデハ同僚トシ友ハトシテ手ヲ携ヘテ來タ諸君ト別レテ、今マデ暗暈シタト云フ諸君ノ援助ヲ受ケマシテ、此法案ニ對スル意見ヲ述べルト云フコトハ誠ニ浮世ノ常ナキヲ感ジマス、全體唯今高柳君モ御論デアリマシタガ、申上タルマデモナク保險事業ハ其物ガ最早社會政策ノモノデ、所謂共同救濟法デアリマス、下級デゴザイマセウトモ上級デゴザイマセウトモ、保險事業其物ガ共同救濟法デアラカ、保險事業其物ガ社會政策デアアル、是ハ私ガ申上タルマデモナイデアリマス、デス様ナ問題デアリマス、政府ハ殊ニ監督ヲシテ之ヲ幫助シテ其成立ヲ圖リ、又事業ノ發展ニ力ヲ添ヘラレタト云フコトデアラウト存シマス、又左様デゴザイマス、斯様ナ關係カラ今日ハ實ハ出來過ギタ程今日ノ日本ノ保險思想界ニ較ベマシテハ、四十二會社ト云フモノガ出來マシタノデ、此出來タ今日ニ於テ、諸君ガ御贊成ニ相成リマスル如キ程度ニ於テ、例ヘバ保險價格三百圓、又加入スル者ノ資格ニ於テ制限ナイト云フ保險ヲ、政府ノ力デ國庫ノ金ヲ出シテ之ヲヤルト云フコトハ、折角是マデ明治十四年以來民間ニ發達シ來タ保險會社ノ政府ガ世話ヲ監督シテ發達掛ッタ、殊ニ近頃十數會社ト云フモノハ未ダ兒童壯年時代ニナラヌモノガアルデアリマス、斯ウ云フモノガアルニ此通り御ヤリナサルト云フコトデハ、折角許シテ保育シテ、監督シテ、發達サセウ此事業ノ進歩ヲ圖ラウト云フ政府ノ趣旨ニ反シハセヌカト云フノガ私ノ反對スル所以デアアルデアリマス、同ジ議論ヲ立テマシテモ、局外デアアル同業ニ關係ノナイ方カラ御論シ下サルト餘程公平ニ聞エマシテ、當業者デアアル鈴木私ノ口カラ申シマス我田引水ノ御聽取リナリマセウケレドモ、ドウカ私ハ多クハ申シマセ、サウ云フ嫌ガゴザイマスルカラ私ハ申シタハゴザイマセウケレドモ、已ムラ得ズ此真相ヲ諸君ノ御耳ニ入レタ存シマス、デ又同志會トシテ昨日マデ、今朝マデ私ガ同志會ニ籍ヲ置キマシタ此案ノ出タ徑路ニ付キマシテ、或ハドウデアルトカ斯ウデアルトカ云フヤウナコトハ、是ハドウモ實ハ私モ申シタハナイ、或人孔子ニ向テ、吾黨ニ直キ者アリ其父鶏ヲ攘ハ其子之ヲ訟フ子曰ク、吾黨ノ直キ者ハ之ニ異リ父ハ子ノ爲ニ隱シ子ハ父ノ爲ニ隱ス直キコト其中ニ在リト云フ位ノコトハ讀ンデ居リマス、同志會ガ鶏ヲ攘ンダト云フヤウナコトヲシテヤッタハ申シマセ、左様ナコトハナイ、再三此問題ガ揭ケラレテ凡ソ研究ガ積ンダシテ、急ニ此切迫ノ議會ニ持出シタ其意味モ實ハ深イコトハナイノデ、ドウ云フ行懸リカ俄ニ之ヲ通サナレババナラスト云フコトデ、私モ政務調査會ノ一人デアルケレドモ、政府委員ヲ喚出シタリ何カシテ漸ク過日質問ガ濟ンデ、未ダ十分ナラナイノガ實ハ實相デアリマス、サウ云フ諄々シイコトハ私ハ申スコトハ致シマセヌガ、免三角モウ少シハ、調査ヲ慎重ニ攻究致シマセヌケレバ、慥ニ缺點ハアリマス、是ハ委員會ニ於テモ質問モ致シ意見モ確メタデアリマスガ、例ヘバ此第八條ニ災害又ハ傳染病法第一條第一項ニ依ッテ死亡シタル者デナケレバ、其一部ノ利益ヲ受ケコトガ出來ヌト云フ規定ガゴザイマスガ、是ハ御承知デゴザイマセウガ、或ハ怪我ヲシタルカ雷ニ打タレタカ云フテ死ンダ者ガサモナケレバ今日行ハレテ居リマス傳染病赤痢デアルトカ、腸室扶斯デアルトカ、實扶室利デアルトカ、黑死病デアルトカ云フモノノ死シタ者ナラバ、半額二年目ニ貫フコトガ出來ルガ、其外ハ貫フコトガ出來ヌト云フ規定ニナッテ居リマス、サウ致シマスルト云フコトハ民間ノ會社ガ卒中ト云フモノニ排シテ居ル、凡ソノ委員モハ調ベテハゴザイマセヌガ、腦卒中心、腦溢血或ハ腦膜炎ト云フイロノナ名前デアリマスルガ、凡ソノ計算デゴザイマスルガ十四五パーセントハ今日ノ保險會社ガ支拂ッテ居リマスル死亡拂ノ中ノ腦病ト云フモノ、中デ、是ダケノモノヲ拂ッテ居ルノデ、ソレカラ肺結核ナドニナリマスルト、或ハ此中ニ肺癆衝モアリマスルケレドモ、是ハ百分中或ハ二十四五位ハヤハリ之モ拂ッテ居ル、斯ウ云フ凡ソ引ク病氣ハ是ハ仕方ガナイガ、雷ニ打タレテ死ヌモノ、頭ガ

俄二割レテ——頭ガ割レルト申シマシテモ頭ノ中ノ血ノ管ガ割シテ突然死マシメハ所謂
卒中デアル、是モ豫メ實ハ知ルコトガ出來マセヌノデ、御同僚斯ウシテ居リマシメ家ヘ
歸テ安ラカニ寢テ死ンデ居タルコト云フコトハ、澤山諸君御承知ノ間ニ在ルコトデアリ
マス、是ハ上等社會デモ下等社會デモ必ズアルコトデ、豫メ醫師モ知ルコトガ出來ナイ
ノデアル、デアルカラ外ヘ出テ落雷死ンデト云フコト同シデアル、サウ云フ者ハハリ二
年目ニ死ンデモ拂ハヌコトニテ居ル、又傳染病デゴザイマス、或ハ生水ヲ飲ンデハ
ナラヌトカ、生物ヲ喰フテハナラヌトカ、其病人ノ側ヘ寄テハナラヌトカ云フコトヲ注意致
シマスレバ、是ハ實ハ避ケラレル病氣デアル、注意ニ依テ避ケラレル病氣ヲ入レテ居ッテ、
サウシテ注意ラシテ居ッテモ、神ナラヌ身ノ分ラヌデ雷ニ打タレテ死ンデト云フヤウナ者ハ
取除ケニナラデ居リマス、若シ下級民ノ災害ヲ救済スル、豫メ知ルコトノ出來ナイ突發ノ
災害ニ對シテ救済スルト、殊ニ下級民ニ之ヲ拂フト云フ以上ニハ、何故腦卒中ノ如
キ明カニ所謂頓死、急死、——急死ト云フテモ、頓死トカ、是モ諸君ニハ御分リ
ニハナリマシイガ、チヨトシタ場合デ勝ガ俄ニ振レテ一日カニ死ヌ者モアリマス、サウ云
フノハ是モ突發デアルケレドモ甚ダ少イノケレドモ、世間デ素人デモ分ッテ居リマスノハ
所謂卒中デアル、是ハ澤山アルノデアリマス、何故サウ云フ者ヲ御除キニナラヌノデ
アルカ、是ハ分ラナイ、サウ云フ缺點ヲ拾ヒマスルト此簡易保險法實施ニ付テ贊成デ
アルト致シマシテモ、斯ウ云フモノヲ取除キタト云フ意味ガ始メ意味ヲ成シテ居ラヌノデ
政府委員ニ尋マスルト云フコト、或ハ問題ニナリサウナ、何カ又文句ガ付キサウナ、繁雜ナ
コトヲ惹起スカラ之ヲ除キタト云フコトデアリマス、是ハ民間ノ會社ガ營利上或ハ辯護
士ニ頼ムカ或ハ鑑定ヲサセルトカ言フテ費用ガ掛ル、營業ニナラナイカラ除クト云フナラ
バ或ハ理窟モゴザイマセウケレドモ、政府ガ國ノ力ヲ以テ國庫金ヲ出シテ社會政策ノ
下層民ノ救済ヲ民間ニ委セズシテ政府自ラヤルト云フ以上ニハ、成ベク此立法ノ主意
ハ所謂博愛、成ベク廣ク其慈惠ヲ與ヘルト云フコトニ致サナケレバナラヌト云フデアリマ
ス、サウ云フ者ヲ入レルト手數ガ掛ルカラ之ヲ止メルトハ、政府ガ國家ノ金ヲ幾ラカ補助
シテヤルト云フ仕事ニハ甚ダ矛盾シテ居リハセヌカト云フ、私ハ贊成諸君ナリ反對諸
君ナリノ御議論ガドウデアルカト云フ辯駁ハ致シマセヌ、實際ニ就テ之ヲ行フ以上ニハ、成
ベク此立法ノ精神ニ則テ、ヨリ多ク其恩澤ニ沐浴セシムルヤウニ致シタイト云フノガ主眼
デアリマス、斯ク申シマシタナラバ或ハ死亡精算表ノ上ニ死亡率ニ於テ多少違フト云フ御
議論モ出マセウ、少シ位違フデモ宜イデヤゴザイマセヌカ、國家ガ之ヲヤル以上ニハ營利
會社ガ検査ラシテヤッテ居ッテ、ヤハリ是等ハ拂テ居ル、ソレカラ見ルト餘程此死亡拂
フ病氣ノ種類ガ餘程取ッテ居ッテ、傳染病ダケモノデアラナラバ二箇年目ニ死ンデ時ニ
半額拂フト云フ恩惠ヲ出シテ居ル、私ハ私立會社ハ全額拂フ、身體検査ラシテ醫者ノ
技術ガ進歩シタト申シテモ、ナカノ一年後ニ死ンデ人ノ生命ヲマダ日本ノ醫者ハ鑑
定シキコトハ出來マセヌ、身體検査ラシタルコト云フモノ、神ナラヌ身ノ實ハ分リマセヌ、サ
ウデゴザイマス以上ニハ特ニ重要ナル病歷ヲヤハリ書カナケレバナラヌ、書カナイ時ニハ無
效ニナルト云フ法律規定シテアリマス以上ニハ、病氣ノ種類ニ依テ豫メ知リ得ルコトノ
出來ナイ、即チ誠ニ氣ノ毒ノ救ニ得ナイ——人カヲ以テ支ヘ得ナイト云フ死亡ニ對シテ
ハ、拂フト云フコトニ致スノガ相當デアラウト云フ、一例ヲ舉ゲマスルト此問題——ツデモモ
ウ少シ此法律案ニ攻究ノ餘地ガアラウト斯ウ思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ——モウ管
シキコトハ私ハ申シマセヌ、他ノ諸君カラ詳シクイロ——御論デデアリマシタカラ——政
府ハ全ク民間ノ保險業者ヲ壓迫スル意志ガナイト云フコトヲ申シテ居リマスノハ是ハ本
當デゴザイマセウ、本當デアル以上ハ私ハ唯見様ガ違フ、政府ハ左様ナ見解ヲ持テ居
ル、同志會ハ左様ナ見解ヲ以テ居ラマスガ是ハ大變ニエライ頭ヲ以テ知識ヲ以テ考ヘ
ル程ノ社會問題デハナイ、三百圓或ハ五百圓マデノ今日マデノ日本ノ保險ノ平均統計

ヲ致シマスルト、五百圓以下ト云フモノガ件數ニ於テ七割五分ヲ占メテ居ル、百件ノ中
七十五マデハ五百圓以下デゴザイマス、而シテ此五百圓ハ任意ニ五百圓ガ必要デア
ルカラ五百圓ニ入ッテカト申シマス、是モ御承知デゴザイマセウガ、勸誘ヲ致シマシテ二百
圓ヘ入ラウト云フ者モ、或ハ一圓ニ三十錢ノ違ヒデアルカラ五百圓ニ入レト釣リ上ケテ
五百圓ニシタデアリマス、デアルカラ今日デモ各地方ヘ會社ノ勸誘員ガ參リマシメ、適
當ニ入ルト云フ額ハ先ヅ五百圓カ三百圓ガ普通デアル、何レノ町村ヘ參リマシメ最早
千圓ト云フ契約ハ一人カ二人、大部分ハ三百圓或ハ五百圓マデノ通常デアル、此
保險ガ五人家内デ一升ノ飯ヲ食ハナケレバナラヌト云フ者デモアリマセヌカラ、二百圓デ
宜カラウト思フテ居ル者ニ、募集員ノ手數料ガ違ヒマスカラ引上ケテ五百圓ニシテ居
ルデゴザイマスカラ、官營保險ガ一方ニ開ケテ先ヅ死後ノ爲メ、或ハ老後ノ爲メ、或ハ
何ニ彼ニト云フテ任意ニ入レマシタナラバ、丁度五百圓以下ノモノハ悉ク二百圓ニ入
シマフ、其保險料ガ違フコト申シマスルト保險料ニ違ヒナ、政府ノ保險料モ民間
ノ保險料モ違ヒナ、比較シマスと會社ニ依テハ却テ政府ノヨリ高クナッテ居ルノガアル、
而シテ政府ハドウカト云フト是モ嘘デアリマセウガ、村長郡長或ハ警察署マデ頼シテ
誘スルト云フ、政府ト云フ大旗印——金看板ノ下ニ町村長郡長或ハ警察署マデ使ッテ
ウシテ診査シナクテ保險料モ會社ト違ヒナ、郵便葉書一本デ契約ノ出來ル保險ニ
這入ルカ、民間ハ許サレテ居ルガ民間ノ二百圓ノ會社ニ這入ルカト云フコトヲ比較シテ
見マスレバ、是ガ壓迫ニナルトカ成ラヌトカ、苟モ小學校ノ小供ヲ對手ニ問答スルナリ
ザ知ラズ、常識ノアル人間ガ代議士諸君ガ堂々タル紳士トカ云ハレテ人ノ上ニ立ッテ居
ル者ハ、ドチラヘ這入ル位ノコトハ議論ノアルモノデナ、政府委員ノ言フ所ヲ聞イテ見
マス、政府ノ方ハ高クナッテ居ル、一分五分高イト斯ウ云フテ居リマス、今日三十代ノ
人ガ三百圓付ケル、政府ノ方ガ一割五分掛金ガ高イト云フテ居ル、其高イ方ドウカ
ト云フト終身保險、終身保險ハ全體ノ保險ニ付テ一割、養老保險所謂生存死亡兼
テ居リマス養老保險ガ八割、養老保險ハ八割、御客様ノ方ハ政府ノ方ガ割合安クナ
テ居ル、サウシテ日本ノ人情トシテ死テカラ金ヲ取ルト云フ終身保險ノ方ダケ高クシテ
居ルカラ、百人這入ルト云フ内デ八十人御客様ガアル方ハ政府ト民間ト這入ルニ同シ
代價デアル、サウシテ是ハ簡易保險デアルカラ民間ノ會社ヘ往カナイデアラウト云フコト
ハ、小供デマシノコトダ、眞ニ政府ガ民間ノ業者ヲ壓迫スル意志ガナイト致シマス、此邊
ハ餘程御主意ニ反スル結果ヲ生ズルト云フ

○議長(島田三郎君) 時間ヲ延長シマス

○鈴木萬次郎君 確カニサウナリマス、診査スルト申シマシテモ一年後或ハ三年後デ
死ヌ者ハ、今日ノ醫者ノ診察デ實ハ分リマセヌカラ、現ニ私自身ハ八年程前ニ農商務
省ニ向ッテ簡易保險ト云フモノガ必要デアリマスカラ、出願ヲ致シタ、致シタケレドモ之ヲ
許可スルトモ言ハナケレバ許可セヌトモ言ハヌ、握濱シテ居ッテ、政府ガヤル積リダカラ握
濱シタ、ソレモ宜シイ、ソレハ宜シイトシテ今度提出シテ倍ドウ言フコト云フ、大變ニハ
急イデ實施シナケレバナラヌト云フコトヲ力ヲ入レテ來タデアリマスガ、今ソナラバ百圓
二百圓三百圓ノ保險ラスルコトガ行ハレテ居ラヌカト云フ、下層社會ニ百圓二百圓ノ保
險契約ラスルコトガ行ハレテ居ル、唯無診査デ入レルト云フノハ政府ガ今度ヤルト云フコ
トデ、百圓二百圓三百圓ノ保險ハ民間デヤッテ居ル、民間デヤッテ居ルノヲ何故政府ガ
ソレ程急イデヤラナケレバナラヌカ、政府ハ民間ノ業者ヲ成ルベク痛メナイヤウニスルト云
フノガ本趣意デアル以上ハ、今申シマス通り今ノヤリ方デハ、折角政府ガ御許シニナ
保險會社ガ漸ク是カラ發育ラスル中途ニ於テ、之ヲ叩キ付ケルト云フコトニナリマス、少
クモ民間ニ振ッテ居リマスルトコロノ所謂御客様ト申シマセウカ、少クモ半ハ奪去ルコト
ナル、サウスルト今迄百人アッタ客入ヲ五十人デ賄ヘト云ヘバ、何レノ業務デモ立チマセヌ、
少クモ半數ハ營業困難ニ陥ルコト當リ前デアル、サウ致シマスルト、是ハ政府ノ本意ニ反

簡易生命保險法案

第二讀會

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數アリマス、委員長報告通り決シマス

○議長(島田三郎君) 議長

○議長(島田三郎君) 福田又一君

○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 福田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ三讀會ヲ開キマス

簡易生命保險法案

第三讀會

○議長(島田三郎君) 此場合ニ大體ニ付テノ發言ノ通告ガアリマス、相島勘次郎君

〔拍手起ル〕

○相島勘次郎君 極ク簡單ニ廢案ノ理由ヲ申上ゲマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)此

議案ハドウ云フ風ニシテ出テ來タカト云ヘバ、是ハ現内閣ガ初メヤッタノデアリマセヌ、

後藤新平男爵、或ハ中小路ノ諸君ガ内閣ニ居タ時分ニ此案ハ出來タノデアリマス、

(「其通り」ト呼フ者アリ)サウシテ今日ニ出テ來タノデアリマス、其時ハ戰爭ト云フコトヲ

是ハ大藏大臣ノ文句デハナイガ、誰モ豫期シタ者ハ無カッタノデアリマス、サウ云フ時代ニ

ハ或ハ斯ウ云フ案ガ必要デアカモ知レマセヌ、併ナガラ此世界ノ大戰爭ガ起ツテ吾々ハ

今日ヲ初メシテ初メテ出立シナケレバナラヌ時機ニ到達シタノデアリマス、我が日本ノ

國ハ是カラドウナルノデアリ、吾々ハ工業立國ヲ以テ立タナケレバナラヌ、其場合ニ於

テ會アスウ云フコトヲ豫期シナイトキニ拵ヘタ案ダガ、唯政府ノ政策ノタメニ斯ウ云フ案

ヲ早ク決シテ置カナケレバ、此次ニ内閣ガ更ハタ時分ニ、彼等ニヤラレテハツマラヌト云

フ考デアルカ(「ノー」ト「ヒヤ」ト其通り)ト呼フ者アリ)若クハ貴族院ノ反内閣説ト

云フモノヲ緩和スルト云フヤウナ政略デモアリマス(「ノー」ト「黙ッテ聴ケ」ト呼フ者

アリ)免モ角モ——免モ角モ本當ニ今日ハ時代ガ違ツテ、此古イモノヲ持ッテ來テ此ニヤル

ベキ時代デハアリマセヌ、新ニ今日カラ出立スベキ時代ニ到達シテ居ルノデアリ、ソレヲ古

イ時ニ拵ヘタ案ヲ持ッテ來テ、此案ガ社會政策ニ合フトカ合ハナイトカ、民業ヲ壓迫スル

トカ壓迫シナイトカ、此案ノ内容ニ立入ッテ議論スルナラバ私モ議論ガアリマス(「レドモ、

案ノ内容ニ立入ル必要ハナイノデアリ、是ハ時代ニ副ハナイトコロノ案デアツテ、昔百年

以前ニ出來タトコロノ案デアルノデアリカラ(笑聲起ル)今日世界ノ大戰ノ後ニ於テ日本

ガ新ニ地歩ヲ占ムベキ時ニ當ツテハ、斯ウ云フ微ノ生ヘタ案ヲ此處ニ持出スベキモノデ

ハナイ、是ハ吾々ハ本當ニ「ソ」革新ヲ開キ、自覺シテ此案ヲ廢案シナケレバナラヌ

ヌ、成程是ハ政府ガヤツテ民間ガヤツテモ出來マセウ、效能モ多少アルデウケレドモ、ソ

ノ事ハ誰ガヤツテモ宜シ、政府トシテハ今日労働階級ノタメニ——労働階級ノタ

メニ肉體ヨリ外ニ財産ガナイ、努力ヨリ外ニハ財産ノナイ、ソレ等ノ階級ニ向ッ

テ政府ガ保護ヲ與ヘルナリ補助ヲ與ヘルナリシテ、サウシテ政府トシテ當然爲スベキ事ヲ

爲サナケレバ仕方ガナイノデアリカラ(「ロイドジョー」フ千九百十一年ニヤツタ事ヲナセ御

遣リニナラナイノデアリカ、唯大隈伯ハ——大隈伯ハ高遠ノ理想——高遠ノ理想ト申

シテ居ルケレドモ、高遠ノ理想ト云フモノハ唯無暗ニ海軍ヲ擴張スルトカ、陸軍ヲ擴張

スルトカ云フヤウナ問題デハナイ、國家百年ノ計ニ向ッテ此ニ新ニ出立點ヲ始メルト云フ

決心ガナケレバ、高遠ノ理想ハ全ク唯竹法螺ニ過ギナイデアリマセヌカ(「ハハハ」ト過ギナイ

デアリマセヌカ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)私ハ此ニ與黨諸君ハ勿論、内閣諸公モ本

當ニ本善ノ性ニ立返ツテ、成程此處ハ重大ナル時期デアルト云フ決心ヲ以テ、徒ニ政略

ナドヲ用ヰズシテ、此案ヲ廢案シテ(「御辭ミナサルナ」ト呼フ者アリ)サウシテ來年ハ本當

ニ社會政策ニ合フトコロノ本當ニ労働階級ヲ救フトコロノ肉體ヨリ外ハナイ、努力ヨ

リ外ハナイトコロノ實ニ地ニ沈ンデ居ルトコロノ階級ニ向ッテ、本當ニ政府ガ眞ノ意味ニ

於ケルトコロノ社會政策ヲ實行スルタメニハ、ドウシテモ此案ハ之ヲ今日ハ廢案スベキモ

ノデアルト思フカラシテ、私ハ簡單ニ其理由ヲ述べルノデアリマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 議長

○議長(島田三郎君) 福田又一君

○議長(島田三郎君) 第二讀會議決ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 併シ唯今ノニ賛成ガアリマス

〔賛成ガアリマス〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 決ハ決ヲ採リマス、福田又一君ノ第二讀會通り可決スベ

シト云フコトニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數アリマス、第二讀會ノ通りニ可決確定致シマシタ

〔拍手起ル〕散會々々ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 次ニ簡易生命保險特別會計法案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ

ノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數アリマス——第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 議長

○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開イテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ直ニ三讀會ヲ開キマス

簡易生命保險特別會計法案

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ガナイト認メテ採決致シマス——委員長ノ報告通り

御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ左様ニ決シマス

○議長(島田三郎君) ドウカ、成レベク諸君ハ明瞭ニ御聽取ヲ願ヒマス、第三讀會ヲ省略致

シマシテ三讀會決議ノ通り可決セラレムコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガアリマス

〔議長々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 多數一時ニ發議ヲナサルノデ聽取レマセヌ

○早川龍介君 直ニ三讀會ヲ開イテ確定セラレムコトヲ望ミマス
○福田又一君 議長、議長
○議長(島田三郎君) 三讀會ヲ省略シテ二讀會決定通リト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
○福田又一君 チョット……私ノ動議ハ二讀會ノ場合が終ッたノデアリマスカラ、ソコデ三讀會ヲ省略シマシテ二讀會決議ノ通リ……
(此時發言スル者多シ議場騒然)

○古谷久綱君 早川君ノ動議が成立シテ居リマス
○議長(島田三郎君) 福田君ニ御照會致シマス——驚キト致シマスカラ省略シマヌヨリ却テ其方が早イト思ヒマス
○福田又一君 此問題ハ將來ニ關係ヲ致シマスカラ、明ニ致シテ置キタイト思ヒマスカラ……
○議長(島田三郎君) 福田又一君
(福田又一君登壇)
(何ノ發言デスカト呼フ者アリ)

○福田又一君 唯今ノ決議ノコトニ付一言致シタイ
(議長々々)「無用々々」ト呼ビ發言スル者多ク議場騒然)
○議長(島田三郎君) 議事ノ進行ニ關スル發言デス
○福田又一君 議長、靜肅ニ致シマセヌケレバ發言が出來マセヌ
○議長(島田三郎君) 靜肅ニナサイ——議事ノ進行ニ關スル發言ト云フコトデ福田君ニ許可致シマシタ
○福田又一君 唯今ノ(此時發言スルモノ多ク議場騒然) 人が發言ヲシテ居ル場合ニ何デアリマスカ……
(福田君ハイツ發言ヲ求メマシタ)「福田君ハ議長席ニ往テ求メタデハナイカ」何處デ發言ヲ求メマシタカ」議場騒然)

○福田又一君 議長ハ此議場ヲ靜肅ニハ出來マセヌカ
(福田君ハ何ヲ言ッテ居ルノデスカト呼ビ議場騒然)
○議長(島田三郎君) 福田君ニ議事ノ進行ニ關スル發言ヲ許シタノデス
○福田又一君 唯今ノ問題ハ斯様デアリマス、會計法案ニ對シテハ第二讀會ヲ開イテ、其二讀會ニ於テ委員長ノ報告通リ可決セラレタ場合デアリマス、ソレ故ニ私ハ此際ニ直ニ三讀會ヲ省略シマシテ、第二讀會ノ決議ノ通リ可決確定ヲ求メタデアリマス、是ガ議事規則ノ何處ニ違ヒガアリマスカ、私ノ動議ハ毫末モ違ヒガアリマセヌ……
(此時發言スル者多シ議場騒然)

○福田又一君 靜ニナサイ、能ク言ッテ聴カセマスカラ
(何ンダ)「非公式ニ發言スル者ガアルカ」黙レ」福田君ハ議長ノ許可ヲ得テ居リマス」ト呼フ者アリ議場騒然)
○福田又一君 私人ノ述べルコトヲ御聴キナサイ、ツマリ二讀會ハ可決致シタノデアリマス、此際ニ三讀會ヲ省略シテ、二讀會決議ノ通リ可決確定セラレムコトヲ望ムト云フノハ少シモ違ッテ居リマセヌ、能ク速記録ヲ御覽ナサイ
(議長ヨリ明白ナル宣告ヲ求メマス、極メテ滑稽ナリ)「今マデ何ヲヤッテ居ッタノデスカ」ト呼フ者アリ議場騒然)

○議長(島田三郎君) 驚キトシテ甚ダ紛擾ヲ極メテ居リマスカラ靜ニ願ヒマス——
○中西六三郎君 私ハ是迄發言ヲ求ムルニ議席ヨリ求メテ居ッタノデアリマス、唯今福田君ハ議長ノ傍ニ往ッテ私語ヲ發言ヲ求メラレタ、ソレデ許サレルノアルカドウカ明カニシテ置キタイ
○福田又一君 議席デ許サレタノダ……
○議長(島田三郎君) 議席デ求メラレマシテ、許シマシタカラ此處ニ參ラレマシタノデス
(「ノー」)「將來ノコトニ關シマスカラ明白ニ願ヒマス」何ヲ言フカ」ツンナニヤカシイコトヲ言フト分ラヌデヤナイカ」ト呼フ者アリ議場騒然)

○議長(島田三郎君) 福田君ニ御照會致シマス、簡略ヲ求メテ却テ紛擾ニ涉リマスカ、議事ノ運びノタメニ改メテ靜肅ニ發言ヲ望ミマス
○福田又一君 私ハ其前ニ私ノ發言ノ趣意ヲ議場ニ宣明セラレムコトヲ望ミマス、而シテ其後ニヤリマス
(議長ノ宣告ニ服スベシ)「議長ノ命ニ服シナイ者ハ退場ヲ命ズベシ」議長ノ威嚴ニ關シマス」議長ノ命ヲ拒ム者ハ退場ヲ命ズベシ」ト呼フ者アリ)
○福田又一君 此場合發言致シマスルガ、二讀會ニ於テ委員長ノ報告ノ通リ決セラレタ場合ト見テ私ハ發言致シマスガ、宜シウゴザイマスカ
○議長(島田三郎君) 福田君ノ御尋ノ通りデアリマス
(議長ノ許可ヲ得スシテ發言スル者多ク議場騒然)

○福田又一君 直ニ三讀會ヲ開クコトヲ望ミマス
(議長長ノ許可ヲ得スシテ發言スル者多ク議場騒然)
○議長(島田三郎君) 暫ク……直ニ三讀會ヲ開クノデスカ
○福田又一君 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」異議アリ」ト呼フ者アリ議場騒然)
○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開キマス
(「異議ナシ」異議アリ」ト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
○議長(島田三郎君) 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
(「散會」ト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 暫ク……次ノ議事日程ハ公報ヲ以テ報告致シマス、是デ散會致シマス
午後六時三十三分散會

○議長(島田三郎君) 暫ク……次ノ議事日程ハ公報ヲ以テ報告致シマス、是デ散會致シマス
午後六時三十三分散會

簡易生命保險特別會計法案 第三讀會

○福田又一君 二讀會決議ノ通リ可決確定アラシコトヲ望ミマス
○議長(島田三郎君) 二讀會ノ決定ノ通り決シテ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」異議アリ」ト呼フ者アリ議場騒然)
○議長(島田三郎君) 二讀會ノ決議ノ通リ可決確定致シマシタ
(「早川君ノハドウシタ」ト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 早川君ノハ一向許シモ何モ致シマセヌ
(「散會」ト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 暫ク……次ノ議事日程ハ公報ヲ以テ報告致シマス、是デ散會致シマス
午後六時三十三分散會

衆議院議事速記録第二十五號正誤

頁	段	行	誤	正
五六八	下	三	動機	動議